

日本生理誌・第41巻7号・昭和54年7月1日発行（毎月1日発行）
〔昭和27年5月6日第3種郵便物認可〕

日本

生理学

雑誌

JOURNAL OF THE PHYSIOLOGICAL SOCIETY OF JAPAN

41巻 7号 1979

加藤元一慶応義塾大学名誉教授略歴……………201

短 報

竹上 徹, 橋本真徳, 鈴木直人, 山本由美, 内田 孝, 岩瀬善彦: Bell現象と電気眼球図……………203

昭和53年度生理学論文表題集(3)……………206

会 報 第51回 JJP 編集委員会議事録……………237

生理科学研究連絡委員会報告(勝木保次)……………237

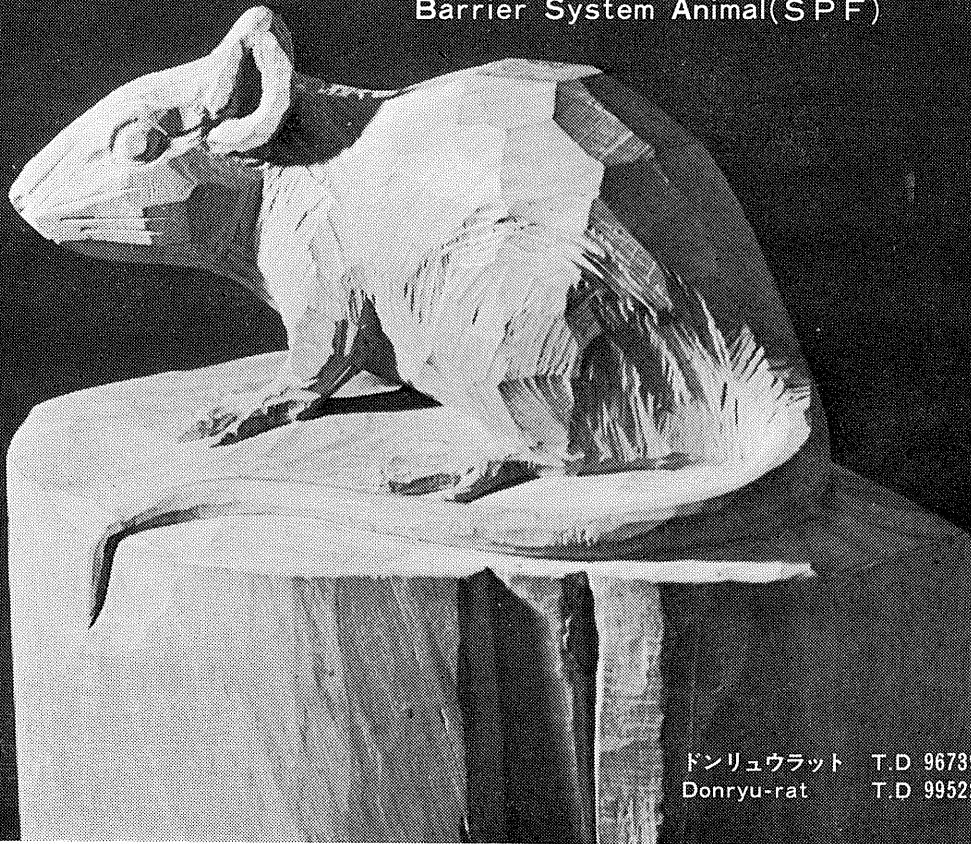
お知らせ 第6回(昭和54年度)日産学術研究助成候補推薦要領……………238

日本生理誌
J. Physiol. Soc. Japan

日本生理学会

NRC:Donryu[®]

Barrier System Animal(SPF)



ドンリュウラット T.D 967394
Donryu-rat T.D 995227

Donryu-rat を開発した日本最大のラット専門ブリーダー、
日本ラットは BS(Barrier System)Donryu[®] を発売いたしました。

特 長

- 吉田肉腫に対して高感受性を有す。
- 性周期 4 日で安定。Skin Graft 高率。
- 温順、発育良好、飼育容易。
- 毒性、栄養、薬理、内分泌その他、
広く用いられます。

〈 生 産 品 目 〉

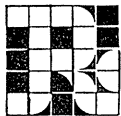
Barrier System Animal(SPF)

Conventional Animals

NRC : Donryu[®]

Donryu[®] Wistar

Buffalo S H R



日本ラット株式会社

〒336 埼玉県浦和市根岸608-3

TEL (0488) 61-6850・6401



加藤元一 慶応義塾大学名誉教授略歴

- | | | | |
|---------------|----------------------|------------|--|
| 明治23年2月11日 | 岡山県新見市に生る | 昭和34年11月 | アルゼンチン生物学会名誉会員 |
| 明治45年7月 | 第一高等学校卒業 | 昭和35年3月 | 慶応義塾大学を停年退職 |
| 大正元年9月 | 京都帝国大学医科大学入学 | 昭和35年4月 | 慶応義塾大学名誉教授の称号を受く |
| 大正5年11月 | 京都帝国大学医科大学卒業（御賜の銀時計） | 昭和35年10月 | ユネスコ国際脳研究機構（IBRO）名誉会員 |
| 大正7年7月 | 京都帝国大学医科大学講師（生理学） | 昭和37年11月 | アルゼンチン医学協会名誉会員 |
| 大正7年12月 | 慶応義塾大学教授（生理学） | 昭和38年2月 | 第23回国際生理科学会議組織委員長 |
| 大正9年12月 | 医学博士の学位を受く | 昭和40年8月 | 米国生理学会名誉会員 |
| 昭和2年 | 帝国学士院賞を受賞 | 昭和40年9月 | 国際生理科学連合副会長
第23回国際生理科学会議（東京）の会長を勤める |
| 昭和19年3月～27年3月 | 慶応義塾大学医学専門部長を兼務 | 昭和41年 | 日本医師会より基礎医学推進最高優功賞をもって表彰さる |
| 昭和26年2月～27年3月 | 慶応義塾理事 | 昭和42年 | 日本生理学会特別会員となる |
| 昭和27年 | 慶応義塾賞を受く | 昭和47年 | 勲二等瑞宝章を授与さる |
| 昭和33年2月 | 日本学術会議生理科学研究連絡委員会委員長 | 昭和51年11月 | 日本学士院会員となる |
| 昭和33年5月 | 岡山県新見市名誉市民となる | 昭和54年5月25日 | 従四位をおくらる |
| 昭和34年8月 | 国際生理科学連合理事 | | |

加藤元一先生を偲ぶ

慶応義塾大学名誉教授・日本生理学会特別会員加藤元一先生は昭和54年5月1日消化管出血に肺炎を併発され逝去されました。享年89歳でした。

加藤先生は大正5年京都帝国大学を卒業され、大正7年慶応義塾大学に医学部が新設される折、初代生理学教授として赴任されました。当時神経の興奮伝導に関しては、ドイツのマックス・フェルボルンの研究室が世界のメッカで世界各国から留学生が訪れ、フェルボルン学説が風靡していました。加藤研究室でもガマの坐骨神経を用いて、麻酔時の興奮伝導の研究が始められていました。フェルボルンの説では麻酔部位では興奮は減衰して伝えられるというものでしたが、加藤研究室でガマの比較的無傷の長い神経線維を用いて実験してみると全く新しい結果が得られました。つまり麻酔部では興奮の大きさは小さくなるがそれは減衰することなく伝えられることが実証されました。加藤教授は決然として不減衰伝導学説を提唱され、第2回日本生理学会（大正12年福岡）で発表されました。しかし、これはフェルボルンの弟子であった恩師石川日出鶴丸教授の逆鱗に触れるところとなり、日本の学会では認められませんでした。ここで加藤教授は国際学会での発表を考えられ、日夜実験を重ねた末、大正13年に *The theory of decrementless conduction* (1924) を公表、つづいて大正15年には *Further studies on decrementless conduction* (1926) を発表して広く海外の反響に期待されました。大正15年にはストックホルムで第12回万国生理学会が開かれたのですが、これには文字通り決死の覚悟で乗り込まれ、見事に公開実験に成功され不減衰学説は国際舞台で認められました。当時ガマや実験道具をともなつてのシベリヤ経由の旅はさぞ大変なことであったと推察されます。この業績で帰国後、直ちに帝国学士院賞を受けられました。この成果に続いて加藤先生は、筋や神経線維を生きた状態で単一に取り出すことを考えられ、時間と労力をいとわず実験を重ねられ遂に世界で初めて単一神経線維の生態別出に成功されました。これによって悉

無律が完全に証明され、また神経線維の中に興奮性のものと抑制性のものがあることが見出されました。この研究業績は日本では昭和6年大阪で開かれた日本生理学会で発表され、昭和7年（1932）第14回万国生理学会がローマで開かれたときこれを海外に公表して絶賛を博されました。1935年モスコウ・レニングラードで開かれた第15回万国生理学会の折にはソ連の国賓として招待され、単一神経線維の公開実験の供覧をされました。これが今日いわれる、マイクロフィジオロジーの発祥でした。この業績は *Microphysiology of nerve*. 1934（丸善）としてまとめられています。

この業績が今日の神経生理学の発展にはかり知れない貢献をしていることは周知のところですが。

加藤先生は教育者としても秀れた見識をお持ちで、非常に多くの後進を育てられたことも特記されるべきです。昭和40年（1965）第23回国際生理科学会議が東京で開かれることが決まるや、日本の生理学を世界に紹介する絶好の機会であるというお考えから全く献身的な努力をされ、大きな成果が修められたことはなお皆様の記憶に新しいところです。また1968年には第24回国際生理科学会議がワシントンで開かれ、先生もこれに出席され前会長として“*Microphysiology 40 years ago*”と題する特別講演をされ、なみいる世界の生理学者達に深い感銘を与えられました。出席しておられた日本の生理学者もひとしく誇りを感じられたそうです。先生は国際的にも多くの栄誉を得られアルゼンチン生物学会および医学協会、ユネスコ国際脳研究機構、アメリカ生理学会の名誉会員になりました。

このように加藤先生のご生涯は学問一筋にそして不屈の闘志にあふれた生理学の大先達であり、また、学問の国際性を重視され率先実行された先見性は、後進に残された貴重な教えであると申せましょう。

ここに永年の先生のご教導に深謝し、先生のご冥福をお祈り致します。

（慶応義塾大学医学部生理学教室 塚田裕三）

Bell 現象 と 電 気 眼 球 図

竹 上 徹, 橋 本 真 徳, 鈴 木 直 人
山 本 由 美, 内 田 孝, 岩 瀬 善 彦
(京都府立医科大学第二生理学教室)

Electro-oculographic study on the eye movements during eye closure Toru TAKEGAMI, Masanori HASHIMOTO, Naoto SUZUKI, Yumi YAMAMOTO, Takashi UCHIDA and Yoshihiko IWASE (*Department of Physiology, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto 602, Japan*)

Bell 現象は、閉眼時に眼球が上外転する反射といわれているが、閉眼持続時の上転角の時間の変化については知られていない。また、眼球運動の研究は数多くあるが、ほとんど水平方向についてである。本報告では、Bell 現象および閉眼後の眼球運動を調べることが目的とし、電気眼球図 (electro-oculogram, EOG)³⁾⁴⁾⁵⁾を用いて、垂直および水平の眼球運動を記録した。なお、DC での長時間記録は、特に上下方向の電極装着状態を安定して維持することが困難なため、長い時定数の AC 増幅器で記録した⁴⁾⁵⁾。

被験者は、年齢20歳から35歳までの健康成人男女18名である。実験は、明るいシールドルーム内で、座位にて頭部を固定して行った。EOG 記録のために、被験者の右眼周囲の垂直および水平方向に、2対の銀-塩化銀電極を電極糊 (agar (2%) を 1% NaCl に溶かしたものを介して装着した。電極の位置は、図 1A に示したように、水平方向は内眼角の内方 10mm、および外眼角の外方 15mm とし、垂直方向は、内外眼角を結んだ直線から上方 35mm、および下方 25mm とした。接地電極は、銀製皿型表面電極で、右耳介後部に置いた。これらの電極から導出された EOG 出力は、時定数10秒の AC 増幅器を通して直線式ペンレコーダ (周波数特性は 10mm 振幅で 0-90Hz) で記録した。

眼球の回転に伴う DC 電位の変化(以後 EOG 電位)を求めるために、被験者は、眼前 1m の垂直面上に設置した視標のうち、まず両眼の水

平軸上にある中心点を固視し、次いでこの視標から上下左右、おのおの、10°, 20°, 30°, 40° の各視標へ急速な眼球運動で視軸を回転し、再固視した。垂直方向についてえられた各 5 回の平均値と標準偏差を図 1B に示す。標準偏差は+側または-側の一方のみを示した。上下左右の視角に対する EOG 電位には個人差があり、上方 40° に限ってみても 0.23-0.58mV であった。垂直方向では、多くの場合、図 1B の 2 例の如く、上方への回転の増加に対する EOG 電位の増加率が次第に大きくなった。この非直線性のために、閉眼時に記録される大きな EOG 電位 (0.5-1.0mV) を角度に換算することは困難であった。水平方向では、Shackel らの報告のように、左右おのおの、30° までほぼ EOG 電位と直線的な関係がえられた⁵⁾⁸⁾。

次に、閉眼時の上転角が、閉眼後も不変かどうかを検討する目的で、閉眼後の EOG 電位の時間経過を求めた。その方法は、図 2A の挿入図 (2 例) に示すように、閉眼 (c) 後、種々の時点で開眼 (o) し、素早く正面軸上の視標を固視した時の EOG 電位を測定することである。図 2A のグラフは、開眼時点を閉眼後 1, 5, 10, 20, 30, 60, 120 秒としたときの EOG 電位を、おのおの 5 回平均し、標準偏差とともに示したものである。なお、グラフ中には、閉眼時 (c) の EOG 電位の平均値と標準偏差も、0 sec の時点にプロットした。この経過は、閉眼によって一旦上転した眼球が、時間とともに下降し、約 60 秒でほぼ安定する経過を示していると考えられ、他の例では 30-60 秒であった。

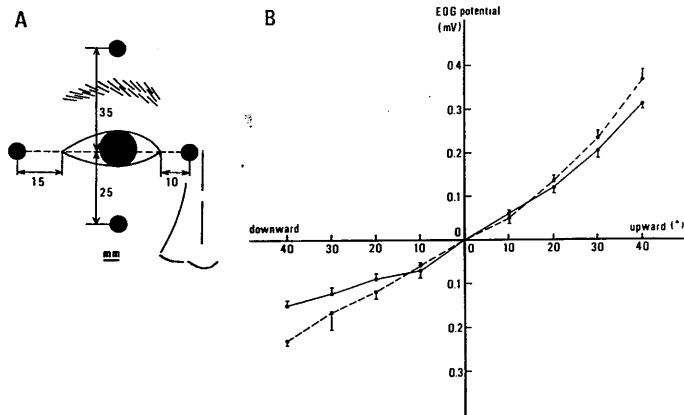


Fig. 1. A: Positions of EOG-recording electrodes. B: Relation between the angle of the vertical eye rotation and the EOG potential obtained from two subjects.

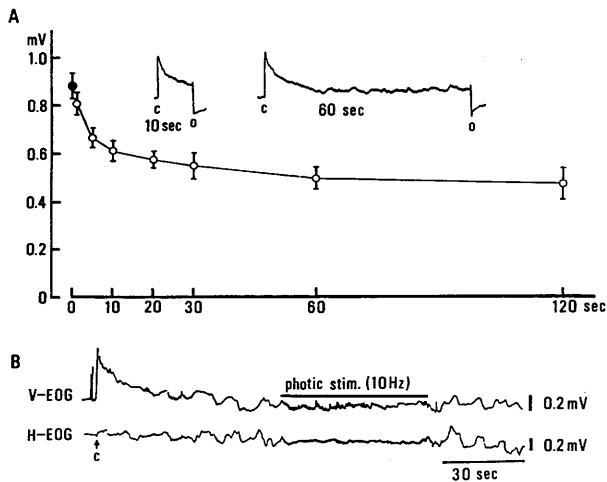


Fig. 2. A: Time course of the vertical EOG during eye closure obtained from the EOG potential change at opening and successive fixation of the eyes at a target on the horizontal axis, as shown in two examples of the insertion. Each plot is the mean and standard deviation of five trials. At extreme left (0 sec) EOG potential appeared just after closing the eyes is also plotted. c and o is the time of closing and opening the eyes, respectively. B: Effects of 10 Hz photic stimulation on EOG during eye closure. Note the suppression of large, 0.1-0.2Hz fluctuations of EOG.

多くの例では、閉眼時に上転と同時に水平方向の EOG で右向きの変化が見られ、上外転することを示したが、右向きの変化が出現しない例もあった。

実験に際して、被験者はしばしば疲労感や睡気を訴えた。閉眼中的 EOG は、これに対応し

て大きく変動し、垂直方向、水平方向とも 0.1-0.2Hz の緩やかで大きい振幅の動揺が観察された。したがって、眼球位置の時間的経過を求める場合には、被験者が十分に覚醒していて、閉眼中的 EOG が平坦であることを確認する必要があった。図 2A の例は、この条件を満たして

いた。

被験者の覚醒度が低く、閉眼中の EOG 変動が大きいときに、10-13°C の冷水に手を浸けさせると、多くの場合、変動が減少した。また、図 2B は、EOG 変動の大きい時に眼前 30cm より xenon lamp による 10Hz photic stimulation を与えたときの記録であるが、photic stimulation によって EOG の変動は手を冷水に浸けた場合より減少し、photic stimulation を中止すると再び増大した。なお、平坦化した垂直方向の EOG の記録上に、非常に小さな高頻度の動揺が見られることが多かった。

以上の結果では、垂直方向の視角と EOG 電位との関係が非直線的なため、すべて電圧そのものを示した。垂直方向の EOG に眼球回転以外にさまざまな修飾が加わることは、Ford²⁾ が指摘しており、特に、眼瞼の動きによる修飾については、Barry & Melvill Jones¹⁾ が報告している。本実験の結果もこの可能性を示唆する。この点を考慮して、多くの研究者は、水平方向の眼球運動のみを扱っている。坂本⁶⁾、島菌⁷⁾ は、覚醒時には閉眼後数分間にわたって速い眼球運動が観察され、その後遅い動きが出現すると報告している。遅い動きの出現は、睡気やくつろぎによるもの、と考えられているが、著者らの実験では、睡気の有無に拘らず、より早期から緩やかな眼球運動の現われる例が多かった。また、図 2B の如く、垂直方向でも水平方向とほぼ同じ傾向の変動が観察された。

以上を要約すると、1) 眼球回転による EOG 電位は個人差があり、上方 40° では 0.23-0.58mV であった。垂直方向の視角と EOG 電位との関係は、多くの場合、上下おのおの、10-40° の範

囲で非直線的であった。水平方向では 40° までほぼ直線関係がえられた。2) 閉眼によって眼球が上転する時、同時に外転する例が多かった。また、閉眼により眼球は上転した後、次第に下降し、約 30-60 秒後にはほぼ一定の位置に安定した。閉眼中の EOG には、0.1-0.2Hz の振幅の大きい変動が顕著に見られることがあった。この場合、EOG の変動は、冷水に手を浸けたり、photic stimulation を与えることによって減少した。

References

- 1) Barry, W. & Melvill Jones, G. (1965) Influence of eye lid movement upon electro-oculographic recording of vertical eye movements. *Aerosp. Med.*, **36**, 855-858
- 2) Ford, A. (1959) Significance of terminal transients in electro-oculographic recordings. *A. M. A. Arch. Ophthalmol.*, **61**, 899-906
- 3) Mowrer, O. H., Ruch, T. C. & Miller, N. E. (1935) The corneo-retinal potential difference as the basis of the galvanometric method of recording eye movements. *Am. J. Physiol.*, **114**, 423-428
- 4) Shackel, B. (1958) A rubber suction cup surface electrode with high electrical stability. *J. Appl. Physiol.*, **13**, 153-158
- 5) Shackel, B. (1960) Pilot study in electro-oculography. *Brit. J. Ophthalmol.*, **44**, 89-113
- 6) 坂本信義(1965)閉眼時眼球運動記録による正常および欠陥状態の精神生理学的研究. *精神経誌* **67**, 1031-1051
- 7) 島菌安雄(1966)精神医学と眼球運動. *精神医学* **8**, 203-210
- 8) Ueda, R. & Suzuki, J. (1965) Studies on the eye speed during voluntary ocular movements and induced nystagmus in normal test-subjects. *Symposium on Vestibular and Oculomotor Problems*, 89-94

Key words : electro-oculogram, eye movement, eye closure, Bell's phenomenon

〔昭和53年度生理学論文表題集〕(3)

(日本生理学雑誌に掲載の分も含む)

本表題中 * 印は前年度の脱落分を示す

新潟大学医学部生理学第一教室

- 1) 新島 旭(1978.3)内臓の求心性および遠心性神経支配機構. 文部省科学研究費補助金特定研究脳の統御機能 1, 179-180
- 2) 新島 旭(1978.3)血糖増加・カテコールアミン分泌による肝求心線維活動の反応. 文部省科学研究費補助金, 総合研究A「ストレス応答と自律神経系」1-6
- 3) 小林 繁, 平野鉄雄(1978.1)胃腸腺のパラニューロン(3), クロム親和細胞と胃腸腺内分泌細胞活性化アミンと分泌性蛋白の合成と貯蔵. 医学のあゆみ 104(3), 199-207
- 4) Nijijima, A.(1978.3)Electrophysiological studies on the nervous regulatory mechanism of blood glucose level. XVIII International Congress of Neurovegetative Research Proceedings 79-80
- 5) Nijijima, A. (1978.3) The effects of glucose, mannose, and 2-deoxyglucose on the efferent discharge rate of the hepatic nerve in the rabbit. Integrative Control Functions of the Brain, 1978, Kodansha, E1/N-Holl. (Tokyo, Amsterdam). 1, 298-300
- 6) Hirano, T. & Nijijima, A. (1978.3) Effect of catecholamine on the firing rate of efferent discharges in the adrenal nerve. XVIII International Congress of Neurovegetative Research Proceedings p.74-75
- 7) 藁科 彬(1978.4)膜電位に関連した蛍光・吸光変化の測定. 生体の科学 29, 152-158
- 8) 新島 旭(1978.5)神経による血糖調節の話. 日本医事新報 No. 2820, 142-143
- 9) Nijijima, A. (1978) Coding mechanism of glucose sensitive afferent nerve fibers in the liver. IBRO News. 6(1), 18
- 10) 藁科 彬(1978.9)各種神経要素の興奮にともなう光吸収変化. 日本生理誌 40, 221-222
- 11) 平野鉄雄(1978.9)下垂体摘除マウスの副腎髄質細胞への³H-ドパミンの取り込み. 日本生理誌 40, (8,9), 343
- 12) 坂口武夫, 平野鉄雄(1978.9)神経性胃酸分泌について. 日本生理誌 40(8,9), 315
- 13) Warashina, A. (1978.9) Spectral analysis of absorption change associated with excitation in dye-stained nerve. 6th International Biophysics Congress Abstracts p.226
- 14) Hirano, T. & Kobayashi, S. (1978.9) ACTH controls ³H-dopamine uptake in the adrenal chromaffin cell. Neuroscience Letters 9(4),

337-340

- 15) Hirano, T. & Kobayashi, S. (1978.11) The effects of hypophysectomy on the uptake and distribution of ³H-dopamine in the mouse adrenal medulla; An autoradiographic study. Arch. histol. Jap. 41(5), 401-410
- 16) 平野鉄雄, 小林 繁 (1978.12) クロム親和細胞への³H-ドパミン取り込みにおよぼす下垂体摘出の影響. 解剖学雑誌 53(6), 479

新潟大学医学部生理学第二教室

- 1) 小林庄一, 根来英雄(1978.1)新しい教養の生理学一保健理論の基礎一. 関東出版社
- 2) Kobayasi, S., Murata, K. & Adachi, C. (1978.3) Diencephalic control of central respiratory periodicity in response to changes in Pco₂ in vagotomized rabbits. XVIII Intern. Congr. Neuroveg. Res. Proc. 182-183
- 3) Negoro, H., Akaishi, T. & Yamaguchi, K. (1978.3) Effect of estrogen on the hypothalamo-hypophysial system. VXIII Intern. Congr. Neuroveg. Res. Proc. 270-272
- 4) Akaishi, T. & Negoro, H. (1978.3) Effect of intraventricular injection of angiotensin II on paraventricular unit activity. XVIII Intern. Congr. Neuroveg. Res. Proc. 267-269
- 5) 赤石隆夫, 根来英雄(1978.4)視床下部下垂体後葉系の制御における脳室系の役割の検討. 日本内分泌学会誌 54, 353
- 6) 根来英雄(1978.4)後葉ホルモンの分泌調節と作用. 内分泌学, 南山堂 384-393
- 7) 山口賢一, 赤石隆夫, 根来英雄, 小林庄一, 浜齋, 鴨井久司(1978.4)アンジオテンシン III のバゾプレシン分泌促進効果. 日本内分泌学会誌 54, 353
- 8) Kobayasi, S. (1978.6) Adaptability of the Ama and other underwater workers. JIBP Synthesis Jap. Comm. for the IBP., Univ. of Tokyo 20, 173-175
- 9) 小林庄一, 山口賢一(1978.9)CO₂刺激に対する中枢性呼吸周期制御の解析. 日本生理誌 40, 340
- 10) 根来英雄, 赤石隆夫, 山口賢一(1978.9) Angiotensin II (AII) 脳室内投与と視床下部下垂体後葉系の活動. 生理学中部談話会予稿集 27
- 11) 赤石隆夫, 根来英雄(1978.9)視床下部-下垂体後葉系の電気活動に対する(Sar¹, Ile⁸)-angiotensin II 脳室内投与の影響. 日本内分泌学会東部部会講演要旨集 15, 44
- 12) 安達智恵子(1978.9) HCl, NaHCO₃ の静脈内注入

- による血液 pH 変化の呼吸頻度に与える影響. 日本生理誌 **40**, 340
- 13) 山口賢一, 坂口武夫, 根来英雄, 小林庄一, 浜齋, 鴨井久司(1978.9)アンジオテンシンのバゾプレシン分泌反応に対するアンジオテンシンアナログの効果. 日本内分泌学会東部々会議演要旨集 **15**, 67
 - 14) 高橋久仁男, 杉本英夫(1978.10)呼吸周期に対する運動リズムの影響, 第3報. 日本体育学会新潟県支部会報にいがた第2号 1
- 新潟大学歯学部口腔生理学教室**
- 1) 真貝富夫, 吉崎克明(1978.6)ウサギ水受容器の刺激受容における陰イオンの抑制効果とイオンの水構造破壊性との関係. 日本生理誌 **40**(6), 142
 - 2) 島田久八郎(1978.7)呼吸の深さと数の調節. 臨床生理 **8**, 347-349
 - 3) 北田泰之, 島田久八郎(1978.8)カエル舌水受容器に対する陰イオン抑制機構について. 第12回味と匂のシンポジウム論文集 29-32
 - 4) Kitada, Y. (1978.9) Inhibitory effects of cations on the Ca^{2+} response of water fibers in the frog tongue. *Jap. J. Physiol.* **28**, 413-422
 - 5) 北田泰之, 島田久八郎(1978.9)カエル舌水線維の Ca^{2+} 応答に対する SCN イオンの抑制効果. 日本生理誌 **40**(8,9), 289
 - 6) 島田久八郎, 北田泰之, 山田好秋(1978.9)ピクロトキシンの呼吸におよぼす効果. 日本生理誌 **40**(8,9), 341
 - 7) 北田泰之, 島田久八郎(1978.12)カエル舌水受容器の Ca^{2+} 応答に対する陽イオン抑制機構. 新潟歯学会雑誌 **8**, 84-92
 - 8) 真貝富夫(1978.12)微小イオン電極の試作とその唾液イオン濃度測定への応用. 新潟歯学会雑誌 **8**(2), 66
 - 9) Shimada, K., Kitada, Y. & Yamada, Y. (1978.12) Effects of picrotoxin on vagal respiratory inhibition in the rabbit. *Integrative Control Functions of the Brain*, ed. by Ito, M. **1**, 257-259
- 富山医科薬科大学医学部生理学第一教室**
- 1) Kawasaki, T., Kato, I., Aoyagi, M., Sato, Y., Koike, Y. & Ino, H. (1978) On the role of the brain stem in the visual suppression of caloric nystagmus. In: *Vestibular mechanisms in health and disease*, ed. by Hood, J. D. Academic Press 247-253
 - 2) Kawasaki, T., Kato, I. & Sato, Y. (1978.9) A possible neuronal pathway relevant to visual suppression of caloric nystagmus. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 250
 - 3) 川崎 匡, 佐藤 悠, 加藤 功(1978)温度性眼振の視覚性抑圧に関与する神経経路について. 第25回生理学中部談話会 予稿集, 37
 - 4) Homma, S. (1978) Organization of the trigeminal motor nucleus before and after metamorphosis in lampreys. *Brain Research* **140**, 33-42
 - 5) Homma, S. & Rovainen, C. M. (1978) Conductance increases produced by glycine and γ -amino butyric acid in lamprey interneurons. *J. Physiol. (Lond.)* **279**, 231-252
 - 6) Homma, S., Suzuki, T., Murayama, S. & Otsuka, M. (1978) Amino acids and substance P in the spinal cord of cats with hind-limb rigidity produced by occlusion of thoracic aorta. *Jap. J. Pharmacol. Suppl.* **28**, 44p
 - 7) 本間信治, Rovainen, C. M. (1978) ヤツメ脊髄巨大介在ニューロンに対するグリシンと GABA の作用. 日本生理誌 **40**, 231
 - 8) 本間信治, 鈴木俊雄, 村山 智, 大塚正徳(1978)大動脈血流の一時的遮断による固縮ネコ脊髄のアミノ酸とP物質. 日本生理誌 **40**, 235
 - 9) 本間信治(1978)ヤツメウナギの三叉神経運動核について. 第25回生理学中部談話会, 予稿集 9
 - 10) 佐藤 悠, 川崎 匡, 加藤 功, 水越鉄理, 早野信也(1978)視覚介入による温度性眼振の抑制解除現象の発現機序. 日本耳鼻咽喉科学会会報 **81**, 1005-1006
 - 11) 佐藤 悠, 川崎 匡, 加藤 功, 水越鉄理, 早野信也(1978)温度性眼振の固視抑制と眼球運動機能について. 日本耳鼻咽喉科学会会報 **81**, 106-112
 - 12) 佐藤 悠, 加藤 功, 水越鉄理, 早野信也(1978)開眼正中固視時に消失する交代性眼振症例. 耳鼻咽喉科 **50**, 379-382
 - 13) 五十嵐淑晴, 水越鉄理, 細川 智, 加藤 功, 川崎 匡, 佐藤 悠(1978)上眼瞼向き垂直性自発眼振の発現機序について. 平衡神経科学 **37**, 68-72
 - 14) 加藤 功, 小池吉郎, 青柳 優, 川崎 匡, 佐藤 悠, 水越鉄理(1978)猫における温度性眼振の抑制解除現象と視運動機能. 日本耳鼻咽喉科学会会報 **81**, 1007-1008
 - 15) 加藤 功, 青柳 優, 小池吉郎, 川崎 匡, 佐藤 悠(1978)温度性眼振への光の抑制効果に対する脳幹の態度. 日本平衡神経科学会, 予稿集 25
 - 16) 岡田美保子(1978)小型計算機で稼動する対話型ファイル処理システム. 情報処理 **19**, 686-689
 - 17) 岡田美保子, 神田武政, 丸山直滋, 白川健一, 岡田正彦(1978) Diadochokinesia test の定量分析. 神経内科 **9**, 70-72
 - 18) 神田武政, 丸山直滋, 岡田美保子, 岡田正彦(1978)加令による運動機能の変化 - diadochokinesia test, tapping test, articulation test の定量分析. 日本生理誌 **40**, 260-261
 - 19) Aoyagi, M., Kato, I., Sato, Y., Mizukoshi, K., Sato, T. & Ino, H. (1978) Neurological studies on methylmercurial intoxication in Macaca irus. In: *Vestibular mechanisms in health and disease* ed. by Hood, J. D. Academic Press 207-210

- 20) Kato, I., Sato, Y., Aoyagi, M., Mizukoshi, T., Watanabe, Y. & Ino, H. (1978) Four cases with polyphasic positional nystagmus. In: Vestibular mechanisms in health and disease ed. by Hood, J. D. 224-226

富山医科薬科大学医学部第二生理学教室

- 1) 佐々木和男, 村本健一郎, 西野仁雄, 小野武年 (1978.4) サルLHレバー押し摂食応答ニューロンのグルコース感受性. 日本生理誌 **40**, 97
- 2) 村本健一郎, 佐々木和男, 西野仁雄, 小野武年 (1978.4) ラット視交叉上核ニューロン活動の調節について. 日本生理誌 **40**, 98
- 3) Koizumi, K. & Nishino, H. (1978.5) Putative transmitters in suprachiasmatic nuclei. Iontophoresis and Transmitter Mechanisms in the Mammalian Central Nervous System. ed. by R. W. Ryall and J. S Kelly, Elsevier/North-Holland. 432-434
- 4) 西野仁雄, 小野武年, 佐々木和男, 村本健一郎 (1978.7) 視交叉上核と他中枢部位との解剖学および機能的連絡. 続バイオリズムとその機構. 須田正己, 早石 修, 中川八郎編. 講談社サイエンスティフィク 203-214
- 5) 西野仁雄, 小野武年, 佐々木和男, 村本健一郎, 矢野一郎 (1978.8) ラット視交叉上核における入力様式. 日本生理誌 **40**, 248
- 6) 小野武年, 西野仁雄, 佐々木和男, 村本健一郎, 大村 裕 (1978.8) 慢性サル摂食中枢ニューロンの化学感受性. 日本生理誌 **40**, 249
- 7) 大村 裕, 小野武年, 清水宣明, 喜多 均, 石塚智, 加藤昌克, 宮原郷土 (1978.8) 慢性サル摂食中枢ニューロンの化学受容性. 日本生理誌 **40**, 250
- 8) 村本健一郎, 矢野一郎, 佐々木和男, 西野仁雄, 小野武年 (1978.9) 視床下部化学感受性ニューロンに対するモルヒネの作用. 第25回生理学中部談話会予稿集 36
- 9) 佐々木和男, 村本健一郎, 矢野一郎, 西野仁雄, 小野武年 (1978.9) サル視床下部外側野化学感受性ニューロンの特性. 第25回生理学中部談話会予稿集 36
- 10) Ono, T., Nishino, H., Sasaki, K., Muramoto, K., Yano, I. & Simpson, A. (1978.10) Paraventricular nucleus connections to spinal cord and pituitary. *Neuroscience Letters*. **10**, 141-146
- 11) Oomura, Y., Ohta, M., Ishibashi, S., Kita, H., Okajima, T. & Ono, T. (1978.11) Activity of chemosensitive neurons related to the neurophysiological mechanism of feeding. *Recent Advances in Obesity Research*. ed. by Bray, G., Newman Publishing, London, II, 17-26
- 12) Oomura, Y., Ono, T., Ohta, M., Shimizu, N., Kita, H. & Ishibashi, S. (1978.12) Functional relationship between the frontal cortex and lateral hypothalamus. *Integrative Control*

Functions of the Brain. ed. by Ito, M., Tsukahara, N., Kubota, K. and Yagi, K. Kodansha/Elsevier **1**, 373-375

- 13) Ono, T., Oomura, Y., Nishino, H., Ohta, M., Sasaki, K., Shimizu, N. & Kita, H. (1978.12) Lateral hypothalamus-motor cortex relations in the chronic monkey. *Integrative Control Functions of the Brain*. ed. by Ito, M., Tsukahara, N., Kubota, K. and Yagi, K., Kodansha/Elsevier **1**, 376-378

金沢大学医学部第二生理学教室

- 1) Yamamoto, C. & Chujo, T. (1978.1) Long-term potentiation in thin hippocampal sections studied by intracellular and extracellular recordings. *Exp. Neurol.*, **58**, 242-250
- 2) Yamamoto, C. (1978.2) Actions of glutamic acid on cerebellar neurons. *Iontophoresis and Transmitter Mechanisms in the Mammalian Central Nervous System*. Elsevier 179-199
- 3) 山本長三郎 (1978.4) においを識別するシナプス回路. *サイエンス* **8**, 52-62
- 4) Yamamoto, C. & Chujo, T. (1978) Visualization of central neurons and recording of action potentials. *Exp. Brain Res.* **31**(2), 299-301
- 5) 山本長三郎 (1978.8) 海馬皮質における可塑性. *神経進歩* **22**, 984-991
- 6) 山本長三郎, 岩間吉也 (1978.10) 標準生理学 I. 金原出版, 東京
- 7) Takagi, M. & Yamamoto, C. (1978.11) Suppressing action of cholinergic agents on synaptic transmission in the corpus striatum of rats. *Exp. Neur.* **62**, 433-443
- 8) Takagi, M. & Yamamoto, C. (1978.12) Cholinergic agents and synaptic transmissions in the striatum. *Integrative Control Functions of the Brain*. Kodansha **1**, 38-39
- 9) Chujo, T. (1978) Neuronal Mechanisms of the Late N-Wave Induced In Vitro in Thin Sections of the Olfactory Cortex of Rats. *Jap. J. Physiol.* **28**, 433-445
- 10) Tsumoto, T., Creutzfeldt, O. D. & Legendy, C. R. (1978) Functional Organization of the corticofugal system from visual cortex to lateral geniculate nucleus in the cat (With an appendix on geniculo-cortical mono-Synaptic connections). *Exp. Brain Res.* **32**, 345-364
- 11) Tsumoto, T. & Suda, K. (1978) Evidence for excitatory connections from the deprived eye to the visual cortex in monocularly deprived kittens. *Brain Research* **153**, 150-156
- 12) Tsumoto, T. (1978) Inhibitory and excitatory binocular convergence to visual cortical neurons of the cat. *Brain Research* **159**, 85-97
- 13) 津本忠治, Creutzfeldt, O. D. & Legendy, C. R.

- (1978.4) 視覚領皮質から外側膝状体への投射のニューロン構成と機能. 日本生理誌 **40**, 98
- 14) 津本忠治, 須田耕平(1978.9) 一側正常視入力遮断による視覚領神経回路の変化. 日本生理誌 **40**, 255
- 15) 高木雅晴, 山本長三郎(1978.9) ラット線条体におけるコリン性薬物の作用. 日本生理誌 **40**, 257

金沢医科大学第一生理学教室

- 1) 大山 浩, 矢野二郎, 須貝外喜夫, 沢田さつき(1978.3) カエル両性類乳頭における周波数局在(tonotopic organization)について. 日本生理誌 **40**, 103
- 2) 須貝外喜夫, 大山 浩, 矢野二郎, 沢田さつき(1978.3) 1周期音刺激によるカエル聴覚1次神経応答. 日本生理誌 **40**, 103
- 3) 矢野二郎, 大山 浩, 須貝外喜夫, 沢田さつき(1978.8) カエル両性類乳頭における有毛細胞感覚毛の方向性分布. 日本生理誌 **40**, 286
- 4) 須貝外喜夫, 大山 浩, 矢野二郎, 沢田さつき(1978.8) 1周期正弦波音刺激に対するカエル聴覚1次神経. 日本生理誌 **40**, 286
- 5) 大山 浩(1978) 聴覚. 岩波講座「現代生物科学」(第2次), 感覚と神経系, 岩波書店 **8**, 58-76
- 6) 大山 浩(1978) 感覚入力と主観的評価との情報論的解釈. 昭和52年度文部省総合研究成果報告書, 神経活動の制御と出力行動(代表者 大村 裕) 9-12
- 7) Ooyama, H., Yano, J., Sugai, T. & Sawada, S. (1978.10) Effect of the rate of rise of tone burst on the tuning curve in the presence of peripheral inhibition. *J. Acoust. Soc. Am.* **64**, S85
- 8) Yano, J., Ooyama, H., Sugai, T., & Sawada, S. (1978.10) Probable correlations between morphology and tonotopic organization in frog amphibian papilla. *J. Acoust. Soc. Am.* **64**, S85
- 9) Sugai, T., Ooyama, H., Yano, J., & Sawada, S. (1978.10) Tuning curves of frog amphibian papilla nerve by single cycle sine wave. *J. Acoust. Soc. Am.* **64**, S85

金沢医科大学第二生理学教室

- 1) Imanaga, I. (1978) Effects of insulin on mammalian cardiac muscle. *Heart Function and Metabolism*, ed. by T. Kobayashi, T. Sano and N. S. Dhalla. Recent Advances in Studies on Cardiac Structure and Metabolism. Univ. Park Press **11**, 441-450
- 2) 今永一成, 金田能子, 宮川紀子, 根来 尚(1978) Dobutamine の選択的陽性変力作用について. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 94
- 3) 今永一成(1978) 心筋細胞の振動電位・特にその性質と部位差について. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 95

- 4) 今永一成, 宮川紀子, 金田能子(1978) 心筋細胞膜の Na-K ATPase 活性におよぼすインシュリンの影響について. *J. Kanazawa Med. Univ.* **3**, 64
- 5) Imanaga, I., Miyagawa, N. & Kaneda, T. (1978) Effects of insulin on sarcolemmal (Na⁺-K⁺) ATPase activity of dog heart and sodium pump(VIII). *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 311-312

信州大学医学部第一生理学教室

- 1) Azuma, T., Ohhashi, T. & Sakaguchi, M. (1978.12) Vibration-induced hyperresponsiveness of arterial smooth muscle to noradrenaline with special reference to Raynaud's phenomenon in vibration disease. *Cardiovascular Res.* **12**
- 2) Azuma, T., Fukushima, T. & Kikuchi, K. (1978) Hemodynamic factors associated with thrombogenesis. *Excepta Medica Intern. Cong. Ser. No. 415*, 730-732
- 3) Ohhashi, T., Kawai, Y. & Azuma, T. (1978.8) The response of lymphatic smooth muscles to vasoactive substances. *Pflügers Arch.* **375**, 183-188
- 4) Ohhashi, T., Azuma, T. & Sakaguchi, M. (1978.12) Transmembrane potential in bovine lymphatic smooth muscle. *Proc. Soc. exp. Biol. Med.* **159**, 350-352
- 5) Sakaguchi, M., Ohhashi, T. & Azuma, T. (1978.9) A new vibratory stimulator with special reference to its physiological applications. *IEEE Trans. Biomedical Engineering BME* **25**, 484-486
- 6) Chiba, S., Ohhashi, T. & Azuma, T. (1978.5) Isolated, blood-perfused canine arteries: Different vasoconstrictor responses of internal and external carotid arteries to 5-hydroxytryptamine. *Tohoku J. exp. Med.* **125**, 39-43
- 7) 東 健彦(1978.6) 脈管障害の発生機序—生理学的立場から—シンポジウム“職業と脈管障害”. 第51回日本産業衛生学会講演集 pp.56-59
- 8) 東 健彦(1978) 動脈硬化と血行力学. *Clinician* No. 288, 51-54
- 9) 東 健彦, 長谷川正光(1978) 容量血管の機能と粘弾性. 心臓血管系の基礎研究報告書(III) pp.260-266
- 10) 東 健彦, 大橋俊夫, 坂口正雄, 宮沢崇子, 河合康明(1978.5) 振動病における局所的な末梢循環障碍の発生機序. *心臓* **10**, 579-586
- 11) 大橋俊夫(1978.3) 尿管および血管平滑筋に対する微小振動刺激効果とその発生機序. *臨床生理* **8**, 132-148
- 12) 大橋俊夫(1978.9) リンパ担送の生理. *脈管学* **18**, 527-531
- 13) 大橋俊夫, 東 健彦(1978.12) Mg²⁺ による血管平滑筋の収縮反応. *日平滑筋誌* **14**

- 14) 福嶋孝義 (1978.3) 局在性血管障害の病態生理-流体力学的モデルによる考察. 心臓 **10**, 270-281
- 15) 福嶋孝義, 菊池克和, 東 健彦 (1978.7) 腹部大動脈内血流の攪乱に関するモデル実験. 第6回流れの可視化シンポジウム(東大宇宙研) pp.81-86
- 16) 福嶋孝義 (1978.9) 動脈硬化の成因-血行力学の立場より-. 信州医誌 **26**, 241-255
- 17) 福嶋孝義 (1978.11) 血流の攪乱と動脈硬化. 脈管学 **18**, 849-851
- 18) 坂口正雄, 大橋俊夫, 東 健彦 (1978.9) 超低周波微小振動装置の試作とその生理学的应用. 臨床生理 **8**, 434-438
- 19) 坂口正雄, 大橋俊夫, 東 健彦 (1978.11) イメージセンサによる血管径測定法とその脈管生理学的应用. 心臓 **10**, 1123-1128
- 20) 坂口正雄, 大橋俊夫, 東 健彦 (1978.12) Noradrenaline 作用時の血管径ならびに血管長の変化: 血管蛇行発現メカニズムとの関連から. 日平滑筋誌 **14**
- 21) Azuma, T. & Fukushima, T. (1978.5) Turbulence in stenotic blood vessels. 4th Kölner Symposium on Cerebral and Coronary Vascular Disorders and Infarcts. p.1
- 22) Azuma, T. & Fukushima, T. (1978.8) Turbulence generation in stenotic blood vessel models. Proc. 3rd. Internat. Cong. Biorheology p.130
- 23) Hasegawa, M. & Azuma, T. (1978.8) Viscoelastic characteristics and architecture of venous walls. Proc. 3rd. Internat. Cong. Biorheology. p.75
- 24) Ohhashi, T. & Azuma, T. (1978.7) The physiological and pharmacological characteristics of isolated bovine mesenteric lymphatics. 3rd International Symposium on Vascular Neuroeffector Mechanisms. Louvain, Belgium pp.38-39
- 25) Ohhashi, T. & Azuma, T. (1978.10) Mechanical and electrical activity of the lymphatics. Jap. J. Lymphology **1**(1), 5
- 26) Ohhashi, T., Kikuchi, K., Azuma, T. & Sakaguchi, M. (1978) Development of blood vessel meandering induced by an increase in circumferential tension. Biorheology **15**(3,4), 352
- 27) Fukushima, T., Kikuchi, K. & Azuma, T. (1978.8) Flow disturbance at branching sites in the abdominal aorta. Proc. 3rd. Internat. Cong. Biorheology p.132
- 28) Kikuchi, K., Fukushima, T. & Azuma, T. (1978.8) Flow separation and vortex formation in blood vessel models. Proc. 3rd. Internat. Cong. Biorheology p.129
- 29) 東 健彦, 大橋俊夫, 宮沢崇子, 坂口正雄 (1978.8) 振動刺激負荷による循環障碍の発生機序. 日本生理誌 **40**(8,9), 323
- 30) 長谷川正光, Wayland, H. (1978.12) ラット腸管膜微小血管内の赤血球移動速度. 循環器科 **4**(6), 507
- 31) 大橋俊夫, 河合康明, 東 健彦 (1978.8) リンパ担送の生理. 日本生理誌 **40**(8,9), 328
- 32) 大橋俊夫, 東 健彦 (1978.4) 振動病における末梢循環障害の発生機序. 第2回振動障害研究会発表集(林野庁) pp.222-227
- 33) 大橋俊夫, 菊池克和, 福嶋孝義, 東 健彦 (1978.6) 血管蛇行と壁周張力. 第1回日本バイオレオロジー総会予稿集 pp.58-59
- 34) 大橋俊夫 (1978.10) 主幹リンパ管の機能とリンパ流シンポジウム “リンパ管の解剖生理とその異常” 脈管学 **18**(6), 603
- 35) 大橋俊夫 (1978.11) 職業性レイノー現象の発生機序シンポジウム “職業性レイノー現象の基礎と臨床”. 第26回災害医学会総会予稿集 p.84
- 36) 大橋俊夫, 東 健彦, 坂口正雄 (1978.10) 振動病における局所的な末梢循環障害の発生機序. 脈管学 **18**(6), 716
- 37) 大橋俊夫, 東 健彦 (1978.11) 振動による局所循環障害の発生機構, 教育シンポジウム “振動障害と自律神経”. 第22回日本自律神経学会予稿集 p.23
- 38) 大橋俊夫, 福嶋孝義, 東 健彦 (1978.9) 動脈平滑筋の機能的走向に対する生理学的解析. 第25回生理学中部談話会予稿集 p.17
- 39) 福嶋孝義 (1978.10) 脈波の理論-動脈圧力脈波の成因と伝播-. 脈波 **8**(2), 108
- 40) 福嶋孝義, 菊池克和, 東 健彦 (1978.4) 動脈モデル内血流攪乱のスペクトル解析. 日本生理誌 **40**(4), 93
- 41) 河合康明, 大橋俊夫, 東 健彦 (1978.10) ステイール現象類似の機構による脳循環制御. 脈管学 **18**(6), 766
- 42) 河合康明, 大橋俊夫, 東 健彦 (1978.9) 頸動脈領域におけるステイール現象類似の機構. 第25回生理学中部談話会予稿集 p.18
- 43) 坂口正雄, 大橋俊夫, 東 健彦 (1978.8) 血管蛇行の発生機序. 日本生理誌 **40**(8,9), 325
- 44) 坂口正雄, 青木博夫, 大橋俊夫, 東 健彦 (1978.10) イメージセンサによる血管径, 血管長の同時測定法. 脈管学 **18**(6), 803
- 45) 坂口正雄, 大橋俊夫, 東 健彦 (1978.9) 生体内圧シミュレーション装置の試作とその生理学的应用. 第25回生理学中部談話会予稿集 p.17
- 46) 坂口正雄, 大橋俊夫, 東 健彦 (1978.4) 光電変換器による血管径測定法とその脈管生理学的应用. 日本生理誌 **40**(4), 92
- 47) 中島輝之, 東 健彦 (1978.11) 動脈硬化のバイオメカニクス-まとめ-. 脈管学 **18**, 879
- 48) 牛山喜久, 長谷川正光 (1978.10) 脈波速度の周波数および血圧依存性. 脈管学 **18**(6), 797

信州大学医学部第二生理学教室

- 1) 竹内 亨(1977.4)動脈血圧の測定. 生理学実習書 南江堂 40-44
 - 2) 竹内 亨(1978.3)血圧調節機構に関与する諸因子の機能と役割. 心臓血管系の基礎研究(II)(文部省科研特定研究) 22-29
 - 3) 金井浩三, 宮川 清(1978.4)体血圧振動に伴なう交感神経の振舞い. 日本生理誌 **40**(4), 94
 - 4) 林 実, 望月峻成, 宮川 清(1978.4)脳血行制御時の小循環動態について—肺動脈流量と大動脈流量との相違—. 日本生理誌 **40**(4), 93
 - 5) 宮川 清, 竹内 亨, 林 実(1978.4)血圧振動時, 脳血行遮断時の心拍出量の分布. 日本生理誌 **40**(4), 93
 - 6) 宮川 清(1978.6)血圧振動からみた循環系神経支配. 自律神経 **15**(3), 139-145
 - 7) 金井浩三, 宮川 清(1978.8)体血圧振動時, 血圧調節神経による交感神経活動抑制効果に関して. 日本生理誌 **40**(8), 323-324
 - 8) Hayashi, M., Miyakawa, K. & Mochizuki, T. (1978.9) Hemodynamics of the pulmonary circulation during hypertension produced by cerebral ischemia in rabbits. Abstract of VIIIth World Congress of Cardiology 310
 - 9) Miyakawa, K., Takeuchi, T., Hayashi, M. & Kanai, K. (1978.9) A blood pressure oscillation—Importance of nervous control of circulatory system for survival—. Abstract of VIIIth World Congress of Cardiology 309
 - 10) Miyakawa, K., Takeuchi, T., Hayashi, M. & Kanai, K. (1978.9) A blood pressure oscillation—An aspect of biological meaning of nervous regulation of cardiovascular system— Vith Internat. Biophysics Congress 130
 - 11) Takeuchi, T. & Miyakawa, K. (1978.9) Effects of hemorrhage and volume loading on the integrative control of circulatory system in rabbits. Abstract of VIIIth World Congress of Cardiology 390
 - 12) 竹内 亨, 宮川 清(1978.9)血圧調節機構における末梢血管抵抗と循環血液量の役割. 日本生理誌 **40**(8,9), 323
 - 13) 林 実, 宮川 清, 望月峻成(1978.10)脳血行制御時の体内血液分布に関する研究. 日本脈管学機関誌 **18**(6), 764
 - 14) 林 実(1978.12)血圧振動時における肺循環動態について. 信州医誌 **26**(4), 442-459
- 信州大学医学部薬理学教室**
- 1) Chiba, S., Kobayashi, M. & Furukawa, Y. (1978.2) Potentiation of tyramine action by 5-hydroxytryptamine in the dog heart. Jap. J. Pharmacol. **28**, 160-162
 - 2) Chiba, S. (1978.2) Comparative study of chronotropic and inotropic effects of dopamine and seven derivatives on the isolated, blood-perfused dog atrium. Clin. Exp. Pharmacol. Physiol. **5**, 23-29
 - 3) 千葉茂俊(1978.2)洞房結節部の伸展による頻脈. 心臓 **10**, 123-128
 - 4) Chiba, S., Furukawa, Y. & Kobayashi, M. (1978.3) Effects of cardioactive substances on the poststimulation potentiation of contractility in the isolated dog atrium. Jap. Heart J. **19**, 263-270
 - 5) Takeda, R. & Momose, Y. (1978.3) Effects of acetaldehyde on electrical and mechanical activities of guinea-pig taenia coli. Arch. Intern. Pharmacodyn. Ther. **232**, 14-27
 - 6) 千葉茂俊(1978.3)セロトニンの心調律および心収縮力に及ぼす影響. 日薬理誌 **74**, 7
 - 7) Furukawa, Y., Kobayashi, M. & Chiba, S. (1978.3) Effects of temperature on chronotropic and inotropic responses of isolated canine atria to 5 sympathomimetic amines. Jap. J. Pharmacol. **28**(Suppl), 97
 - 8) Nakanishi, S., Shiohara, E., Tsukada, M., Yamazaki, H. & Okumura, K. (1978.3) Acetaldehyde level in the blood and liver aldehyde dehydrogenase activity in trichloroethylene-treated rats. Jap. J. Pharmacol. **28**(Suppl), 157
 - 9) Takeda, R. & Momose, Y. (1978.3) Effects of changes in ionic environment on the action of acetaldehyde on electrical activity of the guinea pig taenia caecum. Jap. J. Pharmacol. **28**(Suppl), 136
 - 10) 塩原ゑい子, 塚田美代子, 山崎弘美, 奥村慶子, 中西頼央(1978.4)アルデヒド脱水素酵素に及ぼす Trichloroethylene ならびにその生体内代謝物の影響. 日薬理誌 **74**, 37
 - 11) Chiba, S., Ohhashi, T. & Azuma, T. (1978.4) Isolated, blood-perfused canine arteries: Different vasoconstrictor responses of internal and external carotid arteries to 5-hydroxytryptamine. Tohoku J. Exp. Med. **125**, 39-43
 - 12) 千葉茂俊(1978.4)アドレナリン作動性 α 機構による徐脈. 信州医誌 **26**, 1-6
 - 13) 千葉茂俊(1978.5)コリン作動性薬物による心房細動の発生機序. 心臓 **10**, 465-474
 - 14) Chiba, S., Kobayashi, M. & Furukawa, Y. (1978.5) Effects of optical isomers of verapamil on SA nodal pacemaker activity and contractility of the isolated dog heart. Jap. Heart J. **19**, 409-414
 - 15) Chiba, S., Kobayashi, M. & Furukawa, Y. (1978.6) Positive chronotropic and inotropic responses to guanosine in the isolated dog atrium. Europ. J. Pharmacol. **49**, 319-321
 - 16) Kobayashi, M., Furukawa, Y. & Chiba, S.

- (1978.7) Positive chronotropic and inotropic effects of angiotensin II in the dog heart. *Europ. J. Pharmacol.* **50**, 17-25
- 17) 千葉茂俊(1978.7)房室伝導障害—生体内イヌ房室結節動脈灌流法による—。臨床生理 **8**, 324-334
- 18) Chiba, S., Kobayashi, M. & Furukawa, Y. (1978.7) Direct positive chronotropic and inotropic effect of ouabain in the isolated and blood-perfused canine atrium. 7th Internat. Cong. Pharmacol. (abstract) 915
- 19) 小林三世治, 古川安之, 千葉茂俊(1978.8)アンギオテンシンⅡの心拍および心収縮力におよぼす直接効果。日薬理誌 **74**, 84
- 20) 千葉茂俊(1978.8)摘出心房筋と心拍数について—イヌ摘出心房標本との比較—。信州医誌 **26**, 197-201
- 21) 百瀬弥寿徳, 塩原ゑい子, 塚田美代子, 武田龍司, 中西頼央, 長谷川嘉成, 門田利人, 武藤紀生, 森田真寿行, 山下三郎, 石川信雄, 市村宏子, 佐藤 博(1978.8)BCNUの薬理作用に関する研究。医薬品研究 **9**, 766-786
- 22) Chiba, S., Furukawa, Y. & Kobayashi, M. (1978.9) Chronotropic and inotropic responses of isolated dog atria to guanosine and guanine nucleotides. 8th World Cong. Cardiol.(abstract) 561
- 23) Chiba, S. (1978.10) Selective stimulation of intracardiac preganglionic vagal fibers of the dog atrium. *Clin. Exp. Pharmacol. Physiol.* **5**, 465-469
- 24) Nakanishi, S., Shiohara, E. & Tsukada, M. (1978.10) Rat liver aldehyde dehydrogenases: Strain differences in the response of the enzymes to phenobarbital treatment. *Jap. J. Pharmacol.* **28**, 653-659
- 25) 塩原ゑい子, 塚田美代子 (1978.10) Trichloroethylene ならびにその代謝物のラットアルコール代謝におよぼす影響。アルコール研究 **13**, 66-67
- 26) Chiba, S., Furukawa, Y. & Kobayashi, M. (1978.10) Effect of nifedipine on frequency-force relationship in isolated dog left ventricular muscle. *Jap. J. Pharmacol.* **28**, 783-785
- 27) 千葉茂俊(1978.12)イヌ心臓の房室灌流法。信州医誌 **26**, 565-569
- 28) Chiba, S., Furukawa, Y. & Kobayashi, M. (1978.12) Direct positive chronotropic and inotropic effects of ouabain in the isolated and blood-perfused canine atrium. *Jap. Heart J.* **19**, 934-942
- 29) Shiohara, E., Tsukada, M., Yamazaki, H., Okumura, K. & Nakanishi, S. (1978.12) Effects of trichloroethylene and 1st metabolites on in vitro activities of rat liver aldehyde dehydrogenases. *Jap. J. Stud. Alcohol* **13**, 281-285
- 30) Chiba, S. (1978.12) Comparative study of chronotropic and inotropic responses to 5-(1-hydroxy-2-isopropyl-aminobutyl)-80hydroxycarbostyryl HCl hemihydrate (procatamol), salbutamol, noradrenaline and isoprenaline in the dog heart. *Clin. Exp. Pharmacol. Physiol.* **5**, 601-606
- 31) 小林三世治, 古川安之, 千葉茂俊(1978.12)エタノールおよびアセトアルデヒドの心臓作用。日薬理誌 **74**, 171

信州大学医学部順応医学研究施設
順応生理学教室

- 1) 上田五雨(1978.1)寒冷適応について。人類誌 **86** (1), 19-21
- 2) 酒井秋男(1978.1)アカネズミ (*Apodemus speciosus*) の心室重量における季節変動。哺乳動物誌 **7**(3), 143-149
- 3) Ueda, G. (1978.3) Vasomotor thermoregulation under cold stress. 単行本 [Houdas, Y. and Guieu, J. D. (Editors) *New trends in thermal physiology*, Masson, Paris]. 127-129
- 4) 柳平坦徳(1978.4)ラットの耐寒性におよぼすカテコールアミン投与。褐色脂肪組織摘出。剃毛および寒冷曝露の影響。信州医誌 **26**(1), 7-20
- 5) 上田五雨(1978.5)湯ざめの現象。日本医事新報 **2819**, 138-139
- 6) 上田五雨(1978.8)シャワーと全身浴との差。日本医事新報 **2832**, 165
- 7) 上田五雨, 竹岡みち子, 腰原由美(1978.9)寒冷血管規則波誘発に対する補助条件。日本生理誌 **40** (8.9), 360-361
- 8) 上田五雨, 本山十三生, 酒井秋男, 柳平坦徳, 古原和美(1978.9)登山家の急性低圧耐性について。日本生理誌 **40**(8,9), 363
- 9) 上田五雨(1978.9)体力と環境変化の対応。第33回日本体力医学会大会議事録 47-48
- 10) 上田五雨(1978.9)中高年者運動処方の問題点に関する総括。第33回日本体力医学会大会議事録 55
- 11) 上田五雨, 竹岡みち子, 腰原由美(1978.11)ウサギ耳翼の長時間寒冷血管反応。日本生気象誌 **15**, 45
- 12) 上田五雨(1978.11)人体における耐熱。耐煙限界。日本医事新報 **2846**, 151-152
- 13) 上田五雨(1978.11)頭寒足熱について。月刊健康 **42-44**
- 14) 上田五雨(1978.12)再び登山と水分摂取量について。日本医事新報 **2850**, 143-144

松本歯科大学口腔生理学教室

- 1) 熊井敏文, 野村浩道(1978.3)カエル舌水受容器の塩-酸応答。歯基礎誌 **20**, 198
- 2) 野村浩道(1978.6)P物質。松本歯学 **4**, 1-8
- 3) 鈴木 隆, 草野 皓(1978.6)ハムスター顎下神経節細胞に発現する過分極電位について。松本歯学

- 4, 78
- 4) 熊井敏文, 野村浩道(1978.8)カエル舌化学受容器に対する Ca^{2+} , Na^{2+} , H^{+} の相互干渉作用. 味と匂のシンポジウム発表論文集 **12**, 25-28
 - 5) Suzuki, T. & Volle, R. L. (1978.8) Responses of the rat superior cervical ganglion in vitro to isoprenaline and bethanechol. *Naunyn Schmiedebergs Arch. Pharmacol.* **304**, 15-20
 - 6) Suzuki, T. & Kusano, K. (1978.9) Hyperpolarizing potentials induced by Ca-mediated K-conductance increase in hamster submandibular ganglion cells. *J. Neurobiol.* **9**, 367-392
 - 7) Nomura, H. (1978.9) Histochemical localization of adenylate cyclase and phosphodiesterase activities in the folliate papillae of the rabbit. I. Light microscopic observations. *Chemical Senses and Flavour* **3**, 319-324
 - 8) 野村浩道, 浅沼直和(1978.9)ウサギ葉状乳頭のアデニルシクラーゼおよびホスフォジエステラーゼ活性. *日本生理誌* **40**, 292
 - 9) 浅沼直和, 野村浩道(1978.12)ウサギ葉状乳頭ホスファターゼの電顕的組織化学. *松本歯学* **4**, 171
 - 10) 16. Symp. for Internat. Soc. Clin. ERG. 38
 - 11) Chiba, Y., Adachi-Usami, E. & Asanagi, K. (1978.5) Visual acuity as obtained by the VECP in response to checkerboard pattern reversal stimuli. Abst. 16. Symp. for Internat. Soc. Clin. ERG. 31
 - 12) Adachi-Usami, E., Misago, M. & Kanayama, N. (1978.7) Electroperimetry by means of the scotopic VECP. *Doc. Ophthal. Proc. Series. Electrodiagnosis, Toxic agents and Vision.* Junk. Pub. The Hague 179-187
 - 13) Morita, Y., Nakamura, T. & Segi, K. (1978.9) VECP analysis by means of Kalman filter. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 263-264
 - 14) Adachi-Usami, E. (1978.9) Human visually evoked cortical potentials and spatial MTF. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 264
 - 15) Adachi-Usami, E. & Morita, Y. (1978.9) Temporal MTF as determined by human visually evoked cortical potentials. Abst. 6. Intern. Biophysics Congress 226
 - 16) 安達恵美子, 三砂将裕, 金山尚裕(1978.9) VECPによるヒト空間周波数特性と面積効果. 昭和53年度網膜と視路の電気現象グループディスカッション抄録集 **2**
 - 17) 千葉弥幸, 千葉次郎, 黒田紀子, 安達恵美子(1978.9) Checkerboard Pattern Reversal VECPによる視覚領の左右対称性について. 昭和53年度網膜と視路の電気現象グループディスカッション抄録集 **8**
 - 18) 千葉弥幸, 黒田紀子, 千葉次郎, 安達恵美子(1978.10) Checkerboard Pattern Reversal VECP-half field stimulationにおける頭皮上の電位分布について. 194回千葉眼科集談会抄録集 **9**
 - 19) 安達恵美子(1978.11) 視覚誘発電位(VECP). 第3回神経眼科講習会テキスト 8-11

浜松医科大学生理学第一講座

- 1) Adachi-Usami, E. (1978.3) Scotopic retinal sensitivity in man as determined with visually evoked cortical potentials. *Jap. J. Physiology* **28**, 171-180
- 2) 田畑満生, 森田之大(1978.4) 下等脊椎動物松果体の感色性スパイク応答. *日本生理誌* **40**, 90
- 3) 中村孝文, 森田之大(1978.4) カルマン・フィルターによる視覚微小電位の検出. *日本生理誌* **40**, 91-92
- 4) 安達恵美子, 瀬木和雄, 森田之大(1978.4) 試作した TV pattern generator と lock-in analyzer による VECP の記録. *日本生理誌* **40**, 92
- 5) 安達恵美子(1978.5) 「注目の疾患・問題の領域」 病因・病態・診断・治療—その新しき展開. VECP—最近の動向と応用. *日本臨床社* 706-707
- 6) 安達恵美子, 森田之大(1978.5) 試作した Multi-purpose Television Pattern Generator と VECP によるヒト空間周波数特性. *眼紀* **29**, 775-777
- 7) 千葉弥幸, 安達恵美子(1978.5) Checkerboard Pattern Reversal VECP—振幅の個人差と視力—. *眼紀* **29**, 784-786
- 8) 安達恵美子(1978.5) Pattern reversal VECP による屈折検査—Lock-in Amplifier と Averager による記録結果の比較. *眼紀* **29**, 787-789
- 9) Adachi-Usami, E. (1978.5) VECPs to a multi-purpose television pattern generator. Abst. 16. Symp. for Internat. Soc. Clin. ERG. 28
- 10) Adachi-Usami, E. & Morita, Y. (1978.5) Temporal and spatial modulation transfer function in human vision as obtained by the VECP. Abst.

浜松医科大学第二生理学教室

- 1) 高田明和, 高田由美子(1978.1) 線溶と補体—抗線溶物質と補体. *臨床免疫* **10**, 25-30
- 2) Sumi, H., Toki, N., Takada, Y. & Takada, A. (1978.1) Studies on human urinary enzymes and inhibitors: Concentration method and characterization. *J. Biochem.* **83**, 141-147
- 3) Takada, Y., Arimoto, Y., Mineda, H. & Takada, A. (1978.2) Inhibition of the classical and alternative pathways by aminoacids and their derivatives. *Immunology* **34**, 509-515
- 4) Sumi, H., Takada, Y. & Takada, A. (1978.2) The effect of metal ions on esterase activities of urokinase. *Thrombos. Haemostas.* **39**, 46-52
- 5) Ariga, Y., Sumi, H., Takada, Y. & Takada, A. (1978.4) Studies on thrombin accelerating factor on human urine. *Thrombos. Res.* **12**, 645-651

- 6) 高田由美子, 有本之嗣, 峯田周幸, 須見洋行, 高田明和(1978.4) アミノ酸および関連物質の補体抑制作用について. 日本生理誌 **40**, 90
- 7) 高田由美子, 高田明和(1978.4) C3/C5 コンベルターゼの純化と種々補体活性との相関. 日本血液学会雑誌 **41**, 358
- 8) 福田成司, 高田由美子, 高田明和(1978.4) 補体のD因子とC(3-9)値の新しい測定法とその応用. 日本血液学会雑誌 **41**, 359
- 9) 須見洋行, 高田由美子, 高田明和(1978.4) ウロキナーゼの精製とその安定化. 日本血液学会雑誌 **41**, 420
- 10) 高田明和, 高田由美子(1978.4) トラネキサム酸の補体抑制作用. 日本血液学会雑誌 **41**, 424
- 11) 斎藤幸雄, 山本一哉, 須見洋行, 高田明和(1978.4) 小児温疹患者の尿中エステラーゼおよびトリプシンインヒビター活性の変動. 日本血液学会雑誌 **41**, 426
- 12) 高田明和, 鈴木美佐代, 高田由美子, 須見洋行(1978.5) 尿中トリプシンインヒビターとプラスミンインヒビターの関係. 臨床血液 **19**, 733
- 13) 峯田周幸, 有本之嗣, 高田由美子, 高田明和(1978.5) 抗線溶物質の補体抑制作用. 臨床血液 **19**, 740
- 14) 高田由美子, 有本之嗣, 峯田周幸, 高田明和(1978.5) 種々疾患の classical pathway と alternative pathway の相関について. 臨床血液 **19**, 646
- 15) Takada, A., Sumi, H. & Takada, Y. (1978.7) Influence of coagulation on the activation of plasminogen and Cls. Abstracts of XVII Cong. Int. Soc. Hematol. **17**, 116
- 16) Kanda, Y., Aoshima, R. & Takada, A. (1978.7) Multi-sample solid state computerized platelet aggregometer. Abstracts of XVII Cong. Int. Soc. Hematol. **17**, 364
- 17) Sumi, H., Takada, Y. & Takada, A. (1978.7) Studies on human urinary trypsin inhibitor (UTI): Some properties of UTI-I, and III, and new UTIs with very low molecular weights produced by the action of several proteinases. Abstracts of XVII Cong. Int. Soc. Hematol. **17**, 631
- 18) Takada, Y. & Takada, A. (1978.7) Effect of tranexamic acid, t-AMCHA, and its cis-isomer on the complement system in vitro and in vivo: Possible relationship between coagulation and complement system. Abstracts of XVII Cong. Int. Soc. Hematol. **17**, 1009
- 19) Takada, A. & Takada, Y. (1978.8) Effect of tranexamic acid, t-AMCHA, and its cis-isomer on the complement system in vitro and in vivo. Thrombos. Res. **13**, 193-205
- 20) 高田明和, 高田由美子(1978.8) Tranexamic acid (t-AMCHA) と Cis-AMCHA の補体抑制作用. 補体シンポジウム講演抄録集 **15**, 21-23
- 21) 今村陽子, 宮島裕明, 高田由美子, 高田明和, 野末道彦(1978.8) 慢性扁桃炎の際の血中, 組織中の補体, 線溶活性の測定法について. 補体シンポジウム講演抄録集 **15**, 76-78
- 22) 高田由美子, 高田明和(1978.8) Classical pathway と Alternative pathway の活性と諸因子間の相関. 補体シンポジウム講演抄録集 **15**, 129-131
- 23) 高田由美子, 高田明和(1978.9) Streptokinase potentiator の研究. 日本生理誌 **40**, 332
- 24) 高田明和, 高田由美子, 須見洋行(1978.9) 凝固, 線溶と補体: tranexamic acid の作用. 日本生理誌 **40**, 332
- 25) Takada, A. & Takada, Y. (1978.9) Studies on SK-potentiator of plasminogen in human plasma. Thrombos. Res. **13**, 325-335
- 26) 高田明和, 高田由美子(1978.10) 線溶と疾病. 臨床科学 **14**, 1224-1231
- 27) 高田由美子, 高田明和(1978.10) 血中 protease inhibitor による trypsin の抑制. 臨床血液 **20**, 262
- 28) 高田明和, 高田由美子(1978.10) 凝固のプラスミノゲン活性化におよぼす影響. 臨床血液 **20**, 265
- 29) 高田由美子, 大橋弘幸, 高田明和(1978.11) 凝固時のプラスミノゲン, 補体活性化に及ぼす tranexamic acid の影響. プラスミン研究会講演抄録集 **18**, 5
- 30) 高田明和(1978.11) α_2 PI と t-AMCHA. プラスミン研究会講演抄録集 **18**, 31
- 31) 高田明和, 高田由美子(1978.12) 凝固の線溶におよぼす影響. 日本血栓止血学会抄録集 **1**, 26
- 32) 高田由美子, 高田明和(1978.12) 凝固と線溶: MDS と tranexamic acid の plasminogen 活性化における影響. 日本血栓止血学会抄録集 **1**, 50
- 33) 間野忠明, 真野行生, 山崎良比古, 浜口吉克(1978.2) 舞蹈病運動時の筋紡錘活動について. 最新医学 **33**, 232-235
- 34) 間野忠明(1978.3) 進行性核上性麻痺. パーキンソン病—病態生理と治療法—(金原出版) 73-76
- 35) 間野忠明(1978.3) Parkinsonian tremor の特殊性. パーキンソン病—病態生理と治療法—(金原出版) 91-102
- 36) 間野忠明(1978.3) L-DOPA による dyskinesia とその対策. パーキンソン病—病態生理と治療法—(金原出版) 227-238
- 37) 間野忠明(1978.3) 異常運動と筋紡錘活動. 厚生省特定疾患・異常運動疾患調査研究班1977年度研究報告書 134-140
- 38) 間野忠明(1978.3) 異常重量状態における姿勢制御の研究(主として脊髄以下の機構について). 文部省科学研究費補助金総合研究(B)昭和52年度報告書 33-44
- 39) 御手洗玄洋, 間野忠明(1978.3) 異常重量下の姿勢

- 制御. 文部省科学研究費補助金総合研究(A)昭和52年度研究経過報告書 59-73
- 40) 間野忠明, 平沢弥一郎, 山崎良比古, 鬼頭伸和, 御手洗玄洋(1978.3)ヒトの立位での重心動揺と抗重力筋の筋紡錘活動について. 名大環研年報 12-14
 - 41) 山崎良比古, 間野忠明, 鬼頭伸和, 御手洗玄洋(1978.3)随意動作直後のH波の変化について. 名大環研年報 15-17
 - 42) 間野忠明, 山崎良比古, 鬼頭伸和, 御手洗玄洋(1978.4)ヒトの筋トームス低下時の筋紡錘活動. 日本生理誌 40, 99-100
 - 43) 山崎良比古, 鬼頭伸和, 御手洗玄洋, 間野忠明(1978.4)随意運動の直後に生じるH波の抑制について. 日本生理誌 40, 100
 - 44) 間野忠明, 平沢弥一郎, 中村正道, 山崎良比古, 鬼頭伸和, 日比野隆一, 御手洗玄洋(1978.4)ヒトの立位での重心位置と抗重力筋活動について. 宇宙航空環境医学 15, 22-23
 - 45) 間野忠明(1978.5)Kinésie paradoxale. 日本臨床 36, 1710-1711
 - 46) 間野忠明, 西村忠郎(1978.6)抗重力筋活動とめまい. 平衡神経 37, 137-138
 - 47) 間野忠明, 平沢弥一郎, 中村正道, 山崎良比古, 鬼頭伸和, 日比野隆一(1978.6)ヒトの立位での重心動揺と抗重力筋の筋紡錘活動について. 平衡神経 37, 177
 - 48) 塩沢全司, 馬淵千之, 瀬川昂生, 間野忠明, 祖父江逸郎(1978.6)終夜睡眠と胃内 pH の関連—胃・十二指腸潰瘍患者を中心として—. 自律神経 15, 122-129
 - 49) Mano, T., Yamazaki, Y. & Mitarai, G.(1978.7) Muscle spindle activity in human hypotonia. IBRO News(Neuroscience suppl.) 6, 8
 - 50) Mano, T., Yamazaki, Y., Kito, N. & Mitarai, G.(1978.7)Muscle spindle activity of antigravity muscle of man in upright position. 日本生理誌 40, 258
 - 51) 塩沢全司, 間野忠明, 祖父江逸郎(1978.9)夜間睡眠時における不随意運動のポリグラフィ的研究—dystonia, choreo-athetosis, ballism について—. 臨床神経 18, 547-556
 - 52) 間野忠明, 山崎良比古, 浜口吉克, 真野行生, 祖父江逸郎(1978.12)筋トームス異常時の γ 運動ニューロン活動について. 臨床神経 18, 852-853
- 名古屋大学医学部第一生理学教室**
- 1)* 山本宗平, 伊藤嘉紀(1977)Sympathetic Nervous Control of Protein Transport through the Blood-Aqueous Barrier in the Rabbit Eye. XIII International Congress of Neurovegetative Research. 220-221
 - 2) 熊沢孝朗, Perl, E. R. (1978.2) Excitation of marginal and substantia gelatinosa neurons in the primate spinal cord: Indications of their place in dorsal horn functional organization. J. Comp. Neur. 177, 417-434
 - 3) 山本宗平, 伊藤嘉紀(1978.4) Blood-Aqueous Barrier (BAB) の蛋白透過機序の解析. 日本生理誌 40, 90
 - 4) 水村和枝, 熊沢孝朗(1978.4) Multi-unit 記録による鞏丸の polymodal receptor の反応. 日本生理誌 40, 104
 - 5) 伊藤嘉紀(1978.6)五苓散証の病態生理—浸透圧のセットポイント低下. 日本東洋医学会誌 28, 91-99
 - 6) 熊沢孝朗, 水村和枝(1978.7) Polymodal receptors in deep tissues. IBRO News 6, 18
 - 7) 熊沢孝朗, 水村和枝, 只木英子, 金 奇吾(1978.9) Polymodal receptor による呼吸循環調節. 日本生理誌 40, 318
 - 8) 山本宗平, 伊藤嘉紀(1978.9) Plasmoid Aqueous 形成時の房水 Bulkflow とアルブミン透過性に対する自律神経遮断剤の影響. 日本生理誌 40, 328
 - 9) 上田 宏, 矢崎喜朔, 小林美恵, 星野臣平, 早川律子, 山本宗平(1978.9)後天性無汗症を伴う Adie 症候群. 皮膚 20, 346-351
 - 10) 熊沢孝朗(1978.9)ハリ麻酔の作用機序について. 1. ハリ麻酔は効くか? その求心性機序は?—臨床生理 8, 413-419
 - 11) 熊沢孝朗(1978.11)ハリ麻酔の作用機序について. 2. その中枢性機序は? 臨床生理 8, 505-516
 - 12) 熊沢孝朗, 水村和枝, 只木英子, 金 奇吾(1978) Depressor and pressor responses produced by the muscular thinfiber afferents. Integrative control functions of the brain Ed. M. Ito 242-243
- 名古屋大学医学部第二生理学教室**
- 1) Ito, F. & Yokoyama, N. (1978.1) Potential deflections at the terminal of the frog muscle spindle during stretch. Nagoya J. Med. Sci. 40, 13-23
 - 2) Ito, F.(1978.1)Inactivation during prolonged depolarization of the sensory nerve terminal in the frog muscle spindle. IBRO News 6, 2
 - 3) Alkon, D. L., Akaike, T. & Harrigan, J.(1978.2) Interaction of chemosensory, visual, and statocyst pathways in *Hermisenda crassicornis*. J. Gen. Physiol. 71, 177-194
 - 4) Ito, F., Ito, Y., Fujitsuka, N. & Matsuura, M. (1978.3)Miniature end-plate potentials in the frog muscle spindle. Brain Res. Bul. 3, 161-165
 - 5) Ito, F.(1978.3)In Memoriam Professor Yasu Kuno(1882-1977). Int. J. Biometeor. 22, 159-160
 - 6) Ito, F. & Komatsu, Y.(1978.4)Why do not the subdivided branch terminals in the frog muscle spindle initiate impulses? J. Physiol. Soc. Jap. 40, 296

- 7) Ito, Y. & Ito, F.(1978.4)Non-invariant simultaneous reset interaction among encoding sites in the frog muscle spindle. J. Physiol. Soc. Jap. **40**, 296
- 8) Ito, Y.(1978.7)Renewal processes decomposable into i. i. d. components. Proc. VIII Conf. stochastic proc. & applicat. 34
- 9) Ito, Y.(1978.7)Intrinsic pdf's of multiple encoding sites belonging to an afferent fibre. Proc. IV Australian statistical conf. 40
- 10) Akaike, T. & Alkon, D. L.(1978.9)Dual synaptic action of photoreceptors in *Hermisenda*. Proc. VI Intern. Biophysics Cong. **1**, 175
- 11) Ito, Y. & Ito, F.(1978.9)Interaction between two encoding sites in the frog muscle spindle. Proc. VI Internat. Biophysics Cong. **1**, 221
- 12) Ito, F., Komatsu, Y. & Katsuta, N. (1978.9) Generator potential of the frog muscle spindle recorded by an air gap method. Proc. VI Internat. Biophysics Cong. **1**, 292
- 13) Fukuda, J., Komatsu, Y. & Kawa, K.(1978.9) Permeability of the Ca-channels to inorganic divalent cations in skeletal muscle fibers of insect larvae. Proc. VI Internat. Biophysics Cong. **1**, 373
- 14) Ito, Y.(1978.10)A semi-group of operators as a model of the lateral inhibition process in the sensory system. Supp. Adv. Appl. Prob. **10**, 104-110
- 15) Ito, Y.(1978.10)Superposition and decomposition of stationary point. processes. J. Appl. Prob. **15**, 481-493
- 16) Ito, F. & Komatsu, Y.(1978.11)The site of origin of the abortive spikes in terminals of the frog muscle spindle afferent nerve. Integ. Cont. Funct. Brain **1**, 124-125
- 17) 伊藤嘉房 (1978.4) Inverse problem concerning impulse interaction in branching nerve fiber. 日本生理誌 **40**, 105
- 18) 伊藤文雄, 小松由紀夫(1978.4)Air gap method で記録されたカエル筋紡錘の generator potential. 日本生理誌 **40**, 105
- 19) 伊藤文雄(1978.1)カエル筋紡錘神経末端の膜電位と順応の速度. 第1回神経科学学術集会 予稿集 **11**
- 20) 赤池 忠, Alkon, D. L. (1978.11) 光受容細胞の二重シナプス作用. 第4回動物生理学シンポジウム予稿集 **3**
- 21) 伊藤文雄, 小松由紀夫(1978.11) 錘内筋繊維に沿う膜電位変化の光学的記録. 第4回動物生理学シンポジウム予稿集 **24**
- 22) 伊藤嘉房 (1978.10) I. i. d. components に分解可能な renewal process. 日本数学会統計数理分科会議講演要旨 **9**

名古屋大学環境医学研究所第五部門

- 1) 御手洗玄洋, 高林 彰, 森 滋夫, 浅野俊樹, 高木貞治, 榊原 学, 瀬古 章, 林 良一(1978.3) 視機能の変化から見た高所障害. I. 反応時間による観察. 名大環研年報 **29**, 1-3
- 2) 御手洗玄洋, 浅野俊樹, 森 滋夫, 高木貞治, 高林 彰, 榊原 学, 瀬古 章, 林 良一(1978.3) 視機能の変化から見た高所障害. II. 眼電位(EOG), フリッカー値(CFF)による観察. 名大環研年報 **29**, 4-7
- 3) 御手洗玄洋, 森 滋夫, 浅野俊樹, 高木貞治, 高林 彰, 榊原 学, 瀬古 章, 林 良一(1978.3) 視機能の変化から見た高所障害. III. 一般的症状, 心拍数の変化との対比. 名大環研年報 **29**, 8-11
- 4) 間野忠明, 平沢弥一郎, 山崎良比古, 鬼頭伸和, 御手洗玄洋 (1978.3) ヒトの立位での重心動揺と抗重力筋の筋紡錘活動について. 名大環研年報 **29**, 12-14
- 5) 山崎良比古, 間野忠明, 鬼頭伸和, 御手洗玄洋 (1978.3) 随意動作直後のH波の変化について. 名大環研年報 **29**, 15-17
- 6) 御手洗玄洋, 榊原 学, 高木貞治, 高林 彰 (1978.3) 鯉網膜の水平細胞と視神経節細胞との機能的連絡. 名大環研年報 **29**, 18-21
- 7) 御手洗玄洋, 臼井支朗, 榊原 学(1978.3) 網膜水平細胞応答の位相面解析. 名大環研年報 **29**, 22-23
- 8) 御手洗玄洋, 後藤倬男(1978.3) 鯉の視神経節細胞受容野の色光応答特性(2). 名大環研年報 **29**, 24-26
- 9) 森 滋夫, 浅野俊樹, 御手洗玄洋(1978.3) リチウム(Li)溶液灌流網膜における off 応答の変化. 名大環研年報 **29**, 27-29
- 10) 御手洗玄洋, 菅 誠一(1978.3) 皮膚誘導による人の ERG の検討. 名大環研年報 **29**, 30-34
- 11) 御手洗玄洋(1978.3) 網膜における視覚情報の受容. 生体の制御情報システム(朝倉書店) 222-231
- 12) 御手洗玄洋, 後藤倬男(1978.4) コイの視神経節細胞の応答特性と受容野. 日本生理誌 **40**, 91
- 13) 森 滋夫, 浅野俊樹(1978.4) リチウム(Li)置換低 Na 溶液灌流で見られる ERG の変化について. 日本生理誌 **40**, 91
- 14) 御手洗玄洋, 榊原 学, 高木貞治, 高林 彰 (1978.4) 網膜の水平細胞と視神経節細胞との機能的連絡. 日本生理誌 **40**, 91
- 15) 御手洗玄洋, 高林 彰, 森 滋夫, 浅野俊樹, 高木貞治, 榊原 学, 瀬古 章, 林 良一 (1978.4) 視機能の変化から見た高所障害. I. 反応時間(RT)による観察. 宇宙航空環境医学 **15**, 16-17
- 16) 御手洗玄洋, 浅野俊樹, 森 滋夫, 高木貞治, 高林 彰, 榊原 学, 瀬古 章, 林 良一(1978.4) 視機能の変化からみた高所障害. II 眼電位(EOG), フリッカー値による観察. 宇宙航空環境医学 **15**,

- 17
- 17) 御手洗玄洋, 森 滋夫, 浅野俊樹, 高木貞治, 高林 彰, 榊原 学, 瀬古 章, 林 良一(1978.4) 視機能の変化からみた高所障害. III. 一般的症状との関連における総合的考察. 宇宙航空環境医学 **15**, 17-18
 - 18) 間野忠明, 平沢弥一郎, 中村正道, 山崎良比古, 鬼頭伸和, 日比野隆一, 御手洗玄洋(1978.4) ヒトの立位での重心位置と抗重力筋活動について. 宇宙航空環境医学 **15**, 22-23
 - 19) 間野忠明, 山崎良比古, 鬼頭伸和, 御手洗玄洋, (1978.4) ヒトの筋トヌス低下時の筋紡錘活動. 日本生理誌 **40**, 99-100
 - 20) 山崎良比古, 鬼頭伸和, 御手洗玄洋, 間野忠明(1978.4) 随意運動の直後に生じるH波の抑制について. 日本生理誌 **40**, 100
 - 21) Wilson, S., Higashida, H., Minna, J. & Nirenberg, M.(1978.5) Effects in synapse formation and acetylcholine release by neuroblastoma and hybrid cell lines. Fed. Proc. **37**, 1784
 - 22) Mano, T., Yamazaki, Y. & Mitarai, G.(1978.7) Muscle spindle activity in human hypotonia. IBRO News(Neuroscience suppl.) **6**, 8
 - 23) Mano, T., Yamazaki, Y., Kito, N. & Mitarai, G. (1978.9) Muscle spindle activity of antigravity muscle of man in upright position. 日本生理誌 **40**, 258
 - 24) 御手洗玄洋, 榊原 学, 高木貞治, 高林 彰(1978.9) コイ網膜の水平細胞と視神経節細胞間連絡の一考察. 日本生理誌 **40**, 276
 - 25) 後藤倬男, 御手洗玄洋(1978.9) コイの視神経節細胞の色受容野構成. 日本生理誌 **40**, 278
 - 26) 森 滋夫, 浅野俊樹, 御手洗玄洋(1978.9) Li 溶液灌流網膜における off 応答の変化. 日本生理誌 **40**, 278-279
 - 27) 間野忠明, 山崎良比古, 御手洗玄洋(1978.11) 低重量下の立位におけるヒトの下肢抗重力筋のNMU 活動について. 第37回平衡神経科学会総会学術講演会抄録集 **48**
 - 28) Higashida, H., Wilson, S. P., Adler, M. & Nirenberg, M.(1978.11) Synapse formation by neuroblastoma and hybrid cell lines. Abst. Soc. for Neurosci. **4**, 591
- 名古屋市立大学医学部第一生理学教室**
- 1) Takagi, T., Nagai, R., Hotta, K. & Ito, N. (1978.1) Experimental study on cerebral vasospasm: Contractile proteins in smooth muscle of bovine carotid artery. Neurol. Medicochirurgica **18** part 1, 101
 - 2) Hozumi, T. & Hotta, K.(1978.3) Effect of DTNB light chain on the actin-myosin interaction in the presence of ATP. J. Biochem. **83**, 671
 - 3) Ito, N., Koshita, M. & Tanaka, R.(1978.3) Ca sensitive Mg ATPase extracted from plain synaptic vesicles. (Abstract) Tans. Am. Soc. Neurochem. **9**, 85
 - 4) 長谷川泰洋, 堀田 健(1978.4) 皮膚の温度情報伝達特性(抄). 日本生理誌 **40**, 295
 - 5) 大羽利治, 堀田 健(1978.4) ダントロレン骨格筋細胞内投与と興奮収縮連関(抄). 日本生理誌 **40**, 300
 - 6) 佐藤啓男, 長谷川泰洋, 堀田 健(1978.7) 周波数解析による心拍数制御特性の臨床的評価 (シンポジウム抄). 医用電子と生体工学 **16**(特別号), S-7
 - 7) Ito, N.(1978.8) Ca²⁺ regulation of smooth muscle contractile proteins. Nagoya Med. J. **23**, 31
 - 8) Hotta, K., Oba, T. & Watari, N. (1978.9) Structure and electrical characteristics of internal membrane system: its role on E-C coupling of skeletal muscle fibers.(Abstract) Abstract, 6th Int. Biophys. Cong. **234**
 - 9) Mochizuki, A., Aoki, K., Kondo, S., Mizuno, T. & Hotta, K.(1978.9) Specificity of tension development and Ca flux of the arterial smooth muscle in SHR. Abstracts 3rd. Int. Symp. on SHR **88**
 - 10) Oba, T. & Hotta, K.(1978.10) Transient effect of intracellular dantrolene on E-C coupling in skeletal muscle. Eur. J. Pharmacol. **51**, 81
 - 11) 堀田 健, 大羽利治, 蟹江良一, 渡 仲三(1978.10) ジストロフィー筋の生理機能と内部構造. 筋ジストロフィー症の病因究明に関する研究. 52年度報告書 **124**
 - 12) Oba, T., Kanie, R., Watari, N. & Hotta, K.(1978.11) Electrical and morphological observations on single muscle fibers in developing dystrophic mouse. Exp. Neurol. **62**, 214
 - 13) 杉山幸八郎, 小池和男, 長谷川泰洋(1978.4) 先天性胆道閉鎖と乳児肝炎との一般肝機能検査を用いての判別関数による鑑別の試み. 小児科臨床 **31**, 587
 - 14) 伊藤宣夫, 越田 信, 田中 亮(1978.9) 仔牛大脳皮質における Ca・Mg・ATPase の局在(抄). 生化学 **50**, 1020
 - 15) 堀田 健(1978.8) 筋神経組織の構成 分離膜成分の性質. 膜と神経・筋・シナプス 堀田 健, 田中 亮編 喜多見書房 東京 3-15 277-287
 - 16) 堀田 健(1978.12) 興奮性膜の物性. 膜学入門 中垣正幸編 喜多見書房 東京 183-196
- 名古屋市立大学医学部第二生理学教室**
- 1) 磯部芳明, 大原孝吉, 奥田宣明(1978) 霊長類の体温の日内変動について. 医学のあゆみ **104**, 105-106
 - 2) 大原孝吉, 奥田宣明(1978) サル前視床下部の反復加温の対暑熱体温調節能に及ぼす影響について. 日生氣誌 **15**, 39
 - 3) Ohara, K., Okuda, N. & Isobe, Y.(1978) Adaptive

- changes in thermoregulation and sweating due to heat training in Japanese monkeys. *New Trends in Thermal Physiology* ed. by Houdas, Y. & Guieu. Masson, Paris 193-196
- 4) 佐藤春彦(1978) 前視床下部局所温度変化と Fusimotor neuron 活動. 第25回生理学中部談話会予稿集 32
 - 5) 大原孝吉, 高羽祥三, 佐藤春彦, 奥田宜明(1978) ラットにおける遠心加速度負荷の体温調節への影響. *日本生理誌* **40**, 362
 - 6) Furuyama, F. & Ohara, K.(1978) Development of a strain of heat tolerant rat. 6th International Biophysics Congress Abstract 127
 - 7) 大原孝吉(1978) 体温とその調節. 医科生理学要綱 吉村寿人, 岩瀬善彦, 川上正澄共編 南江堂 214-231
 - 8) 大原孝吉, 奥田宜明, 磯部芳明(1978) 発汗刺激としての中枢温度と末梢温度感覚の相互関係. *日本生理誌* **40**, 101
 - 9) 大原孝吉(1978) 遠心力負荷の体熱平衡への影響(ラットにおける研究). 総合研究(A)「重力生理学領域における環境適応」昭和52年度研究経過報告書 14-24
 - 10) Furuyama, F. & Ohara, K.(1978.8,9) Selection and breeding of heat tolerant rats. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 361
 - 11) Furuyama, F. & Ohara, K.(1978.9) Development of a strain of heat tolerant rat. 6th international Biophysics Congress Abstracts 127
 - 12) Sato, N., Kamada, T., Suematsu, T., Shichiri, M., Hayashi, N., Matsumura, T., Kishida, Y., Abe, H., Furuyama, F., Ishibashi, F. & Hagihara, B.(1978.7) Cadmium toxicity and liver mitochondria. I. Different effect of cadmium administered in vivo to adult, young, and ethionine fed-rats. *J. Biochem.* **84**, 117-125
 - 13) Sato, N., Kamada, T., Suematsu, T., Abe, H., Furuyama, F. & Hagihara, B.(1978.7) Cadmium toxicity and liver mitochondria. II. Protective effect of hepatic soluble fraction against cadmium-induced mitochondrial dysfunction. *J. Biochem.* **84**, 127-133
- 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所
生理学部門**
- 1)* 山崎京子, 鈴木宏哉, 尾崎久記, 寿原健吉(1977.10) 視覚障害者脳波のスペクトル分析的検討. 一視覚障害の程度との関連について—脳波と筋電図 **5**, 195-205
 - 2)* 杉森良子, 鈴木宏哉, 堅田明義, 山崎京子, 寿原健吉(1977.10) 視覚障害者脳波における α 成分の振動刺激による影響について. 脳波と筋電図 **5**, 206-216
 - 3) 戸塚 武, 渡辺貴美(1978.2) 筋ジストロフィーハツカネズミ後肢筋 Myosin B の構成成分と超沈活性. *医学と生物学* **96**, 73-76
 - 4) 戸塚 武, 渡辺貴美(1978.3) ハツカネズミ骨格筋 Myosin B の超沈活性に対する Ethanol の効果. *医学と生物学* **96**, 163-165
 - 5) 戸塚 武, 渡辺貴美(1978.3) ダイコクネズミ心筋 Myosin B の超沈活性に対する Ethanol の活性化効果. *医学と生物学* **96**, 167-170
 - 6) 戸塚 武, 渡辺貴美, 日高弘義(1978.4) ウン大動脈平滑筋 Myosin B の超沈活性に対する Ethanol の効果. *医学と生物学* **96**, 249-251
 - 7) 戸塚 武, 渡辺貴美(1978.4) ブタ胃筋 Myosin B の超沈活性に対する Ethanol の活性化効果. *医学と生物学* **96**, 253-255
 - 8) Suzuki, H., Kamiya, Y. & Uramoto, I.(1978.5) Three-dimensional display of the distribution of the cortical evoked potential. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 109-111
 - 9) 戸塚 武, 渡辺貴美, 日高弘義(1978.6) 豚小腸筋 Myosin B の超沈活性に対する Ethanol の効果. *医学と生物学* **96**, 475-478
 - 10) 渡辺貴美, 戸塚 武(1978.7) 筋ジストロフィーハツカネズミ後肢筋における高プロテアーゼ活性. *医学と生物学* **97**, 19-21
 - 11) Hidaka, H., Yamaki, T., Asano, M. & Totsuka, T.(1978.7) Involvement of calcium in cyclic nucleotide metabolism in human vascular smooth muscle. *Blood Vessels* **15**, 55-64
 - 12) 神谷ゆみ子, 鈴木宏哉, 堅田明義, 尾崎久記, 寿原健吉(1978.8) 精神薄弱児脳波と聴覚誘発電位. *臨床脳波* **20**, 547-552
 - 13) 戸塚 武, 渡辺貴美(1978.9) 筋ジストロフィーハツカネズミの後肢筋における中性プロテアーゼ活性の生後発達に伴う変動. *医学と生物学* **97**, 235-237
 - 14) Hidaka, H., Asano, M., Iwadare, S., Matsumoto, I., Totsuka, T. & Aoki, N.(1978.10) A novel vascular relaxing agent, N-(6-aminoethyl)-5-chloro-1-naphthalenesulfonamide which affects vascular smooth muscle actomyosin. *J. Pharmacol. Exp. Ther.* **207**, 8-15
 - 15) 鈴木宏哉, 四日市章(1978.10) 視覚・聴覚障害における運動と知覚. *新体育* **48**, 872-877
 - 16) 芝垣正光(1978.12) 精神遅滞児の睡眠パターンと皮膚温の発達. *臨床脳波* **20**, 800-804
- 愛知医科大学第一生理学教室**
- 1) 山本紘靖, 市川一夫, 伊藤要子, 椋江 勇(1978.3) α_2 -マクログロブリンの線溶系酵素に対する影響. *血液と脈管* **9**(1), 84-88
 - 2) 椋江 勇, 山本紘靖, 伊藤要子, 丹下由紀子(1978.4) 線溶系における intrinsic activation について. *日本生理誌* **40**, 331
 - 3) 伊藤要子, 椋江 勇, 加藤久雄, 岩永貞昭(1978.4) ヒト血漿中のストレプトキナーゼ作用増強物質(SK-potentiator)について. *日血会誌* **41**, 422

- 4) 山口善徳, 加藤良一, 小栗 隆, 菅原 譲, 梶江 勇, 山本紘靖, 細井 惇, 平野 真(1978.4)血栓症における plasminogen の変動(第2報). 日血会誌 **41**, 428
- 5) 山口善徳, 小栗 隆, 菅原 譲, 伊藤要子, 山本紘靖, 梶江 勇(1978.7)Plasminogen の抗原値と酵素学的活性値に関する検討. 愛知医大誌 **6**(3), 187-193
- 6) 梶江 勇, 丹下由紀子, 林 真弓, 山本紘靖, 伊藤要子(1978.10)発色性合成ペプタイド基質を用いた線溶活性測定法. 愛知医大誌 **6**(4), 215-225
- 7) 梶江 勇, 林 真弓(1978.11)発色性合成ペプタイド基質を用いた測定法と従来法との比較. 第25回日本臨床病理学会総会 第14回血液検査室医師会議抄録集 10
- 8) 梶江 勇, 林 真弓, 伊藤要子, 山本紘靖(1978.11)低分子 DS による PK の活性化について. 臨床血液 **20**(補冊I), 255
- 9) 山本紘靖, 梶江 勇, 山口善徳, 小栗 隆, 菅原譲(1978.12)ELT の著明に亢進し, 脾炎の像を呈した線溶亢進の一症例. 第1回日本血栓止血学会抄録集 29
- 10) 水谷洋子, 山田高路, 梶江 勇(1978.12)急性死体血の流動性の成因について. 日法医誌 **32**(5), 277-284

愛知医科大学第二生理学教室

- 1)* 小川徳雄(1977.11)暑熱馴化と発汗機能. 第23回日本航空宇宙医学心理学会総会シンポジウム予稿集 p. 25
- 2) 小川徳雄, 朝山正己, 伊藤路子(1978.1)温熱性発汗と精神性発汗の中樞機序とその相関について. 愛知医大誌 **6**, 42-43
- 3) 小川徳雄, 朝山正己, 伊藤路子(1978.1)反復局所温浴による「汗腺訓練」効果. 昭和52年度文部省総合研究「温度適応の中樞性および末梢性機序」第2回班研究連絡会議研究報告集 11-13
- 4) 柳瀬昌弘(1978.4)アドレナリン(AD)による脳のエストロジェン感受性の促進. 日本生理誌 **40**, 89-90
- 5) 小川徳雄, 朝山正己, 伊藤路子, 宮側敏明(1978.4)亜熱帯地方出身者の汗の拍出頻度特性. 日本生理誌 **40**, 101-102
- 6) Ogawa, T. & Asayama, M. (1978.5) Sudomotor activities in athletes, as evidenced by the frequency of sweat expulsions. J. Physiol. Soc. Japan **40**, 112-114
- 7) Iguchi, A., Sawaki, S., Yanase, M., Sugita, T. & Matushima, T.(1978.7)Hypoglycemic effect of dopamine in the brain in the rabbit. J. Aichi Med. Univ. Ass. **6**, 132-135
- 8) 小川徳雄, 朝山正己, 伊藤路子(1978.8,9)手掌と一般体表面での汗の拍出の同期性について. 日本生理誌 **40**, 365-366
- 9) 伊藤路子, 宮側敏明, 朝山正己, 小川徳雄(1978.8,9)各種発汗定量法の吟味. 日本生理誌 **40**, 365
- 10) 小川徳雄, 朝山正己, 伊藤路子, 宮側敏明(1978.8)反復局所温浴による「汗腺訓練」効果続報. 昭和53年度文部省総合研究「温度適応の中樞性および末梢性機序」第1回班研究連絡会議研究報告集 14-15
- 11) 伊藤路子, 宮側敏明, 小川徳雄, 朝山正己(1978.10)各種発汗定量法の吟味. 愛知医大誌 **6**, 203-207
- 12) Ogawa, T. & Asayama, M.(1978)Frequency of sweat expulsions, as indicator of sudomotor neural activity. In: New Trends in Thermal Physiology, Ed. by Houdas, Y., Guieu, J. D., Masson, Paris p.105-107
- 13) 宮側敏明, 伊藤路子, 小川徳雄(1978.10)運動時の発汗, 代謝, 体温に及ぼす皮膚圧の影響. 第33回日本体力医学会大会議事録 104
- 14) 小川徳雄, 伊藤路子, 宮側敏明(1978.11)発汗発現の部位差について. 日生気誌 **15**, 13
- 15) 伊藤路子, 宮側敏明, 小川徳雄, 朝山正己(1978.11)発汗定量法および機器による測定誤差について. 日生気誌 **15**, 14

名古屋保健衛生大学医学部生理学第一教室

- 1) 角 忠明(1978.3)咀嚼と嚥下に対する脳の統御. 文部省科学研究費補助金特定研究脳の統御機能報告書(1) 177-178
- 2) Sumi, T. & Hanai, S.(1978.3)Sensory fibers in the nerve of the jaw opening muscles and their functional property in rabbits. Exper. Neurol. **59**, 137-145
- 3) 角 忠明, 花井荘太郎(1978.5)大脳皮質の顎反射変調作用とその発現機序. 脳と神経 **30**, 559-564
- 4) 角 忠明, 花井荘太郎(1978.7)律動性顎運動における大脳皮質と脳幹の連関. 顎研東京医科歯科大学歯学部 顎口腔総合研究施設創立10周年記念シンポジウム講演抄録集 44-45
- 5) 角 忠明, 花井荘太郎(1978.9)嚥下にもなう咬筋運動ニューロン群の興奮性について. 日本生理誌 **40**, 241
- 6) Sumi, T. (1978.9) Rhythmic fluctuations of postsynaptic potentials recorded in masseteric neurons during mastication. Integrative Control Functions of the Brain **1**, 281-282
- 7) 角 忠明(1978.10)律動性顎運動(咀嚼)にもなう咬筋運動ニューロンの興奮性変化. 脳と神経 **30**, 115-1120
- 8) 清水 強(1978.4)実習としての慢性動物実験の生理学教育上の効果. 日本生理誌 **40**, 92
- 9) 清水 強(1978.5)中型哺乳動物を用いる慢性動物実験実習の生理学教育における重要性—内分泌系の実習を例として(資料). 日本生理誌 **40**, 124-125
- 10) 清水 強, 野村裕子(1978.9)循環調節機能の生後発達に果す減圧神経の役割. 日本生理誌 **40**,

321-322

- 11) 清水 強 (1978.10) 現代の医学生を描く医師像.
医学教育 9, 269-270

名古屋保健衛生大学医学部生理学第二教室

- 1) 永田 豊(1978)学習と記憶. <現代精神医学大系>神経化学II 神経内分泌学 21(B), 27-48
- 2) Nagata, Y. & Tsukada, Y.(1978)Bulk separation of neuronal cell bodies and glial cells from mammalian brain and some of their biochemical properties. Reviews of Neuroscience. 3, 195-221
- 3) Nanba, T., Ando, M., Nagata, Y., Miwa, I. & Okuda, J. (1978) Anomeric preference of D-glucose uptake into synaptosomal, neuronal and glial cell fractions separated from rat brains. Neurochem. Res. 3(5), 662
- 4) Matsutani, T., Nagayoshi, M., Tamaru, M., Nomura, M. & Tsukada, Y.(1978)Neurochemical and behavioral studies on experimental microencephalic rats induced by MAM administration of different stages of development. Neurochem. Res. 3(5), 660
- 5) 永田 豊, 難波経篤, 安藤正人, 三輪一智, 奥田潤(1978)シナプトソームおよびニューロン・グリア細胞群への D-ブドウ糖の取込みと利用のアノマー特異性. 日本生理誌 40(8,9), 214-215
- 6) 野村正彦(1978)ラット雌雄性差による明度弁別学習能力の変化. 日本生理誌 40(8,9), 267
- 7) 難波経篤, 安藤正人, 永田 豊, 北島哲子, 中沢欽哉(1978)分離ニューロンおよびグリア細胞群の環状ヌクレオチド生成ならびに分解系. 神経化学 17, 37-40
- 8) 野村正彦, 永田 豊(1978)トリプトファン欠乏ラットの脳内インドールアミン代謝と学習能力. 神経化学 17, 213-216
- 9) 野村正彦(1978)ラット脳内トリプトファンおよびセロトニンにおよぼす CORN 食の影響. 生化学 50(9), 907
- 10) 難波経篤, 安藤正人, 永田 豊, 三輪一智, 奥田潤(1978)ラット脳切片によるブドウ糖アノマー取込みの初期過程の検討. 生化学 50(11), 1235-1236
- 11) 難波経篤, 安藤正人, 永田 豊(1978)ラット摘出交感神経節の刺激代謝一とくにピルビン酸キナーゼ活性におよぼす K⁺ およびグルタミン酸の影響一. 藤田学園医学会誌 2, 115-117
- 12) 藤川道代, 永田 豊(1978)脳切片によるサイクリック AMP 生成と細胞膜の Na⁻ および K⁻イオンチャンネルの動態. 藤田学園医学会誌 2, 119-122
- 13) 安藤正人, 難波経篤, 永田 豊, 北島哲子, 中沢欽哉(1978)分離ニューロンおよびグリア細胞群の環状ヌクレオチド代謝系について. 藤田学園医学会誌 2, Suppl. 39-40
- 14) 田淵香苗, 高橋久英, 野村正彦(1978)近交系ラッ

トの明度弁別学習行動における系統差. 藤田学園医学会誌 2, Suppl. 46-47

- 15) 野村正彦(1978)脳内インドールアミン代謝系の学習行動に及ぼす影響. 藤田学園医学会誌 2, Suppl. 47
- 16) 永田 豊(1978)ニューロンとグリア細胞の分離とそれらの生化学的特徴. 神経研究の進歩 22(4), 701-704
- 17) 永田 豊(1978)学習と記憶の生化学的メカニズム. 昭和53年電気四学会連合大会(東京)抄録集 129-132
- 18) 野村正彦(1978)トリプトファン欠乏食飼育ラットの脳内インドールアミン代謝と弁別学習能力. 日本トリプトファン研究会抄録 3, 10
- 19) 野村正彦(1978)白色及び有色系ラットの明度弁別学習効果の変化. 動物心理学年報 28, 49-50

名古屋保健衛生大学医学部総合医科学研究所 発達生理学部門

- 1) 松谷天星丸, 永吉道子, 田丸政男, 塚田裕三(1978)障害時期を異にしたMAM小頭症ラットの行動と脳内物質の変化. 日本生理誌 40, 272
 - 2) 田丸政男, 松谷天星丸, 塚田裕三(1978)Cytosine arabinoside 投与によるラット胎仔脳内ライソソーム酵素活性の変動. J. Toxicol. Sci.3, 266(第5回毒作用研究会講演要旨 1-35)
 - 3) 松谷天星丸, 田丸政男, 永吉道子, 塚田裕三(1978)Cytosine arabinoside 投与による実験的小頭症ラットの脳内物質変化と学習能力. 神経化学 17, 209-212
 - 4) 田丸政男, 永吉道子, 堀有美子, 松谷天星丸(1978)Cytosine arabinoside 投与による実験的小頭症ラットの脳内物質変化. 藤田学園医誌 2 (Suppl.), 40
 - 5) 杉本助男, 矢崎雄彦, 福島 稔, 松谷天星丸, 杉本道子, 長谷川喜美香, 塚田裕三(1978)SFD(低体重児)の身体, 精神発達について(II-a) 藤田学園医誌 2(Suppl.), 44
 - 6) 矢崎雄彦, 福島 稔, 杉本助男, 松谷天星丸, 塚田裕三, 遠藤直子, 見林友子, 三尾弘子(1978)SFD(低体重児)の身体, 精神発達について(II-b) 藤田学園医誌 2(Suppl.), 45
 - 7) 松谷天星丸, 塚田裕三(1978)脳の発育と加齢. 「現代精神医学大系21B 神経化学, 神経内分泌学」大月三郎, 高橋 良(編)中山書店 149-174
 - 8) Matsutani, T., Nagayoshi, M., Tamaru, M., Nomura, M. & Tsukada, Y.(1978)Neurochemical and behavioral studies on experimental microencephalic rats induced by MAM administration at different stages of development. Neurochem. Res.(Plenum Press, New York) 3, 660
- 愛知学院大学歯学部生理学教室
- 1) 藤本 洋(1978.3)歯髄の電気刺激による頭皮上誘

- 発電位に対する針麻酔の効果. 日口外誌 **24**(3), 510-517
- 2) Satoh, T. & Eguchi, K. (1978.4) Impairment during REM sleep of information transmission between sleep and wakefulness centers. 18th Annual Meeting of APSS 208
 - 3) 渡部和成, 佐藤豊彦(1978.4)ラット青斑核ニューロンへの中脳網様体および縫線核の機能的結合. 日本生理誌 **40**(8,9), 236-237
 - 4) 江口国博, 佐藤豊彦(1978.4)睡眠覚醒周期に関与する孤束核とその腹側の網様体の神経細胞の活動について. 日本生理誌 **40**(8,9), 270
 - 5) 佐藤豊彦, 江口国博, 渡部和成(1978.4)覚醒睡眠諸中枢間の信号伝達の動態. 日本生理誌 **40**(4), 96-97
 - 6) 佐藤豊彦, 江口国博, 渡部和成 (1978.5) 睡眠中枢, 特に青斑核と孤束核のニューロン活動の特性. 日本睡眠学会第2回定期学術集会抄録集 20
 - 7) Satoh, T., Eguchi, K. & Watabe, K.(1978.7) REM sleep as a failure of central regulation. Neurosci. Suppl. IBRO News, **6**(1), 29
 - 8) 江口国博, 佐藤豊彦 (1978.10) 孤束核及び延髄網様体ニューロンの覚醒睡眠周期に伴う活動変化について. 第8回日本脳波筋電図学会学術大会予稿集 46
 - 9) 渡部和成, 佐藤豊彦 (1978.10) ラット青斑核ニューロン活動の特徴. 第8回日本脳波筋電図学会学術大会予稿集 67
 - 10) Hotta, F., Fujimoto, H., Umemura, O., Ise, N. & Satoh, T.(1978.10)Effet de l' électro-acupuncture sur la réponse du noyau trigéminale évoquée par la stimulation électrique de la pulpe dentaire chez le Chat. C. R. Soc. Biol. **172**(3), 580-583
 - 11) Fujimoto, H., Hotta, F., Kitayama, S. & Satoh, T.(1978.10)Inhibition, par électro-acupuncture, du potentiel cortical évoqué au niveau du scalp par la stimulation douloureuse de la dent chez l' Homme. C. R. Soc. Biol. **172**(3), 584-587
- chicken. J. Physiol. Soc. Japan **40**(8), 263
- 5) 大川隆徳(1978.9)発育期における鶏網膜電図の再吟味. 第86回日本獣医学会講演要旨 p.55
 - 6) 大川隆徳(1978.9)鶏終脳 (the Wulst) の視覚誘発電位の個体発生学的研究—特に孵化後の知見について. 第25回生理学中部談話会予稿集 p.33
 - 7) 山本典子 (1978.10) ウズラ生殖巣の性分化の形態学的観察. 動物学雑誌 **87**(4), 353
 - 8) Ookawa, T.(1978.10)Changes in the pattern of the Wulst's visual evoked potential of adult chickens with increasing flash intensities. J. Physiol. Japan **40**(10), 381-383
 - 9) 大川隆徳 (1978.11) 鶏の視覚経路とその中枢—総説. 日本家禽学会誌 **15**(6), 287-295
 - 10) Ookawa, T. & Yamashita, T.(1978.11)Effect of flash intensity on the electroretinogram and the visual evoked potential from the superficial telencephalon(the Wulst)of the adult pigeon. Jap. Poultry Sci. **15**(6), 312-315
 - 11) Ookawa, T. (1978.12) Collected papers published by Dr. Takanori Ookawa. **1**, 1-372

岐阜大学医学部第二生理学教室

- 1)* Sogami, M., Itoh, K. B. & Nemoto, Y. (1975) Fluorescence polarization studies on the conformational transition of bovine plasma albumin in acidic solution. Biochim. Biophys. Acta **393**, 446-459
 - 2)* Uyeda, M. & Peisach, J.(1975)Optical difference spectroscopy of tyrosyl groups of kangaroo, horse and sperm whale myoglobins. Fed. Proc. **34**, 598
 - 3)* Rakhit, G., Spiro, T. G. & Uyeda, M.(1976) Resonance Raman evidence for Fe(IV)in compound II of horseradish peroxidase. Biochem. Biophys. Res. Comm. **71**, 803-808
 - 4)* 曾我美勝(1977.8)血漿アルブミン分子の構造転移. 生物物理 **17**, 181-195
 - 5)* Sase, S., Inouye, Y., Chujo, R., Nagaoka, S. & Sogami, M. (1977.4) Interactions between bovine plasma albumin and sodium dodecyl sulfate studies by means of CD and carbon-13 NMR spectra. Rep. Prog. Polym. Phys. Japan **20**, 709-712
 - 6) Ashida, H., Nagaoka, S. & Sogami, M.(1978.8) Time-resolved pulse fluorometric studies on the conformational transition of bovine plasma albumin and on the effect of light scattering. Int. Summer Sch. Biophys. **6**, 141-144
 - 7) Inouye, Y., Sase, S., Chujo, R., Nagaoka, S. & Sogami, M. (1978.2) Interactions between bovine plasma albumin and sodium dodecyl sulfate studied by means of ¹³C-NMR spectra. Biopolymers **18**, 373-382
 - 8) Nagaoka, S. & Cowger, M. L.(1978.3)Interac-
- 岐阜大学医学部第一生理学教室
- 1) 大川隆徳, 高木健太郎(1978.4)鳥類のてんかん. 生体の科学 **29**(2), 126-133
 - 2) Ookawa, T. & Yamamoto, N.(1978.5)Visual evoked potentials from the superficial Wulst of the cockerel to intermittent flash stimulation of various frequencies. Poultry Sci. **57**(3), 818-820
 - 3) Ookawa, T.(1978.7)Effect of striatal spreading depression on visual evoked potentials recorded from the superficial Wulst of hens. Jap. Poultry Sci. **15**(4), 208-211
 - 4) Ookawa, T.(1978.8)Effect of flash intensity on visual evoked potentials from the telencephalon (the Wulst)of the newly hatched and adult

- tion of bilirubin with lipids studied by fluorescence quenching method. *J. Biol. Chem.* **253**, 2005-2011.
- 9) Yu, C. A., Nagaoka, S., Yu, L. & King, T. E. (1978.6) Evidence for the existence of a ubiquinone protein and its radical in the cytochrom *b* and *c*₁ region in the mitochondrial electron transport chain. *Biochem. Biophys. Res. Comm.* **82**, 1070-1078
 - 10) 坂田茂樹(1978.1)ウシ血漿アルブミンの分子レベルでの老化(I) N-B転移におけるS-S結合の分子表面への露出. *日本生理誌* **40**, 1-11
 - 11) Sogami, M., Uyeda, M., Ashida, H., Inouye, H. & Era, S. (1978.9) CD and fluoropolarimetric studies on the structural transition of bovine plasma albumin. *Abstr. Int. Biophys. Congr.* **6**, 553
 - 12) Nagaoka, S., Yu, C. A., Yu, L. & King, T. E. (1978.9) Evidence of the existence of semiquinone as an intermediate in the reduction of Q-cytochrome *c* reductase by succinate. *Abstr. Int. Biophys. Congr.* **6**, 404
 - 13) Yoshida, A.(1978.9) Theoretical approaches to the hygroreceptor. *Abstr. Int. Biophys. Congr.* **6**, 221
 - 14) Ohnishi, T., Salerno, F., Maida, T., Yu, C. A., Nagaoka, S. & King, T. E. (1978.9) Thermodynamic and EPR properties of hydrogen carriers in succinate cyt. *c*, reductase segment of the respiratory chain. *Int. Confer. Magn. Res. in Biolog. System* **8**
 - 15) 曾我美勝, 上田基二, 長岡俊治, 井上 洋, 恵良聖一, 浦野博秀, 芦田 広(1978.4)血漿アルブミン分子の構造転移—パルス偏光消滅減衰測定. *日本生理誌* **40**, 202
 - 16) 井上 洋, 恵良聖一, 坂田茂樹(1978.4)ウシ血漿アルブミン分子内SH, S-S交換反応. *日本生理誌* **40**, 202
- 岐阜歯科大学口腔生理学教室**
- 1) 中嶋正人(1978.2)針通電による開口反射の抑制. *岐阜学誌* **6**(1), 42
 - 2) 浜口五也(1978.3)緊張性歯根膜咬筋反射の筋電図学的研究. *歯基礎誌* **20**(1), 134-143
 - 3) 川喜田健司, 丸井隆之, 船越正也(1978.3)鯉味蕾の走査型電子顕微鏡的研究. *歯基礎誌* **20**(1), 103-113
 - 4) 船越正也(1978.3)過度な咬合力と歯周組織の病態生理. *歯科ジャーナル* **7**(3), 267-274
 - 5) 長沢信五(1978.4)歯科診療と姿勢反射に関する研究. 1 歯科医の診療姿勢と自覚症状. *岐阜学誌* **6**(1), 8-15
 - 6) 中嶋正人, 船越正也(1978.4)針通電による開口反射の抑制機構について. *日本生理誌* **40**, 243
 - 7) 丸井隆之, 船越正也(1978.4)鯉の三叉神経輸入力の顔面葉への投射. *日本生理誌* **40**, 294-295
 - 8) 七里泰温, 関根一郎, 向山嘉幸, 長沢信五, 船越正也(1978.6)歯科診療が術者の身体機能に及ぼす影響. 第1報 筋緊張について. *日歯医療管理誌* **13**(2), 50
 - 9) 船越正也(1978.7)顎筋の機能分化. 顎研創立10周年記念シンポジウム講演抄録集
 - 10) 天野仁一郎(1978.7)持続性歯根膜咬筋反射. 顎研創立10周年記念シンポジウム講演抄録集
 - 11) 船越正也, 二宮裕三, 丸井隆之(1978.8)台形波電気刺激による味覚について. 第12回味と匂のシンポジウム発表論文集 49-52
 - 12) 丸井隆之, 船越正也(1978.8)鯉の上2次味覚核における味応答. 第12回味と匂のシンポジウム発表論文集 59-62
 - 13) 天野仁一郎, 船越正也(1978.9)歯根膜および咬筋神経の刺激に対する三叉神経中脳路核ニューロンの応答. 第20回歯科基礎医学会抄録集 109
 - 14) 井手龍平, 森 彰彦(1978.10)咀嚼筋の機能に関する電気生理学的研究. (1)頭位と咬合が嚥下時咬筋筋電図におよぼす影響. *岐阜学誌* **6**, 174
 - 15) Funakoshi, M. (1978.10) Electromyographic diagnosis of the occlusal interference. *J. Gifu Dent. Soc.* **6**, 16-17
 - 16) Hellekant, G., Brouwer, J. N., Van der Wel, Ninomiya, Y., Hard, C. & Glaer, D.(1978.11) The effect of miracin on the response of single taste fibers in the Rhesus monkey. *Olfaction & Taste VI(Eds)J. Le Magnen and P. MacLeod* IRL 285
 - 17) Hellekant, G., Gopal, V. & Ninomiya, Y.(1978.12) Dedive and disappearance of taste response after interruption of the chorda tympani proper nerve of the rat. *Acta Physiol. Scand.* **105**, 52-57
- 三重大学医学部第一生理学教室**
- 1) 村上長雄, 吉田 豪, 高島慎助, 東 隆暢, 舟橋明男(1978.9)手冷水浸漬の影響に関する2, 3の研究. *日本生理誌* **40**, 368
 - 2) 東 隆暢, 村上長雄(1978.10)手冷水浸漬の手指皮膚温に及ぼす影響の季節変動. 第33回日本体力医学会大会議事録 111
 - 3) 吉田 豪, 村上長雄(1978.10)運動のエステル水分解活性よりみた尿中カリクレインおよびウロキナーゼに及ぼす影響. 第33回日本体力医学会大会議事録 209
 - 4) 河野節子(1978.12)Kallikrein 様物質の生理学的意義に関する研究. (IV)血漿 Kallikreinogen 消長の本態に関する研究. *三重医学* **22**, 239
- 三重大学医学部第二生理学教室**
- 1) Tanaka, T., Takeuchi, Y. & Nakano, K.(1978) Cells of origin of the spino-facial pathway in the cat: a horseradish peroxidase study. *Brain*

Res. **142**, 580-585

- 2) 田中 任(1978.9)顔面神経核細胞に対する頸部迷走神経の刺激効果. 日本生理誌 **40**, 245
 - 3) 一木正則(1978.9)紡錘運動神経刺激による爬虫類筋紡錘の興奮性変化. 日本生理誌 **40**, 295-296
 - 4) 伊藤雄幸(1978.12)新生児呼吸機能の研究. 三重医学 **22**, 242-259
- 滋賀医科大学第一生理学教室**
- 1) Yokota, T. (1978.1) Differential inhibitory effects of volleys from dorsal raphe nucleus upon spinal and spino-bulbo-spinal reflexes. *Neuroscience Letters* **7**, 291-294
 - 2) Oka, H., & Jinnai, K. (1978.1) Common projection of the motor cortex to the caudate nucleus and the cerebellum. *Exp. Brain Res.* **31**, 31-42
 - 3) 横田敏勝, 西川泰央, 大野 栄(1978.3)上喉頭神経の求心性線維による外舌筋活動の制御. 歯科基礎医学雑誌 **20**, 192-193
 - 4) Carstens, E., Yokota, T. & Zimmermann, M. (1978.3) Gain control by midbrain stimulation in spinal neurons responding to noxious skin heating. *Pflüger's Archiv* **373**, 90
 - 5) 吉田 繁, 鮫島章郎, 松田好弘(1978.3)マウス後根神経節細胞活動電位における Ca^{+} および tetrodotoxin 抵抗性 Na^{+} 成分の存在. 日本生理誌 **40**, 71-72
 - 6) 横田敏勝(1978.4)痛みの生理学. 教育と医学 **26**, 718-725
 - 7) 横田敏勝(1978.6)内因性モルフィン様物質 (エンドルフィン類) の生理学的意義. 日本医誌会雑誌 **79**, 1443-1456
 - 8) Yokota, T., Nishikawa, N. & Nishikawa, Y. (1978.7) Somatotopic representation of trigeminal sensation within the caudal medulla oblongata. *IBRO News* **6**, 11
 - 9) 横田敏勝(1978.7) Substance P の侵害受容におよぼす二重作用. 医学のあゆみ **106**, 115-116
 - 10) Oka, H. & Jinnai, K. (1978.7) Electrophysiological study of parvocellular red nucleus neurons. *Brain Res.* **149**, 239-246
 - 11) Yokota, T. (1978.8) Inhibition of spinal dorsal horn nociceptive neurons by mesencephalic periaqueductal gray stimulation. *J. Physiol. Soc. Jpn.* **40**, 239
 - 12) Nishikawa, Y., Ohno, S. & Yokota, T. (1978.8) Differential inhibition of hypoglossal reflexes by mesencephalic dorsal raphe nucleus stimulation in the cat. *J. Physiol. Soc. Jpn.* **40**, 240-241
 - 13) Yokota, T. (1978.8) Trigeminal nociceptive neurons in the trigeminal subnucleus caudalis and bulbar lateral reticular formation. *Pain Abstract* **1**, 90
 - 14) Carstens, E., Yokota, T. & Zimmermann, M. (1978.8) Inhibition of spinal neuronal responses to noxious skin heating by periaqueductal gray stimulation. *Pain Abstract* **1**, 309
 - 15) Yokota, T., Nishikawa, N. & Nishikawa, Y. (1978.8) Inhibition of brainstem reflexes in the cat by electrical stimulation of mesencephalic periaqueductal gray matter. *Pain Abstract* **1**, 310
 - 16) Carstens, E., Yokota, T. & Zimmermann, M. (1978.9) Midbrain periaqueductal gray stimulation inhibits nociceptive responses in spinal neurons of the cat. *Neuroscience Letters Suppl.* **1**, 321
 - 17) Yokota, T., Nishikawa, N. & Nishikawa, Y. (1978.9) Trigeminal nociceptive neurons within caudal medulla oblongata. *E. A. M. F. S. Congress Abstracts* **4**, 196
 - 18) Yokota, T., Nishikawa, N. & Nishikawa, Y. (1978.9) Somatotopic trigeminal projection onto the caudal mudulla oblongata. Part. I. Tactile representation within pars magnocellularis of the trigeminal subnucleus caudalis. *Integrative Control Functions of the Brain* **1**, 109-111
 - 19) Matsuda, Y., Yoshida, S. & Samejima, A. (1978.9) Differences in ionic mechanisms of spike generation of dorsal root ganglion cells in a mouse. *J. Physiol. Soc. Jap.* **40**, 225-226
 - 20) Yoshida, S., Matsuda, Y. & Samejima, A. (1978.9) Tetrodotoxin-resistant sodium and calcium components of action potentials in dorsal root ganglion cells of the adult mouse. *J. Neurophysiol.* **41**, 1096-1106
 - 21) Oka, H. & Jinnai, K. (1978.9) Cerebrocerebellar connections through the parvocellular part of red nucleus. *Integrative control functions of the brain* **1**, 184-186
 - 22) Sasaki, K., Jinnai, K. & Gemba, H. (1978.9) Neuronal circuits of cerebro-cerebellar interactions. *Integrative control functions of the brain* **1**, 182-184
 - 23) 西川 望, 横田敏勝(1978.10)中脳縫線核による脊髄後角ニューロン活動の抑制. 麻酔 **27**, 1244-1245
 - 24) Matsuda, Y., Yoshida, S. & Yonezawa, T. (1978.10) Tetrodotoxin sensitivity and Ca component of action potentials of mouse dorsal root ganglion cells cultured in vitro. *Brain Res.* **154**, 69-82
 - 25) Yokota, T., Nishikawa, Y. & Ohno, S. (1978.12) A hypoglossal reflex elicited by mechanical stimulation of the mandibular mucosa in the cat. *Jpn J. Physiol.* **28**, 659-667
 - 26) 横田敏勝, 西川 望(1978.12)エンドルフィン類

の中樞神経系における生理作用. 医学のあゆみ
107, 671-680

滋賀医科大学生理学第二講座

- 1) Kitasato, H., Nishio, K. & Nishikawa, H. (1978. 8,9) The effect of insulin on the intracellular pH of frog sartorius muscles. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 216
- 2) Kitasato, H., Murayama, K., Sato, S. & Nishio, K. (1978.8,9) The action potential of crayfish giant axon and TEA effects. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 219
- 3) Fujii, T., Murayama, K. & Iбата, Y. (1978.3) The postnatal development of cortical structure and electrical activities in the guinea pig olfactory cortex slices. *Brain Res.* **142**, 546
- 4) Sato, S., Kitasato, H., Murayama, K. & Nishio, K. (1978.9) The effect of the intracellular sodium on the insulin sensitive ^{22}Na efflux from muscles pretreated by ouabain. 6th International Biophysics Congress. Abstract 144
- 5) Murayama, K., Kitasato, H., Sato, S. & Nishio, K. (1978.9) The tail current of crayfish giant axon. 6th International Biophysics Congress. Abstract 149
- 6) 北里 宏, 村山公一, 佐藤秀一郎, 西尾恭介 (1978.9) ザリガニ巨大神経線維の Tail current. 近畿生理学談話会抄録 9
- 7) 西尾恭介, 北里 宏, 村山公一, 佐藤秀一郎 (1978.9) マウス脾 β 細胞の電気現象. 近畿生理学談話会抄録 15

京都大学医学部生理学教室

- 1) Shinagawa, Y. & Shinagawa, Y. (1978.1) Molecular orbital studies on the radicals of hydroxybenzenes and epinephrine. *J. Am. Chem. Soc.* **100**, 67-72
- 2) Roy, G. & Okada, Y. (1978.2) Oscillations of membrane potential in L cells. III. K^+ Current-voltage Curves. *J. Membrane Biol.* **38**, 347-357
- 3) 佐川典正, 西村敏雄, 小川正晴, 井上 章 (1978.2) ヒト胎児小腸における糖・アミノ酸の輸送. 医学のあゆみ **104**, 473-475
- 4) 土屋和興, 岡田泰伸, 井上 章 (1978.3) 培養小腸上皮の膜のイオン透過性. 日本生理誌 **40**, 73
- 5) 岡田泰伸, Roy, G. (1978.3) 人工脂質膜における X537A による H^+ イオン輸送とその機構. 日本生理誌 **40**, 73-74
- 6) 上坂伸宏, 品川嘉也, 品川泰子, 井上 章, 塩 栄夫 (1978.3) 赤血球浸透圧抵抗に対する ionophore の効果, I 連続浸透圧勾配による溶血. 日本生理誌 **40**, 75
- 7) 品川嘉也, 上坂伸宏, 八尾 寛, 品川泰子 (1978.3) 赤血球浸透圧抵抗に対する ionophore の効果 II 血球容積との関係. 日本生理誌 **40**, 76
- 8) Shinagawa, Y. & Shinagawa, Y. (1978.4) Melamine resin as water-containing embedding medium for electron microscopy. *J. Electron Microscopy* **27**, 13-17
- 9) Shinagawa, Y., Ohki, S. & Gravis, C. (1978.4) Mode of action of tertiary amine local anesthetics on axon membrane. *Biochim. Biophys. Acta* **507**, 395-407
- 10) Shinagawa, Y. (1978.7) Analytical solution of the Poisson-Boltzmann equation for membrane potential. *J. theor. Biol.* **72**, 603-610
- 11) Shinagawa, Y. & Shinagawa, Y. (1978.7) Molecular orbital studies on m- and p-methylation of substituted catechols by catechol O-methyltransferase. *Int. J. Quantum Chem. Quant. Biol.* **5**, 269-279
- 12) 井上 章, 岡田泰伸, 土屋和興 (1978.7) 螢光色素による培養リンパ芽細胞の膜電位測定. 日本生理誌 **40**, 162-163
- 13) 土屋和興, 岡田泰伸, 井上 章, 矢野樹理 (1978.7) 培養L細胞の自発的膜電位振動に対する局所麻酔薬の効果. 日本生理誌 **40**, 163
- 14) 岡田泰伸 (1978.7) 人工脂質膜における X537A によるアルカリ陽イオン輸送機構とテトラカイン効果. 日本生理誌 **40**, 168
- 15) 岡田泰伸, 井上 章 (1978.7) 硝子管微小電極における尖端電位の発生原因と尖端部硝子薄膜電位. 膜 **3**, 245-255
- 16) 上坂伸宏, 品川嘉也, 品川泰子, 井上 章, 塩 栄夫 (1978.7) 糖電解質混合液で見出された溶血抵抗減弱現象 I. Coil planet centrifuge 法による溶血. 日本生理誌 **40**, 162
- 17) 品川嘉也, 上坂伸宏, 品川泰子 (1978.7) 糖電解質混合液で見出された溶血抵抗減弱現象, II. 溶血曲線と血球容積. 日本生理誌 **40**, 162
- 18) 八尾 寛, 品川泰子, 品川嘉也, 恒松徳二郎 (1978.7) SLE 症状の多変量解析. 日本生理誌 **40**, 170
- 19) Yawo, H., Shinagawa, Y. Shinagawa, Y. (1978.9) Multivariate analysis of the data containing missing values and its application to clinical data of systemic lupus erythematosus. *Abstr. Int. Biophys. Cong.* **6**, 203
- 20) Shinagawa, Y. (1978.9) Solution of the Nernst-Planck-Poisson equations for membrane potential in the stationary and non-stationary states by power series expansion. *Abstr. Int. Biophys. Cong.* **6**, 298
- 21) Shinagawa, Y. & Shinagawa, Y. (1978.9) CNDO/2 and MINDO/3 studies on O-methylation of catechol derivatives by catechol O-methyltransferase. *Abstr. Int. Biophys. Cong.* **6**, 343
- 22) Shinagawa, Y. (1978.9) Exact solution of the

- Nernst-Planck-Poisson system of equations. Proc. Symp. Electropinetic Aspects in Biomembranes 72
- 23) 岡田泰伸(1978.9)脂質二重層膜における X537A による担体イオン輸送機構. 膜 3, 357-365
- 24) 矢野樹理, 木下幹久, 富永敏郎, 西村敏雄, 土屋和興, 岡田泰伸, 井上章(1978.9)人胎盤絨毛培養細胞の膜電位. 産婦進歩 30, 346
- 25) Okada, Y., Tsuchiya, W., Inouye, A., Yawo, H. & Hongoh, T. (1978.9) Ionic mechanism of the hyperpolarizing excitability in cultured fibroblasts. J. Physiol. Soc. Jap. 40, 223
- 26) Ogawa, M., Uyesaka, N., Okada, Y. & Inouye, A. (1978.9) Membrane potentials in isolated synaptosomes measured by means of cyanine dye. 6th Internat. Biophys. Congr. Abstr. 151
- 27) Okada, Y., Tsuchiya, W., & Inouye, A. (1978.9) Role of intracellular Ca^{2+} in hyperpolarizing excitability of cultured fibroblasts. 6th Internat. Biophys. Congr. Abstr. 222
- 28) Tsuchiya, W., Okada, Y. & Inouye, A. (1978.9) Possible physiological role of hyperpolarizing excitability of cultured fibroblasts. 6th Internat. Biophys. Congr. Abstr. 223
- 29) 上坂伸宏, 品川嘉也, 塩 栄夫, 品川泰子 (1978.9)糖電解質混合液で見出された溶血抵抗減弱現象 III. 種特异性. 第56回近畿生理談話会予稿集 21
- 30) 品川嘉也, 上坂伸宏, 八尾 寛, 品川泰子 (1978.9)糖電解質混合液で見出された溶血抵抗減弱現象 IV. Kinetics of Glucose Transport. 第56回近畿生理談話会予稿集 22
- 31) Uyesaka, N., Shinagawa, Y., Shio, H. & Shinagawa, Y. (1978.9) Osmotic Fragility Change of Human Erythrocytes Induced by The Mixture of Electrolyte and Saccharide Solution. Sixth International Biophysics Congress 138
- 32) 土屋和興, 岡田泰伸 (1978.10) 培養L細胞膜電位の過分極性興奮とそのサイトカラシンBによる可逆的抑制. 第2回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム講演要旨集 1-4
- 33) 岡田泰伸, Roy, G.(1978.10)人工脂質膜における X537A による陽イオン輸送と局麻剤の効果. 第2回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム講演要旨集 5-8
- 34) Okada, Y., Irimajiri, A., Tsuchiya, W. & Inouye, A. (1978.10) Contribution of an electrogenic sodium pump to the membrane potential in the intestinal epithelial cell. Jpn. J. Pihysol. 28, 511-525
- 35) 佐川典正, 林 進, 西村敏雄, 小川正晴, 井上章 (1978.10) ヒト胎児小腸における糖およびアミノ酸の吸収. 産婦人科の世界 97-104
- 36) 上坂伸宏, 品川嘉也, 塩 栄夫, 品川泰子 (1978.10) 糖電解質混合液で見出された赤血球の Anomalous Behavior. 第2回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム講演要旨集 126
- 37) 原田孝之, 鈴木幸雄, 岡田泰伸, 土屋和興 (1978.11) 過ヨウ素酸ナトリウム処理によるリンパ球の芽球化, 膜電位蛍光プローブ法による芽球化のイオン機構の検討. Proc. Jap. Soc. Immunol. 8, 394

京都大学医学部脳神経研究施設生理学部門

- 1) Oka, H. & Jinnai, K. (1978.1) Common projection of the motor cortex to the caudate nucleus and the cerebellum. Exp. Brain Res. 31, 31-42
- 2) 佐々木和夫 (1978.2) 「小脳の機能」円卓会議. 生体の科学 29(1), 74-76
- 3) 山本哲朗, 川口三郎, 鮫島章郎(1978.3)幼弱ネコの小脳半側切除後に出現する, 同側小脳-視床-大脳皮質応答について. 日本生理誌 40(3), 70
- 4) 玄番央恵, 佐々木和夫(1978.3)緊張性振動反射と小脳. 日本生理誌 40(3), 70-71
- 5) 吉田 繁, 鮫島章郎, 松田好弘 (1978.3) マウス後根神経節細胞活動電位における Ca^{++} および tetrodotoxin 抵抗性 Na^+ 成分の存在. 日本生理誌 40(3), 71-72
- 6) 佐々木和夫, 岡 宏, 川口三郎, 陣内皓之祐, 安田 隆(1978.3)大脳・小脳神経回路網の機能に関する研究, 難病の発症機構に関する基礎的研究 (昭和52年度研究業績). 579-582
- 7) Oka, H. & Jinnai, K. (1978.6) Electrophysiological study of parvocellular red nucleus neurons. Brain Res. 149(1), 239-246
- 8) 玄番央恵, 佐々木和夫(1978.7)緊張性振動反射と小脳障害. 臨床神経学 18(7), 394
- 9) Gemba, H. & Sasaki, K. (1978.7) Tonic vibration reflex and cerebellar disorders. Exp. Neurol. 60(2), 213-220
- 10) Nosaka, S., Kamaike, T. & Yasunaga, K. (1978.7) Central vagal organization in rats: An electrophysiological study. Exp. Neurol. 60(3), 405-419
- 11) Kawaguchi, S. & Yamamoto, T. (1978.7) Axonal sprouting of cerebellar nucleus neurons after neonatal hemispherectomy in kittens. IBRO News. 6(1), 15
- 12) 山本哲朗, 川口三郎, 鮫島章郎(1978.7)ラットの 小脳-視床-大脳皮質投射と半側小脳切除後の変化について. 日本生理誌 40(7), 165-166
- 13) 安永公平正, 野坂昭一郎(1978.7)ラット心臓神経の特性. 日本生理誌 40(7), 166
- 14) 松田好弘, 吉田 繁, 鮫島章郎(1978.9)マウス後根神経節細胞における Tetrodotoxin 抵抗性活動電位. 日本生理誌 40(8,9), 225-226
- 15) 岡 宏, 陣内皓之祐(1978.9)頭頂葉連合野から赤核への投射について. 日本生理誌 40(8,9), 237-238
- 16) 伊藤和夫, 川口三郎, 山本哲朗, 鮫島章郎 (1978.9)幼弱ネコの 小脳半側切除後に出現する同側性小

- 脳-大脳皮質応答について. 日本生理誌 **40**(8,9), 252-253
- 17) 野坂昭一郎, 安永公平正, 河野正義(1978.9)迷走神経反射における入力と出力の関係. 日本生理誌 **40**(8,9), 316-317
 - 18) Matsuda, Y., Yoshida, S. & Yonezawa, T. (1978.9) Tetrodotoxin sensitivity and Ca component of action potentials of mouse dorsal root ganglion cells cultured in vitro. *Brain Res.* **154**(1), 69-82
 - 19) Yoshida, S. & Matsuda, Y. (1978.9) Tetrodotoxin-resistant sodium and calcium components of action potentials in dorsal root ganglion cells of the adult mouse. *J. Neurophysiol.* **41**(5), 1096-1106
 - 20) Yasuda, T. & Shimono, T. (1978.10) Electrophysiological studies of two types of thalamo-cortical neurones and their responses to stimulation of mesencephalic reticular formation. *Jap. J. Physiol.* **28**, 569-581
 - 21) Oka, H. & Jinnai, K. (1978.11) Cerebrocerebellar connections through the parvocellular part of the red nucleus. *Integrative Control Functions of the Brain* (Ed. Ito, M.) Kodansha Scientific, Tokyo, **1**, 184-186
 - 22) Sasaki, K., Jinnai, K. & Gemba, H. (1978.11) Neuronal circuits of cerebro-cerebellar interactions. *Integrative Control Functions of the Brain* (Ed. Ito, M.) Kodansha Scientific, Tokyo, **1**, 187-189
 - 23) Kawaguchi, S., Yamamoto, T. & Samejima, A. (1978.11) Reorganization of the cerebellocerebral response following hemocerebellectomy or cerebral cortical ablation in kittens. *Integrative Control Functions of the Brain* (Ed. Ito, M.) Kodansha Scientific, Tokyo, **1**, 436-438
 - 24) Chan-Palay, V., Yonezawa, T., Yoshida, S. & Palay, S. (1978.12) R-aminobutyric acid receptors visualized in spinal cord cultures by (³H) muscimol autoradiography. *Proc. Natl. Acad. Sci.* **75**(12), 6281-6284
 - 25) 佐々木和夫 (1978.12) 小脳を中心としたニューロン回路網とその機能の研究. 神経系の統合機能 (医学研究振興財団編) 共立出版 85-106
- 京都府立医科大学第一生理学教室**
- 1) Yoshizaki, K., Imai, Y., Watari, H., Shibata, M. & Minami, S. (1978.3) Sodium and potassium distribution in rat renal slice measured by a laser microprobe emission spectrophotometry. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 62-64
 - 2) Morimoto, T., Horvath, S. M. & Borgia, J. F. (1978.6) Blood volume and plasma constituent changes in splenectomized dogs consequent to exercise. *Jap. J. Physiol.* **28**, 323-332
 - 3) Yoshizaki, K. (1978.7) Phosphorus nuclear magnetic resonance studies of phosphorus metabolites in frog muscle. *J. Biochem.* **84**, 11-18
 - 4) 田中義文, 森本武利(1978.7)血液量の連続測定法による循環動態の解析. 第17回日本ME学会予稿集 16
 - 5) 西川弘恭, 山田誠二, 吉崎和男, 亘 弘 (1978.7) ザリガニ神経の ³¹P-NMR による研究. 日本生理誌 **40**, 168
 - 6) 横野 諭, 吉崎和男, 西川弘恭, 山田誠二, 亘 弘 (1978.8) ³¹P-NMR 法による筋細胞内 pH 測定. 日本生理誌 **40**, 203
 - 7) 西川弘恭, 山田誠二, 吉崎和男, 亘 弘 (1978.8) 赤血球膜リン脂質の動態の ³¹P-NMR による研究. 日本生理誌 **40**, 208
 - 8) 北里 宏, 西尾恭介, 西川弘恭(1978.8)カエル縫工筋の細胞内 pH におよぼすインシュリンの効果. 日本生理誌 **40**, 216
 - 9) 亘 弘, 西川弘恭, 山田誠二, 吉崎和男 (1978.8) ³¹P-NMR によるザリガニ神経細胞リン化合物代謝の研究. 日本生理誌 **40**, 272
 - 10) Nishikawa, H., Yamada, S., Yoshizaki, K. & Watari, H. (1978.9) ³¹P-NMR Study on Perfused Ventral Nerve Cords of Crayfish. *Proc. Japan Acad.* **54**(Ser B), 397-401
 - 11) Isogai, Y., Némethy, G. & Scheraga, H. A. (1978.9) Multiple bend conformation in proteins. Sixth International Biophysics Congress Abstracts 200
 - 12) Nishikawa, H., Yamada, S., Yoshizaki, K. & Watari, H. (1978.9) Comparative Study of Erythrocyte Ghosts by mean of ³¹P-NMR Sixth International Biophysics Congress Abstracts 213
 - 13) Yamada, S., Nishikawa, H., Yoshizaki, K. & Watari, H. (1978.9) ³¹P-NMR Study on Living Nerve Cords of Crayfish. Sixth International Biophysics Congress Abstracts 299
 - 14) Yoshizaki, K., Nishikawa, H., Yamada, S. & Watari, H. (1978.9) Studies on the Heterogeneity of pH in Frog Muscle by ³¹P-NMR. Sixth International Biophysics Congress Abstracts 308
 - 15) Watari, H., Nishikawa, H., Yoshizaki, K. & Yamada, S. (1978.9) Sodium-23-NMR Study on the Nerve Code of Crayfish. VIIIth International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems 7
 - 16) Nishikawa, H., Yamada, S., Yoshizaki, K. & Watari, H. (1978.9) ³¹P-NMR Study on Energy Metabolism of Nervous System. VIIIth International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems 55
 - 17) 森本武利, 田中義文, 白木啓三, 三木健寿 (1978.9) 皮下蛋白の移動におよぼす温熱ならびに運動の

- 影響. 日本生理誌 **40**, 367
- 18) 三木健寿, 白木啓三, 佐川寿栄子, 森本武利 (1978.9) 微量膠質浸透圧測定法とそのラットへの応用. 日本生理誌 **40**, 336
- 19) 吉崎和男, 瀬尾芳輝, 丸山圭史, 西川弘恭, 山田誠二, 亘 弘 (1978.9) $^1\text{H-NMR}$ 法による筋肉および他組織の ^1H -スペクトルの測定. 第56回近畿生理学談話会予稿集 **4**
- 20) 藤井博匡, 河合 徹, 西川弘恭 (1978.10) 逆ミセル water core 中の pH 評価法. 第31回コロイドおよび界面化学討論会要旨集 **96**
- 21) 吉崎和男 (1978.10) 燐核磁気共鳴法による筋肉中の燐代謝物に関する研究. 京都府立医大誌 **87**, 895-896
- 22) Morimoto, T. (1978.11) The Eccrine and Apocrine Glands and their Function. "The Physiology and Pathophysiology of the Skin" ed. by A. Jarrett, Academic Press **5**, 1597-1666
- 23) 森本武利, 三木健寿, 白木啓三 (1978.11) 温熱および運動と皮下蛋白の移動. 日本生気象学会雑誌 **15**, 48
- 24) 西川弘恭, 山田誠二, 吉崎和男, 藤井崇知, 亘 弘 (1978.11) $^{31}\text{P-NMR}$ による脳切片に関する研究. 生化学 **50**, 908
- 25) 吉崎和男, 西川弘恭, 山田誠二, 亘 弘 (1978.11) $^{31}\text{P-NMR}$ 法による細胞内 pH 測定. 第17回 NMR 討論会講演要旨集 **105**
- 10) 内田 孝, 橋本真徳, 藤井崇知, 鈴木直人, 竹上徹, 小山秀樹, 高梨芳彰, 山本由美, 岩瀬善彦 (1978.10) 光点追跡時の重心変動の解析. 第8回日本脳波筋電図学会予稿集 **89**
- 11) 竹上 徹, 御手洗玄洋, 森 滋夫, 林 良一 (1978.11) 低圧環境下における呼吸の動態. 第24回日本宇宙航空環境医学会総会予稿集 **11-12**

大阪大学医学部第一生理学教室

- 1) Tyuma, I. (1978.2) What is the clinical importance of alterations of the hemoglobin oxygen affinity in preserved blood. —Especially as produced by variations of red cell 2, 3-DPG content?—. *Vox. Sang.* **34**(2), 124-125
- 2) Imaizumi, K., Imai, K. & Tyuma, I. (1978.3) On the validity of the spectrophotometric determination of oxygen saturation of hemoglobin. The wavelength dependence of observed oxygen equilibrium parameter values. *J. Biochem.* **83**(6), 1707-1713
- 3) Ueda, Y., Bookchin, R. M. & Nagel, R. L. (1978.3) Thermochemistries of the oxygenation of sickle and normal blood. *Fed. Proceeding* **37**(6), 1582
- 4) Roth, E. F. Jr., Ueda, Y., Nagel, R. L. & Bookchin, R. M. (1978.4) Changes in red cell sulfhydryl content during Humster infection with babesia microti of human origin. *Clin. Res.* **26**(3), 355A
- 5) Ueda, Y., Bookchin, R. M. & Nagel, R. L. (1978.4) Bohr effect and CO_2 binding of Hb SS cells. *Clin. Res.* **26**(3), 358A
- 6) Ueda, Y., Bookchin, R. M. & Nagel, R. L. (1978.4) The hysteresis of the oxygen equilibrium curve of Hb S containing red cell. *Clin. Res.* **26**(3), 509A
- 7) 今泉和彦, 今井清博, 中馬一郎 (1978.4) 亜硝酸イオンによるメトヘモグロビン形成. 第55回日本生理学大会予稿集 **40**(8,9), 331
- 8) 橋本正史, 東 照正, 魚住光郎, 奥村 明 (1978.4) 透析定常法による酵素反応速度論. 第55回日本生理学大会予稿集 **40**(8,9), 199
- 9) Kilmartin, J. V., Imai, K., Jones, R. T., Farugui, A. R., Hogg, J. & Baldwin, J. M. (1978.5) Role of Bohr group salt bridges in cooperativity in hemoglobin. *Biochim. Biophys. Acta* **534**(6), 15-25
- 10) Bookchin, R. M., Nagel, R. L. & Ueda, Y. (1978.5) Functional abnormalities of whole blood in sickle cell anemia. *Biochemical and Clinical aspects of hemoglobin abnormalities* (ed. Caughey, W. S). Academic Press **57**
- 11) Imai, K. (1978.7) Thermodynamics of four-step oxygenation equilibrium of hemoglobin. *Sixth International Biophysics Congress Abstracts*
- 1) Fujii, T., Murayama, K. & Iбата, Y. (1978.3) The postnatal development of cortical structures and electrical activities in the guinea pig olfactory cortex slice. *Brain Research* **142**, 546-550
- 2) 鈴木直人, 山本由美 (1978.5) ダイコクネズミの自発行動パターンと活動量. 医学と生物学 **96**(5), 349-354
- 3) 藤井崇知, Buerk, D. G. & Whalen, W. J. (1978.7) 微小酸素電極による活性化エネルギーの測定. 日本生理誌 **40**(7), 168
- 4) 鈴木直人, 山本由美, 内田 孝, 岩瀬善彦 (1978.8) ラット自発行動の解析と活動量. 日本生理誌 **40**(8,9), 270
- 5) 高梨芳彰, 小山秀樹, 岩瀬善彦 (1978.9) カエル神経系における低温馴化の効果. 第56回近畿生理学談話会予稿集 **8**
- 6) 橋本真徳, 竹上 徹, 鈴木直人, 内田 孝, 岩瀬善彦 (1978.9) 視標追跡時の眼球運動と重心動揺. 第56回近畿生理学談話会予稿集 **38**
- 7) 岩瀬善彦 (1978.9) 刺激と興奮. 医科生理学要綱. 吉村, 岩瀬, 川上共編, 南江堂 **23-29**
- 8) 岩瀬善彦 (1978.9) 感覚系の生理. 医科生理学要綱. 吉村, 岩瀬, 川上共編, 南江堂 **300-349**
- 9) 内田 孝 (1978.9) 運動系の生理. 医科生理学要綱. 吉村, 岩瀬, 川上共編, 南江堂 **352-386**

- 37
- 12) Ueda, Y., Bookchin, R. M. & Nagel, R. L. (1978.7) Oxygen affinity, Bohr effect and CO₂ binding in Hb SS cells. Sixth International Biophysics Congress Abstracts 329
 - 13) Imaizumi, K., Imai, K. & Tyuma, I. (1978.7) The linkage between the four-step binding of oxygen and the binding of heterotropic anionic ligands in hemoglobin. Sixth International Biophysics Congress Abstracts 330
 - 14) Imai, K., Ikeda-Saito, M., Yamamoto, H. & Yonetani, T. (1978.7) Determination of microscopic oxygen equilibrium constants of iron-cobalt hybrid hemoglobins and their parent hemoglobins. Sixth International Biophysics Congress Abstracts 330
 - 15) Ogoshi, H., Kawabe, K., Mitachi, S., Toshida, Z., Imai, K. Tyuma, I. & Iizuka, T. (1978.7) Reconstituted sperm whale myoglobins with synthetic hemes. Sixth International Biophysics Congress 334
 - 16) 東 照正(1978.9) A D P による血小板凝集反応の解析. 血液と脈管 9(3), 375-379
 - 17) 今井清博(1978.10) 特集「ヘモグロビンの構造と機能-各種分子分光法の威力と限界」, 「ヘモグロビンとは」(北川, 森島編) 生物物理 18(5), 20-23
 - 18) 今井清博(1978)ヘモグロビン-化学修飾および遺伝的修飾-。「ヘム蛋白の化学」化学同人
 - 19) 今井清博, 施 子彌, 中馬一郎, 川越裕也(1978.11) Hemoglobin M Nakanoshima の同定とその機能の研究. 生化学 50(9), 726
 - 20) 小坂博昭, 小林典子, 今井清博, 中馬一郎, 今泉和彦(1978.11) オキシヘモグロビンの NaNO₂ による酸化過程. 生化学 50(9), 727
 - 21) 上田至宏, 中馬一郎(1978.11) ヘモグロビン A_{1c} の酸素平衡機能におよぼす DPG と IHP の効果. 生化学 50(9), 728
 - 22) 今泉和彦, 今井清博, 中馬一郎(1978.11) ヘモグロビンの四段階酸素結合に対する二酸化炭素(CO₂)の効果. 生化学 50(9), 728
 - 23) 坂本幸哉, 中馬一郎(1978.11) 薬物とヘモグロビンの相互作用. 生化学 50(9), 977
 - 24) 今泉和彦, 今井清博, 中馬一郎(1978.12) ヘモグロビンにおける CO₂ のアロステリック効果とその生理学的意義に関する研究. 第29回タンパク質構造討論会予稿集 113-116
- 大阪大学医学部第二生理学教室**
- 1)* Yoshii, N., Hori, Y., Miyamoto, K., Hada, J. & Yajima, Y. (1977.12) Central mechanisms of learned of behaviour, error and dreaming (in Russian). Functional Significance of Electrical Processes of the Brain. Monograph 283-296
 - 2) 堀 弥生, 鈴木正利, 中山昭雄, 山本浩二, 米沢猛(1978)視床下部ニューロンの培養について. 日本生理誌 40(3), 69
 - 3) 鈴木正利, 新井節男, 中山昭雄(1978)マイクロコンピュータを利用した多点温度測定装置の試作. 日本生理誌 40(3), 77
 - 4) Hada, J., Hori, Y., Yoshii, N., Yajima, Y., Morita, F. & Sasaki, H. (1978.3) Effect of the orbital cortex stimulation on unitary activities in the sensory cortices. Med. J. Osaka Univ. 28, 275-283
 - 5) 丹羽健市, 中山昭雄(1978.3)高湿度環境における運動時の体温調節. 体力科学 27(1), 11-18
 - 6) 中山昭雄, 丹羽健市(1978.4)ヒトの温度適応能. 環境工学研究会資料 69, 1-10
 - 7) 大沢 済, 原文江, 佃 弘子, 大貫義人(1978)寒冷地域に住むニホンザル野生群の体温調節反応. 動物学雑誌 86(4), 418
 - 8) Nakayama, T., Suzuki, M., Ishikawa, Y. & Nishio, A. (1978) Effects of capsaicin on hypothalamic thermo-sensitive neurons in the rat. Neuroscience Letters 7, 151-155
 - 9) Nakayama, T., Hori, Y., Suzuki, M., Yonezawa, T. & Yamamoto, K. (1978) Thermo-sensitive neurons in preoptic and anterior hypothalamic tissue cultured in vitro. Neuroscience Letters 9, 23-26
 - 10) 中山昭雄(1978)発熱の病態生理. 発熱, 上田英雄, 武内重五郎, 豊倉康夫編集, 南江堂 2-26
 - 11) 中山昭雄(1978.7)体温のセットポイント. 生体の制御情報システム, 宇都宮敏男編, 朝倉書店 253-258
 - 12) 中山昭雄, 鈴木正利, 石川洋蔵, 新井節男(1978)体温のリズムとその中枢機構. 続・バイオリズムとその機構, 講談社 140-154
 - 13) 大貫義人, 丹羽健市, 中山昭雄(1978.7)低温環境における運動時の熱平衡. 日本生理誌 40(7), 169
 - 14) 中山昭雄(1978.9)体温調節系のモデルと制御様式. 臨床ME 2(2), 91-94
 - 15) 石川洋蔵, 中山昭雄, 鶴谷知子(1978.9)視床下部ニューロンより見た陰囊皮膚の温度刺激効果. 日本生理誌 40(8,9), 364
 - 16) 丹羽健市, 中山昭雄, 大貫義人(1978.9)暑熱順化における湿度の影響. 日本生理誌 40(8,9), 365
 - 17) 大貫義人, 東本好文, 岡 芳弘, 中山昭雄(1978.9)呼吸の位相とH波の波形. 第56回近畿生理学談話会予稿集 27
 - 18) 鶴谷知子, 石川洋蔵, 中山昭雄, Matuszek, M. (1978.9)視床下部ニューロン尾温より見たラット陰囊冷却効果. 第56回近畿生理学談話会予稿集 28
 - 19) 吉村智加, 須崎朋子, 登倉尋実, 鶴谷知子(1978.10)ヒトの不感蒸泄量に影響する2・3の要因. 日本家政学会第30回総会研究発表要旨集 121
 - 20) 丹羽健市, 中山昭雄, 大貫義人(1978.10)暑熱順化における湿度の効果. 第33回日本体力医学会大

会予稿集 92

- 21) 堀 泰雄 (1978.10) 優性焦点 dominant focus 形成に必要な電流強度について. 第5回脳研究会抄録集 42
- 22) 堀 泰雄 (1978.10) Dominant focus 形成に必要な電流強度について. 第8回日本脳波筋電図学会学術大会予稿集 58
- 23) 登倉尋実, 須崎朋子, 吉村智加, 鶴谷知子 (1978.11) 月経周期ならびに湿度がヒトの不感蒸泄量に与える影響. 日生氣誌 15, 6
- 24) 丹羽健市, 大貫義人, 中山昭雄 (1978.11) 寒冷環境における運動時の熱平衡. 日生氣誌 15, 50

大阪大学医学部高次神経研究施設

- 1) 福田 淳, 杉谷道男, 岩間吉也 (1978.3) ラット上丘視覚層ニューロンの受容野特性. 日本生理誌 40, 68
- 2) 住友一次, 岩間吉也 (1978.3) ラット外側膝状体背側核の固有介在ニューロンの電気活動. 日本生理誌 40, 68-69
- 3) Fukuda, Y., Suzuki, D. A. & Iwama, K. (1978) Characteristics of optic nerve innervation in the rat superior colliculus. Jap. J. Physiol. 28, 347-366
- 4) Fukuda, Y., Suzuki, D. A. & Iwama, K. (1978) A four group classification of the rat superior collicular cells responding to optic nerve stimulation. Jap. J. Physiol. 28, 367-384
- 5) Fukuda, Y. & Iwama, K. (1978) Visual receptive-field properties of single cells in the rat superior colliculus. Jap. J. Physiol. 28, 385-400
- 6) 中村彰治, 蔡 長添, 岩間吉也, 岩壺克哉 (1978.9) ラット青斑核ニューロンにおける反回性抑制と促通. 日本生理誌 40, 237
- 7) 福田 淳, 岩間吉也 (1978.9) 脳幹網様体刺激によってえられる外側膝状体陰性徐波. 日本生理誌 40, 283
- 8) Fukuda, Y., Sumitomo, I., Sugitani, M. & Iwama, K. (1978) Some relations between receptive-field properties and afferent conduction velocities in relay cells of the rat lateral geniculate nucleus. Integrative Control Function of the Brain 1, 85-86

大阪大学歯学部口腔生理学教室

- 1) 河村洋二郎 (1978) 小児歯科で考慮すべき口腔生理学的諸問題. 日本歯科評論 425, 93-105
- 2) 河村洋二郎 (1978) 顎関節をめぐる歯科臨床の諸問題—診断から予後まで—. 歯界展望 51(1), 5-46
- 3) Morimoto, T., Takebe, H., Sakan, I. & Kawamura, Y. (1978) Reflex Activation of Extrinsic Tongue Muscles by Jaw Closing Muscle Proprioceptors. Jap. J. Physiology 28 (4), 461-471

- 4) Kawamura, Y. & Yamamoto, T. (1978) Studies on Neural Mechanisms of the Gustatory-Salivary Reflex in Rabbits. J. Physiology 285, 35-47
- 5) Yamamoto, T. & Kawamura, Y. (1978) Response Characteristics of Cortical Taste Cells and Chorda Tympani Fibers in the Rabbit. Brain Research 152, 586-590
- 6) 森本俊文 (1978) Vertical Dimension の決定と筋感覚. 歯界展望 52(2), 265-275
- 7) 河村洋二郎 (1978) 「きき酒」清酒と洋酒. 実験治療 549, 9
- 8) 河合庄治郎, 松代浩明, 森本俊文 (1978) 無歯顎患者の咬合採取. 日本歯科評論 426, 39-47
- 9) 河村洋二郎 (1978) 技術偏重と薄められた大学教育のひずみ. デンティスト 13(3), 34-35
- 10) 河村洋二郎 (1978) 「食べる」この全身的ないとなみ. マイファミリー 新シリーズ食べる No.5 42, 52-62
- 11) 河村洋二郎 (1978.8) 味覚と疼痛のカラクリ. 大阪歯科保険医新聞増刊号
- 12) 河村洋二郎 (1978) 顎位と顎運動—東京医科歯科大学歯学部顎口腔総合施設創立10周年記念シンポジウムに出席して—. 歯界展望 52(4), 605-613
- 13) 河村洋二郎 (1978) ペインの研究. デンティスト 3 (9), 13-22
- 14) Kawamura, Y. (1978) Present Status of Dental Education in Japan. ICD Scientific & Education in Japan XI(1), 1-4
- 15) 河村洋二郎 (1978) これからの歯科医学の動向—その教育・研究・診療について—. 日本歯科評論 433, 128-138
- 16) 山本 隆, 小杉季子, 松尾龍二, 河村洋二郎 (1978) 電気味覚を用いての味覚反応時間測定について. 第12回味と匂のシンポジウム発表論文集 45-48
- 17) Morimoto, T. & Kawamura, Y. (1978) Interdental thickness discrimination and position sense of the mandible. Oral Physiology and Occlusion. An International Symposium Ed. by James H. Perryman 149-169

大阪大学基礎工学部生物工学科 (塚原研究室)

- 1)* Tsukahara, N. (1977.9) Synaptic plasticity in the central nervous system. Neurol. Med. Chir. (Tokyo) 17, 457-462
- 2)* Tsukahara, N., Fujito, Y., Oda, Y. & Maeda, J. (1977.7) Physiological evidence of formation of new synapses in red nucleus neurons from corticorubral fibers after cross-innervation. Proc. 26th Int. Congr. Physiol. Sci., Paris 13, 765
- 3)* Murakami, F., Tsukahara, N. & Fujito, Y. (1977) Analysis of unitary EPSPs mediated by the newly-formed corticorubral synapses after le-

- sion of the nucleus interpositus of the cerebellum. *Exp. Brain Res.* **30**, 233-243
- 4)* Murakami, F., Tsukahara, N. & Fujito, Y. (1977) Properties of the synaptic transmission of the newly formed corticorubral synapses after lesion of the nucleus interpositus of the cerebellum. *Exp. Brain Res.* **30**, 245-258
- 5)* Ijichi, Y., Kiyohara, T., Hosoba, M. & Tsukahara, N. (1977.6) The cerebellar control of the pupillary light reflex in the cat. *Brain Res.* **128**, 69-79
- 6)* 塚原仲晃 (1977.1) 神経回路網の可塑性. *医学のあゆみ* **100**, 42
- 7)* 塚原仲晃 (1977.3) 中樞シナプスとその可塑性. シナプスの構造と機能. 栗山欣弥編, 医歯薬出版 404-418
- 8)* 川人光男, 塚原仲晃 (1977.1) 小脳性反響回路のモデル. *電気通信学会MBE* **76**, 7-12
- 9)* Udo, M. (1977.7) Cerebellar control of locomotion investigated of floor-to-foot forces in the walking cats. *Satellite Symp. on Neurophysiol. Mechanisms of Locomotion*, Paris. 34
- 10)* Udo, M., Horikawa, J. & Matsukawa, K. (1977.7) Functional significance and neural control mechanisms of floor-to-foot forces in the intact and decerebrate walking cats. *Proc. 26th Int. Congr. Physiol. Sci.*, Paris. **13**, 769
- 11)* 有働正夫 (1977.1) 中樞プログラミングと歩行運動の制御—メディカルトピックス '77—*医学のあゆみ* **100**, 43
- 12)* 有働正夫, 松川寛二, 堀川順生, 小田洋一 (1977.9) 歩行運動における床反力と胴体の動き. *日本生理誌* **39**, 348
- 13)* 板東武彦, ザンペリ, A. & スペンサー, W. A. (1977.9) 視覚ニューロン群のリズム放電機構. *日本生理誌* **39**, 326
- 14) Tsukahara, N. (1978.9) Synaptic plasticity in the red nucleus neurons. *J. Physiol.*, Paris **74**, 339-345
- 15) Tsukahara, N. (1978) Synaptic plasticity in the red nucleus. *Neuronal Plasticity*, ed. C. W. Cotman, Raven Press 113-130
- 16) Hosoba, M., Bando, T. & Tsukahara, N. (1978.9) The cerebellar control of accommodation of the eye in the cat. *Brain Res.* **153**, 495-505
- 17) Hultborn, H., Mori, K. & Tsukahara, N. (1978.12) The neuronal pathway subserving the pupillary light reflex. *Brain Res.* **159**, 255-267
- 18) Hultborn, H., Mori, K. & Tsukahara, N. (1978.12) Cerebellar influence of parasympathetic neurones innervating intra-ocular muscles. *Brain Res.* **159**, 269-278
- 19) Fujito, Y., Oda, Y., Maeda, J. & Tsukahara, N. (1978.2) Synaptic inputs of the red nucleus neurons in the cat —A further study—. *Proc. Japan Acad.* **54**, 65-68
- 20) 塚原仲晃 (1978.2) 「学習と記憶の脳機構」のシンポジウム. *生体の科学* **29**, 76-77
- 21) 塚原仲晃 (1978.10) 神経回路網の可塑性. *電気四学会連合大会抄録* **5**, 133-136
- 22) 塚原仲晃, 板東武彦 (1978.9) 神経回路網の可塑性. *医用電子と生体工学* **16**, 317-323
- 23) 村上富士夫, 塚原仲晃 (1978.8) 可塑性シナプスとその機能. *神経研究の進歩* **22**, 974-983
- 24) Udo, M. & Matsukawa, K. (1978.7) Effects of partial cooling of cerebellar cortex in decerebrate walking cats. *IBRO News* **6**, 15
- 25) 有働正夫 (1978.7) 小脳と運動制御. *生体の制御情報システム*. 宇都宮編, 朝倉書店 344-357
- 26) 有働正夫 (1978.9) 運動の中樞プログラミング. *神経科学講座*. 渡辺, 森田, 伊藤, 天野編, 理工学会社 **5**, 95-120
- 27) Matsumoto, N. & Bando, T. (1978.9) Intracellular recordings of tectal cells of the frog. *Proc. Japan Acad.* **54**, 386-390
- 28) Bando, T., Hosoba, M., Ishihara, A. & Tsukahara, N. (1978.7) Further study of the cerebellar control of accommodation of the eye in the cat. *IBRO News* **6**, 16

大阪市立大学医学部第一生理学教室

- 1) Furukawa, T. & Matsuura, S. (1978.1) Adaptive rundown of excitatory postsynaptic potentials at synapses between hair cells and eighth nerve fibres in the goldfish. *J. Physiol* **276**, 193-209
- 2) Furukawa, T., Hayashida, Y. & Matsuura, S. (1978.1) Quantal analysis of the size of excitatory post-synaptic potentials at synapses between hair cells and afferent nerve fibres in goldfish. *J. Physiol* **276**, 211-226
- 3) 頭司研作, 中井義明, 張 寛正, 八木英晴, 時本孝行 (1978.1) モルモットにおけるカナマイシン投与による脳幹反応の実験的研究(第2報). *日. 耳. 鼻* **81**, 72
- 4) 大迫茂人, 時本孝行 (1978.1) 聴性誘発反応による2音弁別能. *日. 耳. 鼻* **81**, 74
- 5) 時本孝行 (1978.3) 種々の誘発反応による聴覚出現機構の考察. *日本生理誌* **40**, 71
- 6) 青木一郎 (1978.3) IRC (Inclined Rotating Fluid Column) 法による微粒子の分離. 第25回応用物理学関係連合講演会講演予稿集 151
- 7) Hayashida, Y., Koyano, H. & Eyzaguirre, C. (1978) Intracellular recording from chemoreceptor afferent fibers of the cat carotid body. *Federation Proceedings* **37**(3), 389
- 8) 頭司研作, 中井義明, 張 寛正, 時本孝行 (1978.5) モルモットにおける脳波聴性誘発反応. *耳. 鼻. 臨床* **71**増1, 551-558
- 9) 大迫茂人, 時本孝行 (1978.5) アミノ配糖体抗生物

- 質の胎仔および幼若仔獣の聴覚におよぼす影響に関する研究. 耳. 鼻. 臨床 **71**増1, 540-550
- 10) 松裏修四(1978.7,8)有毛細胞—第8神経線維間のシナプス伝達. 日本生理誌 **40**, 233
 - 11) 時本孝行(1978.7,8)聴性誘発反応による off-反応. 日本生理誌 **40**, 262
 - 12) 八木英晴, 時本孝行, 頭司研作, 中井義明(1978.9)利尿剤(フロセマイド, プメタニド)による聴力障害(実験的観察). 日. 耳. 鼻 **81**, 84
 - 13) 時本孝行, 八木英晴, 頭司研作(1978.10)BSR による On, Off 反応とその性質. Audiology(Japan) **21**, 345-346
 - 14) 大迫茂人, 時本孝行(1978.10)聴性脳幹反応による2音弁別に関する基礎的研究. Audiology (Japan) **21**, 337-338
 - 15) 頭司研作, 中井義明, 八木英晴, 大橋一博, 時本孝行, 張 寛正(1978.10) プメタニド投与による経時的变化の機能および形態学的観察. Audiology (Japan) **21**, 393-394
 - 16) 天野美佐子, 藤原弘子, 八木英晴, 大迫茂人, 時本孝行(1978.10)BSR による他覚的域値測定を試み(その1). Audiology(Japan)**21**, 355-356
 - 17) 八木英晴, 天野美佐子, 藤原弘子, 中井義明, 時本孝行(1978.10)BSR による他覚的域値測定を試み(その2). Audiology(Japan)**21**, 357-358
 - 18) Eyzaguirre, C., Gallego, R., Hayashida, Y. & Monti-Bloch, L. (1978.11) A method for the observation and recording from single cells of living organs: A refinement of tissue sectioning techniques. Society for Neuroscience Abstracts **4**, 387
 - 19) 頭司研作, 時本孝行, 八木英晴, 中井義明(1978.12) モルモットにおけるカナマイシン投与による脳幹反応の実験的研究(第3報). 日. 耳. 鼻 **81**, 72

大阪市立大学医学部生理学第二教室

- 1) 藤山勝弘, 岡田 忠, 木下喜博, 木村英一(1978.4) In vitro aging にもなる赤血球の水分含有量および形態の変動. 日本生理誌 **40**(8,9), 334
- 2) Kageyama, K., Kinoshita, Y. & Kimura, E. (1978) A rapid method for measuring the phospholipid synthetic activity of incubated lymphocytes. Experientia. **34**, 1311-1312
- 3) 木村英一(1978)血小板の系統的発生. 血液と脈管 **9**, 151-158
- 4) 木下喜博, 木村修平(1978)リンパ球 subpopulations の分離法の理論と応用. リンパ学 **1**, 108-109
- 5) Nagasawa, T., Kobayashi, T., Kimura, S. & Kimura, E.(1978.4)Membrane damage of red blood cells induced by Yoshida tumor cells. 日本生理誌 **40**(8,9), 335-336
- 6) 岡本光正(1978)大豆レクチンによるラット非粘着性骨髄細胞の DNA 合成の亢進に関する研究. 大

阪市医誌 **27**, 1-10

- 7) Ueda, K., Umesaki, N., Nakamori, H., Sako, H., Nakade, J., Lee, T., Kinoshita, Y. & Sugawa, T. (1978)Effect of human fetal thymic extracts on the maturation of precursor T-lymphocytes from uterine cancer patients with various clinical stages. Proceed. Jap. Cancer Asso. **37**, 80
- 8) Yano, I., Kageyama, K., Ohno, Y., Masui, M., Kusunose, E., Kusunose, M. & Akimori, N. (1978) Separation and analysis of molecular species of mycolic acids in Nocardia and related Taxa by gas chromatography mass spectrometry. Biomedical Mass Spectrometry. **5**, 14-24

大阪医科大学第一生理学教室

- 1) 今井雄介, 森 博彦, 村上政隆, 後藤 司(1978.2)容量概念の生体系への適用. 日本生理誌 **40**(7), 169
- 2) 中垣育子, 後藤 司, 佐々木貞雄, 今井雄介(1978.2)イヌ顎下腺における $(Na^+-K^+)ATPase$ の局在. 日本生理誌 **40**(7), 169
- 3) 村上政隆, 森 博彦, 今井雄介(1978.4)腺組織における熱とイオンのフラックス測定. 日本生理誌 **40**(8,9), 211
- 4) 後藤 司, 佐々木貞雄, 中垣育子, 今井雄介(1978.4)イヌ顎下腺細胞の Na^+ 輸送機構. 日本生理誌 **40**(8,9), 212
- 5) Sasaki, S., Nakagaki, I., Imai, Y., Sumida, M. & Morimoto, T. (1978.6) Immunoelectron microscope localization of Ca^{2+} , Mg^{2+} -dependent ATPase on chicken skeletal muscle. J. Electron Microscopy **27**, 365
- 6) Imai, Y., Mori, H. & Murakami, M. (1978.9) Flow analysis adopting capacitor concept. Sixth International Biophysics Congress Abstracts **277**
- 7) Nakagaki, I., Goto, T., Sasaki, S. & Imai, Y. (1978.10) Histochemical and cytochemical localization of (Na^+-K^+) -activated adenosine triphosphatase in the acini of dog submandibular glands. J. Histochem. Cytochem. **26**, 835-845
- 8) 佐々木貞雄, 中垣育子, 今井雄介, 澄田道博, 森本 孝(1978.9) Ca^{++} , Mg^{++} -ATPase の鶏筋細胞上における位置決定について. 第56回近畿生理学談話会予稿集 **5**
- 9) 中垣育子, 佐々木貞雄, 後藤 司, 今井雄介(1978.9)電子線照射X線微小分析法による外分泌腺細胞内元素分布の探査について. 第56回近畿生理学談話会予稿集 **19**
- 10) 森 博彦, 後藤 司, 今井雄介(1978.9) K^+ 感受性二連微小電極を用いた細胞内イオン測定. 第56回近畿生理学談話会予稿集 **14**

- 11) 今井雄介, 森 博彦, 村上政隆, 後藤 司 (1978. 10) 容量概念を用いた物質輸送速度測定法. 生体膜と薬物の相互作用シンポジウム講演要旨集 80
 - 12) 佐々木貞雄, 森 博彦, 中垣育子, 今井雄介, 土屋和興, 田代 裕 (1978. 11) 家蚕後部絹糸腺細胞の膜電位とフィブリン分泌. 日本細胞生物学会予稿集 A-22
 - 13) Imai, Y. (1978. 9) Analytical method of Na^+ , K^+ , H^+ , HCO_3^- and heat fluxes on the perfused gland. Symposium on "Epithelial Transport Mechanism". Satellite Symposium of the Sixth International Biophysics Congress
 - 14) Sasaki, S. (1978. 9) Intracellular Transport of a Silk Protein, Fibroin. *ibid.*
- 大阪医科大学第二生理学教室**
- 1) Kubota, T. & Fujimoto, M. (1978. 2) Seasonal change of membrane potential across the proximal tubular epithelium in bullfrog kidneys. *Jap. J. Physiol.* **28**(2), 181-196
 - 2) 岡田勝彦, 藤本 守, 山田真一, 革島康雄, 北出文男 (1978. 2) 肝細胞におけるカリウム輸送機構とイオン動態について. 第64回日本消化器病学会抄録集 219
 - 3) 藤本 守 (1978. 3) 細胞内カリウムについて. *日本臨牀* **36**(3), 673-683
 - 4) 岡田勝彦, 山田真一, 革島康雄, 北出文男, 藤本 守, 窪田隆裕 (1978. 4) 微小電極法による肝の細胞内 K^+ 濃度と電位の測定について. *日本生理誌* **40**(4), 86-88
 - 5) 山田真一, 岡田勝彦, 革島康雄, 北出文男, 藤本 守 (1978. 5) Mitomycin C (MMC), 5-Fluorouracil Dry Syrup (5-FUDS) 投与による肝障害に関する研究—とくに微小イオン電極を用いた細胞生理学的検討—. *臨床生理* **8**(5), 428-433
 - 6) Fujimoto, M. (1978. 6) Metabolic aspect of electrochemical profile for the transport of principal ions across the proximal tubular membrane. *Abst. VIIth Int. Congr. Nephrol.* c 3
 - 7) Matsumura, Y., Kajino, K., Kotera, K. & Fujimoto, M. (1978. 6) Coupling of H ion to Na transport or potential difference across the luminal border of the tubular epithelium. *Abst. VIIth Int. Congr. Nephrol.* H 1
 - 8) Naito, K., Honda, M., Kubota, T., Satake, N. & Fujimoto, M. (1978. 6) Role of passive permeability of diffusible ions on the ion transport process across the proximal tubule. *Abst. VIIth Int. Congr. Nephrol.* C 3
 - 9) 本田 稔, 内藤和世, 佐竹典子, 加知一友, 藤本 守 (1978. 7) 尿管イオン輸送に対する呼吸性代謝阻害剤の影響. *日本生理誌* **40**(7), 164
 - 10) 松村 裕, 梶野興三, 藤本 守 (1978. 7) 二連アンチモン微小電極の生物学的応用. *日本生理誌* **40**(7), 164
 - 11) 梶野興三, 松村 裕, 小寺邦彦, 藤本 守 (1978. 7) 尿酸性化に対する塩基性アミノ酸の効果. *日本生理誌* **40**(7), 163
 - 12) Okada, K., Yamada, S., Kawashima, Y., Kitade, F., Okajima, K., Fujimoto, M. & Kubota, T. (1978. 7) Intracellular potassium activity and membrane potentials in rat liver. *Bull. Osaka Med. School.* **24**(2), 79-82
 - 13) 岡田勝彦, 北出文男, 山田真一, 革島康雄, 加藤佳典, 岡島邦雄, 藤本 守 (1978. 7) ラット肝細胞におけるカリウム代謝とその輸送機構について. *臨床生理* **8**(7), 597-606
 - 14) 藤本 守 (1978. 8) 高血圧症に関する最近の考え方. *Medical Tribune* **78**(2), 23-24
 - 15) 藤本 守, 本田 稔, 佐竹典子, 内藤和世 (1978. 9) 腎近位尿管イオン輸送のエネルギー勾配. *日本生理誌* **40**(8, 9), 214
 - 16) 小寺邦彦, 松村 裕, 梶野興三, 藤本 守 (1978. 9) 尿酸性化に対する阻害剤効果の時間的解析. *日本生理誌* **40**(8, 9), 330
 - 17) 藤本 守 (1978. 9) 細胞の一般構造と機能. *医科生理学要綱 著書*(第二章), 4-22
 - 18) 藤本 守 (1978. 9) 尿の排泄と体液調節. *医科生理学要綱 著書*(第四章), 191-213
 - 19) 小寺邦彦, 本田 稔, 藤本 守 (1978. 9) 二連型 Na イオン微小電極による腎尿管細胞内 Na イオンの測定. 第56回近畿生理学談話会予稿集 12
 - 20) Fujimoto, M., Kotera, K., Matsumura, Y., Kajino, K., Satake, N., Honda, M. & Naito, K. (1978. 9) The electrochemical study of Na and H ion across the luminal membrane of renal proximal tubule in the bullfrog. *6th Int. Biophys. Congr. Abs.* 285
 - 21) 内藤和世, 本田 稔, 佐竹典子, 藤本 守 (1978. 9) 腎近位尿管細胞のイオン受動的透過性に対する Amiloride の効果. 第56回近畿生理学談話会予稿集 13
 - 22) 松村 裕, 梶野興三, 藤本 守 (1978. 9) 細胞内外 H 分布と膜電位との関連性について. 第25回中部生理学談話会予稿集 14
 - 23) 藤本 守, 小寺邦彦 (1978. 10) 細胞内イオン電極法による利尿剤作用の細胞機序の研究. 第2回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム講演要旨集 76-79
 - 24) 藤本 守, 松村 裕 (1978. 10) 腎における Ca, P の輸送機序. *日本臨床* **36**(10), 3304-3313
 - 25) 革島康雄, 岡田勝彦, 山田真一, 加藤佳典, 北出文男, 藤本 守 (1978. 10) 抗癌剤の肝細胞障害に対する Co Q_{10} 併用の影響. 第20回日本消化器病学会予稿集 61
 - 26) 梶野興三, 松村 裕, 藤本 守 (1978. 11) ペンシル型二連微小アンチモン電極による細胞内 pH の測定. 第21回日本腎臓学会予稿集 340
 - 27) 本田 稔, 内藤和世, 小寺邦彦, 藤本 守 (1978. 11) 尿管イオン輸送における代謝エネルギー

の関与について. 第21回日本腎臓学会予稿集 341

関西医科大学第一生理学教室

- 1) 佐々木貞雄, 三浦悦子, 藤井(栗山)義明, 田代裕(1978.3)カイク絹糸腺細胞内におけるフィブリン分泌顆粒の輸送. 日本生理誌 **40**, 75
 - 2) 沢村隆也, 中田 博, 藤井義明, 田代 裕(1978.7)ラット血清糖タンパク質の肝細胞における異化機構. I. Asialoglycoproteinに対する結合タンパク質の精製と性質. 日本生理誌 **40**, 166
 - 3) 高橋 敬, 松浦志郎, 田代 裕(1978.7)NucleosomeにおけるH₁ヒストンの存在様式. 日本生理誌 **40**, 166-167
 - 4) Negishi, M. & Kreibich, G.(1978.7)Coordinated polypeptide synthesis and insertion of protoheme in cytochrome P-450 during development of endoplasmic reticulum membranes. J. Biol. Chem. **253**, 4791-4797
 - 5) Matsuura, S., Fujii-Kuriyama, Y. & Tashiro, Y. (1978.8) Immunoelectron-microscopical localization of cytochrome P-450 on microsomes and other membrane structures of rat hepatocytes. J. Cell Biol. **78**, 503-519
 - 6) 松浦志郎, 藤井(栗山)義明, 美川理恵, 青井一雄, 田代 裕(1978.8)チトクローム P-450の肝細胞内分布と膜流動. 日本生理誌 **40**, 205-206
 - 7) 美川理恵, 藤井(栗山)義明, 松浦志郎, 田代 裕(1978.8)肝チトクローム P-450の分子多様性とP-448の精製. 日本生理誌 **40**, 207
 - 8) 藤井義明, 美川理恵, 田代 裕, 酒井正春, 村松正美(1978.9)フェノバルビタール(PB)投与によるチトクロームP-450の誘導機構. 日本生化学誌 **50**, 870
 - 9) 高橋 敬, 田代 裕(1978.11)スクレオフィラメントと抗H₁ヒストン抗体との結合について. 日本細胞生物学会 **B**, 40
 - 10) 青井一雄, 松浦志郎, 藤井義明, 田代 裕(1978.11)フェリチン電顕法による小胞体膜蛋白分布の量的研究. 日本細胞生物学会 **B**, 44
 - 11) 中田 博, 沢村隆也, 藤井義明, 田代 裕(1978.11)ラット血清糖タンパク質に対する結合タンパク質の精製と粗面小胞体における存在様式について. 日本細胞生物学会 **B**, 45
 - 12) Chyn, T. L., Martonosi, A. N., Morimoto, T. & Sabatini, D. D.(1978.11)In vitro synthesis of Ca²⁺ transport ATPase by ribosomes bound to sarcoplasmic reticulum membrane. J. Cell Biol. **79**, 365a
 - 13) Sasaki, S., Nakagaki, I., Imai, Y., Sumida, M. & Morimoto, T.(1978.12)Immunoelectron microscope localization of Ca²⁺, Mg²⁺-dependent ATPase on chicken skeletal muscle. J. Electron Microsc. **27**, 365
- 関西医科大学第二生理学教室
- 1)* 四宮真男, 松井博史, 安原基弘(1976.2)嗅覚の神経薬理学的研究(第1報). 一嗅刺激に対する反応一. 日耳鼻 **79**, 246-247
 - 2)* 四宮真男, 熊沢忠躬, 松井博史, 安原基弘(1976.4)嗅覚の電気生理学的研究(第2報). 日耳鼻 **79**, 530
 - 3)* 安原基弘(1976.7)嗅覚に関する神経薬理学的考察. 日本鼻副鼻腔学会誌 **14**, 10
 - 4)* Shinomiya, M., Kumazawa, T. & Yasuhara, M. (1977.3)An electrophysiological study on the influences of olfactory stimulation on the central nervous system. XI Congreso Mundial de Otorrinolaringologia, Resumenes p. 305
 - 5)* 四宮真男, 熊沢忠躬, 安原基弘(1977.8)嗅覚の電気生理学的研究(第4報). 日本鼻副鼻腔学会誌 **15**, 129
 - 6) 四宮真男, 熊沢忠躬, 安原基弘(1978.1)ニオイの生体に及ぼす影響. 一脊髄反射, 侵害反射を対象として一. 耳鼻臨床 **71**, 112
 - 7) 安原基弘, 内藤博江, 真田 敏, 関 寿人(1978.1)中枢電気現象と循環機能との関連性について. 脳波と筋電図 **6**, 69
 - 8) 高村はるか(1978.3)Neuroleptanalgesiaの中樞作用機序に関する電気生理学的研究(第1報). 関西医大誌 **30**, 12-22
 - 9) 安原基弘, 大友敏行, 西浦公章(1978.3)光眼輪筋反射の発生機序に関する実験的研究. 脳研究会誌 **4**, 88
 - 10) 四宮真男, 熊沢忠躬, 安原基弘(1978.4)ニオイの生体に及ぼす影響. 一加算誘発電位を対象として一. 日耳鼻 **81**, 412
 - 11) 安原基弘, 大友敏行, 西浦公章(1978.7)Microvibrationの成因に関する実験的研究. 日本生理誌 **40**, 165
 - 12) 安原基弘, 内藤博江, 竹村京子, 前田紀夫, 岩崎悦子(1978.9)縫線核とVL核の機能的意義に関する研究. 日本生理誌 **40**, 247-248
 - 13) 安原基弘, 内藤博江, 真田 敏, 関 寿人(1978.9)大脳辺縁系諸核の循環器系におよぼす影響. 日本生理誌 **40**, 315
 - 14) 安原基弘, 大友敏行, 西浦公章(1978.9)光眼輪筋反射の誘導方法の違いによる波形の比較検討. 関西医大誌 **30**, 479
 - 15) 安原基弘, 内藤博江, 平井タカネ(1978.9)脊髄反射におよぼすリズムミカルな音刺激の影響. 関西医大誌 **30**, 479
 - 16) 安原基弘, 内藤博江, 西浦公章(1978.9)Microvibrationの発現機序に関する実験的研究. 第56回近畿生理学会談話会予稿集 p. 39
 - 17) 安原基弘, 内藤博江, 平井タカネ(1978.11)脳波筋電図に及ぼすリズムミカルな音刺激の影響. 第8回日本脳波・筋電図学会学術大会予稿集 p.118
 - 18) 安原基弘, 西浦公章, 服部裕子(1978.11)光眼輪筋反射の構成成分に関する実験的研究. 第8回日本脳波・筋電図学会学術大会予稿集 p.78
 - 19) Sanada, S.(1978.12)Relation of Electroenceph-

alogram to Changes in Blood Flow in Response to Brain Stimulation. *J. Kansai Med. Univ.* **30**, S12-56

近畿大学医学部生理学第一講座

- 1) Chichibu, S., Wada, T., Komiya, H. & Suzuki, K. (1978.6) Structure of mechanoreceptive hairs on the crayfish first antenna. *Acta med. Kinki Univ.* **3**, 27-39
- 2) Chichibu, S. & Wada, T. (1978.6) Form and materials effects on the accessory vibrations of the NEPEC electro-mechanotransducer. *Acta med. Kinki Univ.* **3**, 55-63
- 3) Chichibu, S. & Ishiguro, M. (1978.6) Quantitative evaluations of color differences in microscopic spectrophotometry. *Acta med. Kinki Univ.* **3**, 71-82
- 4) 古賀和利, 香田政彦, 三池秀敏, 蛭名良雄, 秩父志行 (1978.6) サリガニ触角内枝の機械刺激受容器の構造及び正弦波刺激応答とその確率モデル. 電子通信学会予稿集 MBE-78-8, 1-10
- 5) 松浦哲志, Miller, W. H., 富田恒男 (1978.6) ERG c 波. *日本生理誌* **40**, 165
- 6) 秩父志行 (1978.7) 生物電気. *電気学会雑誌* **98**, 605-608
- 7) 秩父志行 (1978.7) 機械刺激受容感覚毛の周波数応答特性. *医用電子と生体工学* **16** 特別号, 266
- 8) 星宮 望, 松尾正之, 島田洋一 (1978.7) 筋肉の機械刺激受容器の多チャンネル系としての伸展量変換特性. *医用電子と生体工学* **16** 特別号, 267
- 9) 秩父志行 (1978.7) 受動および能動感覚系における順応の意義. 宇都宮敏男編「生体の制御情報システム」第2章5節. 朝倉書店 231-240
- 10) Matsuura, T., Miller, W. H. & Tomita, T. (1978.7) Cone-specific c-wave in the turtle retina. *Vision Res.*, **18**, 767-775
- 11) 松浦哲志, Miller, W. H., 富田恒男 (1978.8) カメ錐体網膜の ERG c 波. *日本生理誌* **40**, 279
- 12) Chichibu, S. (1978.8) SEM structures of crayfish mechanoreceptive setae. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 298
- 13) Chichibu, S. (1978.9) Structure of burst EOD patterns in *Gnathonemus petersii*. *Abstr. 6th internat. Biophysics Congr.* 374
- 14) Chichibu, S., Wada, T., Komiya, H. & Suzuki, K. (1978.12) Calcium localization within the crayfish aesthetasc hairs. *Acta med. Kinki Univ.* **3**, 145-154
- 15) Chichibu, S., Takamizawa, S. & Tsukada, M. (1978.12) Impulse response patterns of short tactile hairs to mechanical stimulations. *Acta med. Kinki Univ.* **3**, 155-165
- 16) Chichibu, S. (1978.12) Activities of the velocity-sensitive mechanoreceptor in the crayfish. *Acta med. Kinki Univ.* **3**, 167-175
- 17) Chichibu, S. (1978.12) Response patterns and the direction sensitivities of the crayfish setae units. *Acta med. Kinki Univ.* **3**, 177-189
- 18) Chichibu, S., Tani, Y. & Tsukada, M. (1978.12) Sinusoidal mechanical stimulation and the frequency characteristics of the crayfish setae neurons. *Acta med. Kinki Univ.* **3**, 191-201
- 19) Chichibu, S., Wada, T. & Komiya, H. (1978.12) The terminal outgrowths of the crayfish mechanosensory hairs. *Acta med. Kinki Univ.* **3**, 209-220
- 20) Chichibu, S. & Suzuki, K. (1978.12) Rheotactic behaviours and the function of the crayfish antennal mechanoreceptors. *Acta med. Kinki Univ.* **3**, 241-248

近畿大学医学部第二生理学教室

- 1) 酒井鉄博 (1978.5) 変形体内の ATP レベル. 第1回「真正粘菌の生物学」研究会要旨 11
- 2) Kaniike, K. (1978.6) Effect of ouabain and dimethylsulfoxide on Ca^{2+} binding to Na^+ , K^+ -ATPase. *Acta medica Kinki Univ.* **3**, 75-79
- 3) Kaniike, K., Sasagawa, S. & Asano, Y. (1978.7) Na^+ , K^+ -ATPase activities in brain and kidney microsomes of stroke-prone spontaneously hypertensive rats. *Jap Heart J.* **19**, 595-596
- 4) 宮本博司, 酒井鉄博, 池原敏孝 (1978.9) HeLa 細胞の Rb^+ 輸送と ATP-level の関係について. *日本生理誌* **40**, 203
- 5) 蟹池健一 (1978.9) 心筋および脳 Na^+ , K^+ -ATPase 標本への Ca binding. *日本生理誌* **40**, 215
- 6) Miyamoto, K., Sakai, T. & Ikehara, T. (1978.11) The use of Rb for the membrane transport of K and the effect of Rb on the growth of HeLa cells. *Sixth International Biophysics Congress Abstract* 390
- 7) 宮本博司, 酒井鉄博, 池原敏孝 (1978.11) 培養液 K^+ の Rb^+ 置換が HeLaS3 細胞の増殖におよぼす影響. 第31回日本細胞生物学会大会要旨集 B-12
- 8) Kaniike, K. & Miyamoto, H. (1978.12) Effect of chlorpromazine on Ca^{2+} binding to brain Na^+ , K^+ -ATPase preparations. *Acta medica Kinki Univ.* **3**, 117-125
- 9) Sakai, T., Ikehara, T. & Miyamoto, H. (1978.12) Effects on cultured cells of increased concentration of potassium in combination with ouabain: Contents of Na and K, ATP level and cell volume in mouse L cells. *Acta medica Kinki Univ.* **3**, 127-136
- 10) Ikehara, T., Sakai, T. & Miyamoto, H. (1978.12) Effects of ouabain on the growth, internal concentration of Na^+ and K^+ , and volume of mouse L cells. *Acta medica Kinki Univ.* **3**, 137-144
- 11) Miyamoto, H., Sakai, T. & Ikehara, T. (1978.12)

- Distinct effects of ouabain at different concentrations on Rb^+ uptake in HeLa cells. *Acta medica Kinki Univ.* **3**, 233-239
- 12) Miyamoto, H., Ikehara, T. & Sakai, T. (1978. 12) Effects of Rb^+ and choline⁺ substitution for K^+ on the growth of HeLa cells. *Acta medica Kinki Univ.* **3**, 249-255
- 13) 蟹池健一 (1978. 12) PMS+VC の Na^+ , K^+ -ATPase への影響. 生体エネルギー研究会第 4 回討論会講演集 114-116
- 14) Miyamoto, H., Sakai, T., Ikehara, T. & Kaniike, K. (1978. 12) Effect of Rb^+ substituted for K^+ on HeLa cells: cellular content and membrane transport of monovalent cations, and cell growth. *Cell Structure and Function* **3**, 313-324
- 15) Ishiguro, S., Yamaguchi, H., Oka, Y. & Miyamoto, H. (1978. 12) Change in energy metabolism in the cell cycle of mouse L cells. *Cell Structure and Function* **3**, 331-340
- 大阪歯科大学生理学教室**
- 1) 大野 栄 (1978. 2) ブラッシング指導における歯みがき圧および歯みがき動作の回数について. *歯科医学* **41**, 185-186
- 2) 横田敏勝, 西川泰央, 大野 栄 (1978. 3) 上喉頭神経の求心性線維による外舌筋活動の制御. *歯基礎誌* **20**, 192-193
- 3) 榎村光仁, 大野 栄, 覚道幸男 (1978. 3) 食物の粉碎能に及ぼす口蓋粘膜および舌粘膜の感覚の影響について. *歯基礎誌* **20**, 197
- 4) 覚道幸男 (1978. 3) 特集: 歯周疾患と咬合治療—基礎と臨床—咬合および咀嚼系の機能. *歯科ジャーナル* **7**, 259-266
- 5) 覚道幸男, 仲野治二, 藤原照子 (1978. 8) Index to Dental Literature の有効な利用のために歯学件名の階層別編成およびその和訳(その 1). *歯科医学* **41**, 674-680
- 6) 覚道幸男 (1978. 9) 特集: 臨床における咬合のとらえ方 咬合の解剖と生理. *歯科ジャーナル* **8**, 259-273
- 7) 椋 良昭 (1978. 9) ハムスター顎下腺細胞における内因性 peroxidase の局在についての細胞化学的研究. *歯基礎誌* **20**, 488-506
- 8) 中野楠夫 (1978. 9) Implant 応用時の下顎骨の力学のおよび組織学的変化に関する実験的研究. *歯基礎誌* **20**, 507-520
- 9) 西川泰央, 大野 栄, 横田敏勝 (1978. 9) 舌下神経反射活動の中脳縫線核による選択的抑制. *日本生理誌* **40**, 240-241
- 10) 寺坂 章, 上田雅俊, 今井久夫, 山岡 昭, 楠憲治, 小西浩二, 大野 栄, 覚道幸男 (1978. 9) いわゆる Bass technique に用いる歯ブラシ線維尖端の形態的研究—とくに歯みがき圧を考慮して—*日本歯周病誌* **20**, 296
- 11) 中井基晴 (1978. 10) 下顎舌側粘膜への機械的刺激による外舌筋の反射活動について. *歯科医学* **41**, 691-703
- 12) 高山直子 (1978. 10) ラット肝ミクロゾーム膜結合チトクローム P-450 の反応性と存在様式. *歯科医学* **41**, 704-721
- 13) Yokota, T., Nishikawa, Y. & Ohno, S. (1978) A Hypoglossal Reflex Elicited by Mechanical Stimulation of the Mandibular Mucosa in Cat. *Jap. J. Physiol.* **28**, 659-667
- 14) 覚道幸男, 中野治二, 藤原照子 (1978. 10) Index to Dental Literature の有効な利用のために, 歯学件名および階層別編成およびその和訳(その 2). *歯科医学* **41**, 767-782
- 15) 稲田芳樹, 飯田正人, 上田雅俊, 今井久夫, 楠憲二, 小西浩二, 覚道幸男, 大野 栄 (1978. 10) Bass technique 用歯ブラシの使用限界についてとくに歯みがき圧を考慮して. *口腔衛生会誌* **28**, 371
- 16) 大野 栄, 内橋賢二, 榎村光仁, 吉田 洋, 覚道幸男 (1978. 10) 歯みがき動作に及ぼす視聴覚利用のブラッシング指導の影響について. *口腔衛生会誌* **28**, 372

〔会報〕

第51回JJP編集委員会議事録

日時：昭和54年3月10日(土)

場所：学会センタービル5階会議室

出席者：渡辺委員長，入沢，岩間，勝木，星，吉村各委員
および高木(貞)，中山次期委員

1. 前回議事録について
原案どおり承認された。
2. 原稿審査について
各委員より審査状況の報告ならびに説明があり，第29巻2号掲載論文(10編)を確認した。
3. その他
 - 1) Short Communications のアナウンスメントについて
29巻1号と2号にわたり掲載し，29巻3号から裏表紙(表3)の中にくみ入れることとなった。この場合の内容および体裁については次回に各委員が案を持ち寄ることとなった。
 - 2) New York Academy よりの広告依頼について
原則として学術的なものの広告は掲載できるが，今回の場合は，生理学会会員はあまり興味を
4. 新旧委員引継について
今までの編集委員の仕事の概略を渡辺委員長が説明した。その際，いくつかの疑問点があげられ今後の検討を待つこととなった。
ex. 日本の雑誌の表記法，単位系，審査用紙の体裁，Index の改善 etc.
5. 次期委員長の決定
“編集委員会委員の選出方法規定”に基づき選挙を行った結果，真島委員が次期委員長として選出された。
6. 53年度決算，54年度予算について
刊行センター山田(猛)より，予算・決算に関する報告・説明がなされた。

生理科学研究連絡委員会報告

委員長 勝木保次

日本学術会議は昨年第11期に入り，各委員会の委員を改選し，次の15名が任命された。

伊藤正男(新) 入来正躬(新) 入内島十郎(新)
内菌耕二(継) 大村裕(継) 勝木保次(継)
河村洋二郎(継) 佐藤昌康(継) 佐伯欽(新)
渋谷達明(継) 鎮目和夫(継) 高木貞敬(継)
塚田裕三(継) 西田勇(新) 本間三郎(新)
互選の結果，委員長は勝木，幹事は塚田・本間
両学術会議会員が任命された。

委員は学術会議会員および IUPS Commission
の日本代表である。

委員会は4月23日および11月25日(1978)の2回
開催された。11月25日には千葉大学医学部におい
て，本間三郎幹事の世話で「肺ガス交換の生理学

および病態生理学」の主題の下に5名の演者によ
る講演があり，後，多数の討論・質問があって盛
会であった。(詳細は別に報告されている)

委員会としては1978年度 IUPS に対する分担金
として，\$3,000を希望したが日本学術会議より
\$1,500，生理学会より\$500が支払われ，1979年
は日本学術会議より\$2,000支払われる事になっ
た。

本研連委員会には，薬理学，毒科学，体力医
学，労働生理各研究連絡会が属し，なお本年度新
たに内分泌小委員会を設け，塚田裕三会員を委員
長に選んだ。

明年7月13—19日，Hungary 国 Budapest 市に
おいて国際生理科学連合大会が開催されるが，現

地組織委員からの報告によると、

(1) ハンガリー国の科学政策委員会は、この大会の重要性を認めて保健大臣および学士院長にその大会開催を援助するよう依頼し、通商大臣その他関係ある諸大臣や諸権威にも援助を依頼した。

(2) 26の学会場も準備され展示場も決定し、食事について今後学会迄に十分な準備が予定されている。

(3) 第一次の学会出席予定者調査によると、正会員 3,560名、準会員 2,108名で計 5,669名(その後の申込みを加えると計 6,500(内、正会員 4,200名)に達した。(本邦よりの申込みは 405名という)この中 2,157名はホテルを予約し、1,012名は学生寄宿舎に申込んだ。

口演およびポスター申込みの演題数は 3,301に達し、それぞれの部会に区分された。

(4) 大会の費用は会費および展示による収入でまかなえる予定である。

(5) 若い学者に対する大会出席援助について、1,000万フォリント(1億円に相当)を政府に申込んだ。

(6) 大会に関する第二次発表は 6 月末迄に準備

が完了し、8 月末には申込んだ人達に届く予定である。

(7) 本年12月末は入会金、抄録の送付、ホテル予約および上記出席援助の申込みの~~バ~~切日~~で~~切日は厳守されるので注意が必要である。申込んだ人達は 4 月 30 日迄に通知を受ける筈である。

(8) なお、衛星シンポジウムはハンガリー国内で 18、隣国で 16、その他欧州の 12 の都市で開催される。

(9) 本年 7 月 7—9 日ロンドンで実行委員会および理事会が開かれる。

(10) 第二次サーキュラーは申込んだ各個人に送られる予定であるが、これはすでに発行されている世界生理学者名簿によるので 6 月 1 日迄に名簿を訂正してほしいとの事である。

したがって出席予定者は生理学会事務局に問い合わせして下さい。なお学会出席の為の飛行便その他の旅行については、日本交通公社本社内国際会議センター(電 03-284-7572)に依頼してありますので、この方に御希望を御連絡下さい。

以上の要旨は 4 月 5 日慈恵会医科大学における日本生理学会総会で報告したものです。

[お知らせ]

第 6 回 (昭和54年度) 日産学術研究助成候補推薦要領

1. 助成の趣旨

自然科学を主とする学術の基礎分野における有意義な研究であって、国の助成となるべく重複しないもの(その期間が長期に亘る研究、学際的なグループによって行なわれる研究等)に対し助成を行ない、わが国の基礎学術の向上、進展に寄与しようとするものであります。

2. 助成対象研究分野

助成対象を資源・エネルギー、環境の分野におき、本年度は当該分野のうち次のような研究を期待します。

必ずしも実験を伴う研究のみでなくいわゆるソフトの研究も含まれます。ただしその場合は調査研究助成として扱います。

① 地域生態系の総合的解析手法に関する研究

② 環境影響評価の方法に関する基礎的研究

③ 新しい原理に基づく環境の分析方法の研究

④ 大気汚染物質の環境中における変化機構に関する研究

⑤ 大気汚染物質の生物学的作用機構に関する研究

⑥ 環境制御の新しい方法の研究

⑦ 化学物質の生物学的影響における閾値に関する研究

⑧ 資源の再利用(循環)に関する研究

⑨ 低落差エネルギーの利用に関する研究

⑩ エネルギーの貯蔵に関する研究

⑪ 省エネルギーに関する研究

⑫ 資源の代替および利用効率の向上に関する研究

その他上記に類する研究

3. 助成対象の研究者

自然科学分野の基礎的な研究に従事しており、2～4年の期間を要する上記の研究を行なおうとする研究者および研究グループで、その研究成果が学術の進歩、発展に貢献するところが大きいと思われるもの。

4. 研究助成金額

○総額（研究全年度） 約 120,000千円

- ・研究1件につき 30,000千円（調査研究は 5,000千円）を限度とします。

○上記のうち第1年度（55/4～56/3）分

約 55,000千円

- ・研究1件につき 5,000千円*程度とします。

* 研究期間の長短、年度別の所要額の状態にもよりますので、あまりこの金額にとられる必要はありませんが最高額は 8,000千円とします。

ただし調査研究については 2,000千円程度とし、期間は 2年とします。

なお、助成件数は調査研究を含み 8～10件を予定しています。

5. 推薦件数

1学(協)会より 1～2件とします。

6. 推薦者

学(協)会の代表者として。

7. 推薦手続

所定の推薦用紙に必要事項を記入し、当財団宛に 1部をご送付願います。

8. 推薦締切日

昭和54年11月30日(金)

9. 選考方法

下記委員からなる選考委員会において選考の上、当財団理事会で決定します。

伏見 康治(委員長)、向 坊 隆、田島弥太郎、
沼 田 真、藤永太一郎

10. 研究助成金の贈呈

昭和55年3月贈呈式を行ないます。

11. 第2年度以降の助成金

多年度に亘り助成が決定した研究に対する第2年度以降の助成金については、年度別の助成金額を内定額とします。

(推薦書提出先・連絡先)

財団法人 日産科学振興財団

☎104

東京都中央区銀座6丁目17番2号

電話 東京(03)543-5597

〔編集後記〕

例年になく長かった梅雨が明けて盛夏に入りました。朝早くからクマゼミがやかましく鳴き立てる頃になると、夏休みになったという実感が湧いてきます。今年はエネルギー資源・水資源問題など一段ときびしい夏を迎えたわけですが、会員諸氏は夏の実験シーズンとエネルギー節約をどのように両立させておられるのでしょうか。九州地方の水事情に関しては昨年のような事態にならずに済みそうです。

さて第7号をお届けします。本号では、去る5月に亡くなられた特別会員・加藤元一名誉教授の追悼文を塚田教授にお寄せ頂きました。わが国生

理学の偉大な先達であられる先生のご偉業とご遺徳を偲んで頂きたいと存じます。14年前、東京国際生理学会の会頭をつとめられた当時の先生の颯爽たるご容姿をなつかしく思い出します。

日生誌への原稿の集まりは目下順調のようですが、今後もどしどしご投稿下さるようお願い致します。

本誌の縮小計画が実施されて以来すでに久しいわけですが、大会号を別にすると月々手にする毎号の冊子は薄く、内容にも拘らず外見はいかにも貧弱です。論文や短報は年々増加の一途をたどる論文表題集に押しつぶされそうです。これらのリストに載せられている膨大な論文の行方は一体どこなのでしょう。現在の日生誌が機関誌として

それなりの役割を果たしているとは思いますが、もっと国際指向性を持たせて、将来は質・量ともに充実した魅力あるものにする必要があるのではないかと考えます。

その一つの試みとして今年の大会号は英文抄録集として出されるわけですが、地方会の抄録についてもぜひそのような形にしてほしいという声を聞きます。

地方会といえば、西日本生理学会は毎年10月から11月に1泊2日で開催されますが、学術発表はもとより、会員相互の親睦を深め、また各地の美しい自然に接することのできるのが楽しみです。今年には第30回を迎えますが、山口大学のお世話で中国・四国地方会と合同の形で行なわれる予定です。
(河田 溥)

編 集 委 員

塚田 裕三(幹事)	馬 詰 良 樹	植 村 慶 一
大 島 知 一	上 山 章 光	中 村 嘉 男
菅 野 富 夫(北海道)	中 浜 博(東北)	新 島 旭(関東)
角 忠 明(中部)	品 川 嘉 也(近畿)	村 上 憲(中・四国)
河 田 溥(九州)		

静動協の受託試験研究所

医薬、食品添加物、農薬、化粧品、化学物質等の諸物質に関する安全性試験をお引受けいたします。

生産から試験終了まで、一貫してSPF施設で実施

〈 受 託 項 目 〉

- ◇ 一般毒性試験
- ◇ 催奇性試験
- ◇ 発癌性試験
- ◇ 世代試験
- ◇ 刺激性試験
- ◇ 組織標本の作成並びに検査



株式会社 生物科学技術研究所

〒430 静岡県浜松市葵町95番地の10 TEL(0534)36-9021

Technical Research Laboratory of Biological Science Co.,Ltd.

Barrier System (SPF) 実験動物の生産販売

SPF動物

クローズドコロニー		近交系	
マウス Slc : ddY	(国立予防衛生研究所)	マウス BALB/cCr Slc	(東大医科学研究所)
マウス Slc : ICR	(Charles River Lab.)	マウス C57BL/6Cr Slc	(")
マウス Slc : C3H/He	(東大医科学研究所)	マウス C3H/He Slc	(")
マウス Slc : C57BL/6	(")	マウス DBA/2Cr Slc	(")
マウス Slc : DBA/2	(")	交雑群	
ラット Slc : SD	(Charles River Lab.)	マウス SLC-CDF ₁	(東大医科学研究所)
ラット Slc : Wistar	(東大医科学研究所)	マウス SLC-BDF ₁	(")
ラット Slc : Wistar/ST	(")	マウス SLC-B6C3F ₁	(")
ラット Slc : Fischer	(Charles River Lab.)	ミュータント	
ラット HOS®: Donryu	(星野試験動物飼育所)	ヌードマウスBALB/c- ^{nu} Slc	(東大医科学研究所)
		ヌードマウスBALB/c- ^{nu} Slc	(")

Conventional 動物

クローズドコロニー		モルモット Std : Hartley	(国立予防衛生研究所)
マウス Std : ddY	(国立予防衛生研究所)	ハムスター Std : Golden	(")
ラット Std : Wistar	(東大医科学研究所)	イヌ FUJ: Beagle	(富士アニマル)
ラット Std : Wistar/ST	(")	カニクイザル アカゲザル	輸入検疫9週間経過後出荷



静岡県実験動物農業協同組合

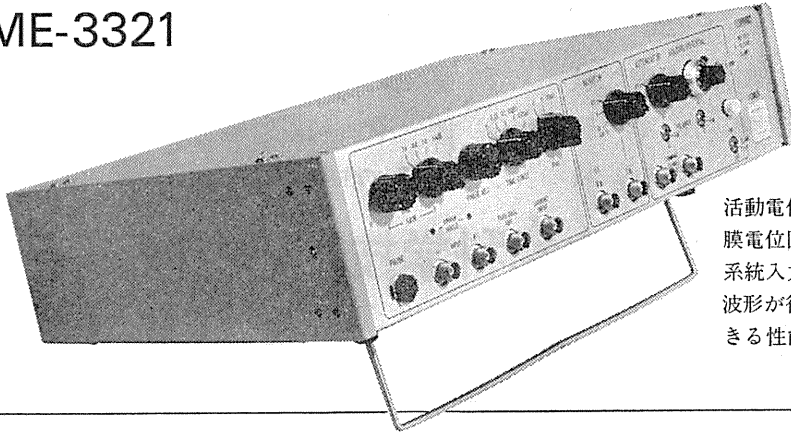
〒435 静岡県浜松市小池町1616番地 TEL(0534)63-0865(代)

Shizuoka Agricultural Cooperative Association
for Laboratory Animals.

膜電位固定法に必要な機能をフルに搭載

ボルテージクランプユニット

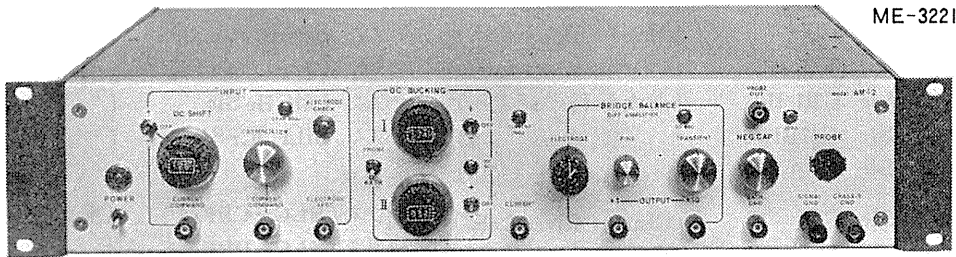
ME-3321



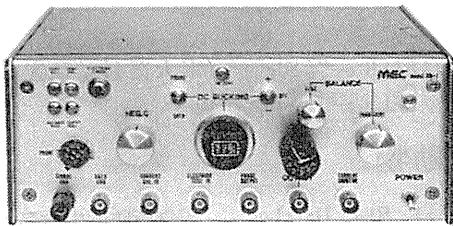
活動電位発生メカニズムを追求する膜電位固定法のための専用装置で、2系統入力を組み合わせた複雑なクランプ波形が得られ、高抵抗の電極を使用できる性能をもっています。

電極抵抗の高い実験にも抜群の威力

微小電極用増幅器 ME-3200シリーズ



ME-3221



ME-3211

ME-3221 通電回路・DCシフト・2ch DCバックリングつき

ME-3211 通電回路つき

- 細胞電位の研究をおこなうために特に設計された装置で、1000M Ω までと広範囲の電極が使用できます。
- 差動増幅器を内蔵しています。
- ME-3221は、色素注入が可能なDCシフトなど、高度な機能を盛り込んでいます。



株式会社

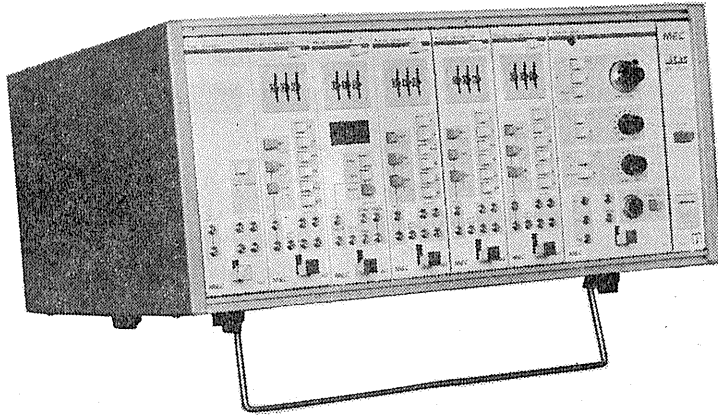
エム・イー・コマーシャル

本社：〒166 東京都杉並区和田3-54-11 ☎(03)317-1451(代表)
 大阪営業所：〒564 大阪府吹田市江坂町2-2-20 ☎(06)380-2601(代)
 福岡営業所：〒814 福岡市西区茶山5-12-18 ☎(092)863-2757
 工場：〒419-01 静岡県田方郡函南町平井597-2 ☎(05597)8-7658

ME機器の機能をシステムデザイン

MEAG

メアックシステム
ME-2100シリーズ



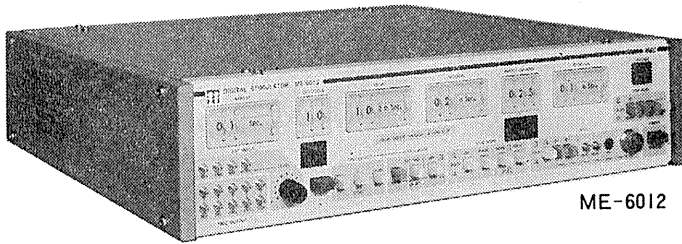
個々の装置として別れていた専用機能を有機的にユニット化し、用途に応じてひとつの装置として組みあげることができるシステムです。

★構成ユニット

- 301—トリガ
- 302—パルスジェネレータ
- 303—プリセットカウンタ
- 304—パワーアンプ-A
- 305—ステップパルスジェネレータ
- 306—プログラマブルジェネレータ
- 307—タイムマーカ
- 308—パワーアンプ-B
- 309—オーディオモニタ
- 310—ウインドディスクリミネータ
- 311—マルチカウンタ
- 312—パワーアンプ-C

高度化する電気生理学に対応する

デジタル刺激装置 ME-6000シリーズ



ME-6012

研究用高級機 ME-6012

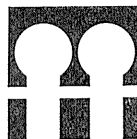
- 階段波やステップ波に至る4種の刺激電圧パターンを持っています。
- 各設定部をトリガで作動させることができ、豊富な刺激時間パターンをつくりだせます。
- 出力電圧がデジタル設定できます。

実用機 ME-6052

- 水晶発振子とデジタルスイッチの使用により、波形精度そのものは高級機と同一できわめて高精度です。
- 設定された時間間隔のダブルパルスが得られます。
- 外部装置との組み合わせが容易です。



ME-6052



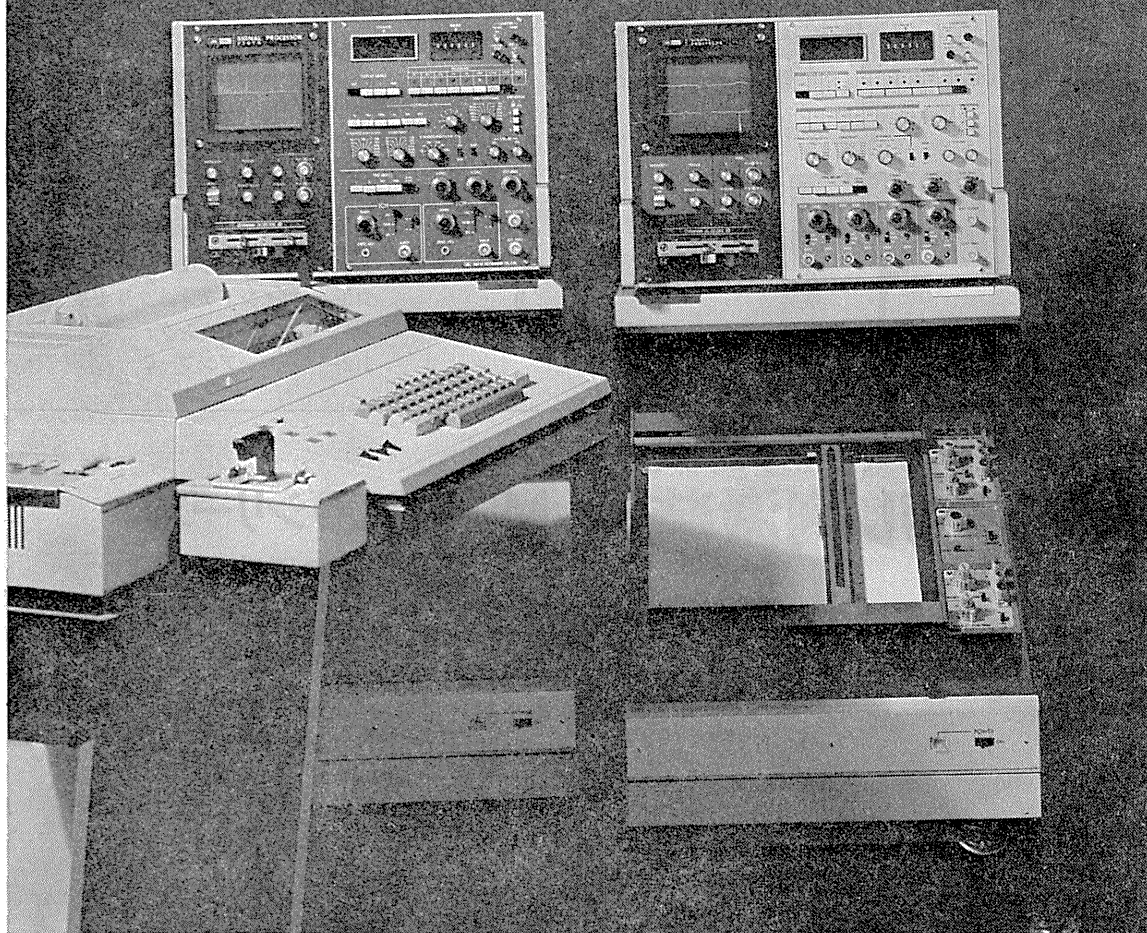
株式会社

エム・イー・コマーシャル

本社：〒166 東京都杉並区和田3-54-11 ☎(03)317-1451(代表)
 大阪営業所：〒564 大阪府吹田市江坂町2-2-20 ☎(06)380-2601(代)
 福岡営業所：〒814 福岡市西区茶山5-12-18 ☎(092)863-2757
 工場：〒419-01 静岡県田方郡函南町平井597-2 ☎(05597)8-7658

ますます機能が拡張、データ処理装置の決定版

シグナルプロセッサ




7T07A ●メモリ4K ●入力数2ch.

7T08 ●メモリ8K ●入力数4ch.

ソフトウェアがさらに充実、処理プログラムは100種類を突破しました。メモリは最大16Kまで内蔵可能で、ほとんどのアナログデータの統計処理が可能です。

主なプログラム/アベレージ（アーチファクトクリア付、オルタネート加算、CNVなど各種）、パワースペクトル(2ch)、コリレーション、ヒストグラム及びバリエーション(各種)、フーリエ変換・逆フーリエ変換、回帰直線係数、スペクトルアレイ等。

明日の健康と福祉を守る

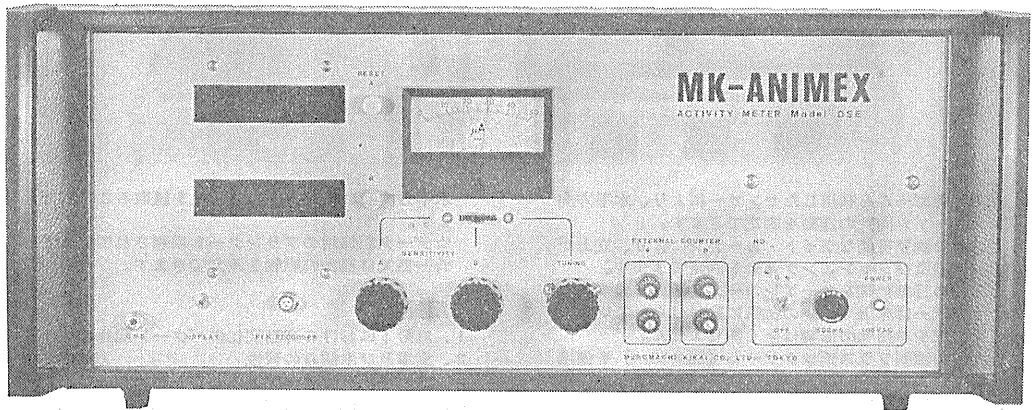
 SAN-EI **三栄測器**

本社 東京都新宿区西大久保2-223-2 〒160 ☎03 (209)0811(代)
工場 東京都小平市天神町1-5-7 〒187 ☎0423(41)0821(代)

実験動物運動量測定装置

MK-ANIMEX

MODEL DSE



国産化により お求めやすくなりました

MK-ANIMEX は薬理学、一般生理学、神経科学、心理学、動物学等の分野における実験動物の自発運動量及びあらゆる動作についての比較計測を感応コイルを利用して自動的にデジタル計測する装置です。

性能は無論、価格的にも国産化によりお求めやすくなりました。

プリンタ



- 測定用ケージは、金属以外はどんなものでも使用できます。特別なテストケージは必要ありません。
- ケージの床敷や食餌、尿、排泄物も測定には影響しませんので、長時間のテストも食餌習慣を妨害することなく行なえます。
- 外部の光線状態に関係なく、夜行性の動物の運動も暗黒中で測定できます。
- 光電、又は赤外線検出法の様一本の光路中で二匹の動物が運動した場合、一匹によって他の一匹の運動が測定されない様なことはありません。
- アナログ信号の出力も備えておりますのでペンレコーダに接続して、運動の種類を分析することも可能です。

プリンタ

MK-ANIMEX 専用のデジタル・プリンタです。

1～5チャンネル。

カウンタ、タイマ内蔵。

積算、印字後リセット切替え可能。

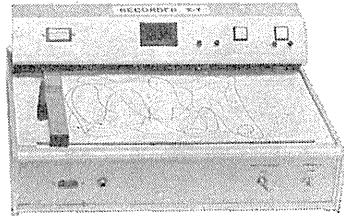
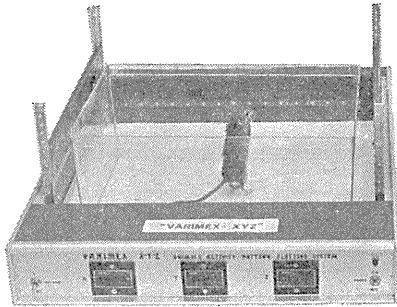
製造発売元

室町機械株式会社

東京都中央区日本橋室町4-3(大辻ビル)
〒103 電話(03)241-2444

OPTO-VARIMEX

行動軌跡の記録が可能
最高級の動物運動量測定装置



- ☆赤外線ビームを利用したセンサーにより、水平方向（X-Y方向）の運動を測定できます。
- ☆2枚の調整可能なライト・カーテンにより、立上がり運動及びジャンピング運動を測定できます。
- ☆動物の行動軌跡をX-Yレコーダで記録します。
- ☆センサーは床上 2.5cmの位置に取付けられているので、尿や堆積物の影響は全くありません。
- ☆大型の透明プラスチックケース（38×38cm）を使用しています。
- ☆安定性は極めて高く、操作が簡単です。
- ☆本体に取付けられた3ヶの電子カウンターにより、

- 水平方向及び垂直方向の運動量を読取ることもできます。
- ☆データ記録用のプリンターも用意されています。
- ☆一匹又は複数の動物を測定できます。

<用途>

1. 麻酔下における運動変化のパターン記録
 2. 食事及び水飲みの習性
 3. 熱、寒さ、光等の環境に対する動物の好み
 4. Circadian Rhythm (サーカディアン・リズム)
- (一匹の場合は軌跡の記録が可能です)

日本総代理店



株式会社 **東海医理科**
TOKAI IRIKA CO., LTD.

本社：東京都千代田区内神田3-2-12クリハビル
千101 電話 (03)254-0052(代表)
営業所：大阪(06)787-0544/福岡(092)472-3800

米国MIDGARD社製

脳波からユニット電位まで
測定できるミニ・テレメータ

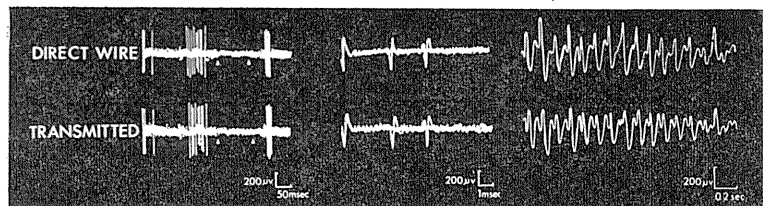
Miniature FM Transmitter

Model MXM-100



本装置はEEGからユニット電位までの生体信号を無線で送ることができるテレメータです。

モデル MXM-100 のユニークな特徴はインピーダンスの高い微小電極と共に使用できることです。



日本総代理店



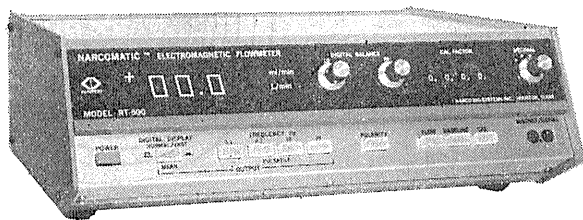
株式会社 **東海医理科**
TOKAI IRIKA CO., LTD.

本社：東京都千代田区内神田3-2-12クリハビル
千101 電話 (03)254-0052(代表)
営業所：大阪(06)787-0544/福岡(092)472-3800

NASAの技術を導入した未来のフローメーター登場!



NARCOMATIC 電磁血流計



RT-500

米国ナルコ・バイオシステムズ社がRT-400に続き開発したナルコマチックRT-500はこれまでの常識を破る革命的な新型の自動血流計で、ナル調整やゲイン調整は必要ありません。オートマチック・ゼロの特徴により、血管上のプローブが動いてもベースラインの変動はなく、正確且つ迅速な血流測定ができます。

※カタログ等の御請求は本社医用電子課へ

《特長》

- オートマチック・ゼロによりゼロレベルの変動はありません。
- 流量はデジタル表示で直読できます。
- 操作が簡単ですから臨床用として最適です。
- コンパクトで持ち運びに便利です。
- プローブはすべて較正済みで臨床用から研究用まで豊富に用意されています。

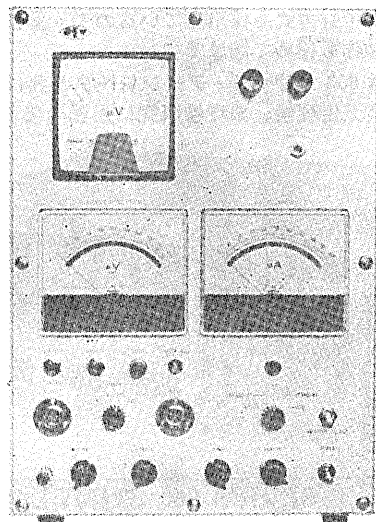
日本総代理店



株式会社 **東海医理科**
TOKAI IRIKA CO., LTD.

本社：東京都千代田区内神田3-2-12クリハラビル
〒101 電話 (03)254-0052(代表)
営業所：大阪(06)787-0544/福岡(092)472-3800

エムコーダー



生体の組織血流を毛細管レベルで捉える高性能血流計

エムコーダーは交差熱電対を利用した組織血流計であり、下記の特徴を持っています。従って、生体の組織血流に見られる様な方向の複雑さと血流レベルの低い場合の変化を捉えるのに極めて有効です。

《特長》

- ① 組織血流を毛細管レベルで捉えられます。
- ② 生体組織への障害が極めて少ない。
- ③ 殆んどあらゆる組織の血流測定が可能です。
- ④ 長時間の植込み測定及び観察ができます。

《用途》

- 各種薬物の試験及び研究。
- 生体諸器管の機能調査研究(心筋や脳血流測定)
- 臨床面への利用、体表循環の測定。

日本総代理店



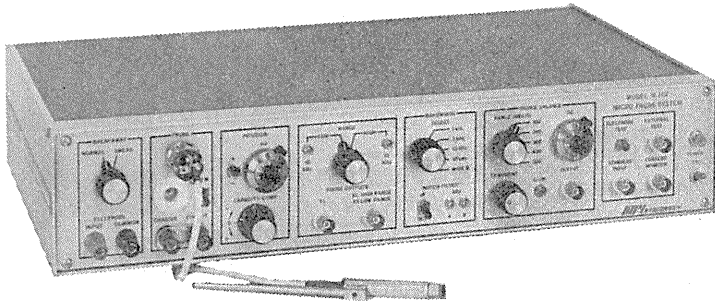
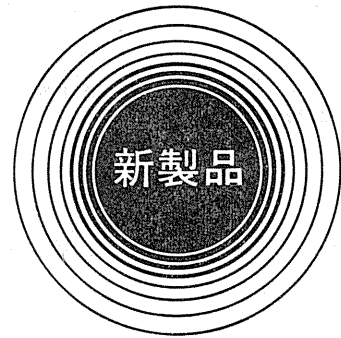
株式会社 **東海医理科**
TOKAI IRIKA CO., LTD.

本社：東京都千代田区内神田3-2-12クリハラビル
〒101 電話 (03)254-0052(代表)
営業所：大阪(06)787-0544/福岡(092)472-3800

微小電極増幅器 マイクロプローブ・システム

MODEL M-707

好評のM701型に、新しくバンド幅フィルター、ブリッジ・バランス選択スイッチ、プローブ・テスト機構が組込まれ、一層使いよくなった最高級の微小電極増幅器です。



- ミニチュア・プローブ
- カレント・インジェクション
- プローブ・テスト
- ブレーク・アウェイ機能付
- バンド幅フィルター付
- ノッチ・フィルター
- 低ノイズ・低ドリフト
- ブリッジ・バランス SW 付

MODEL M-707 ¥660,000

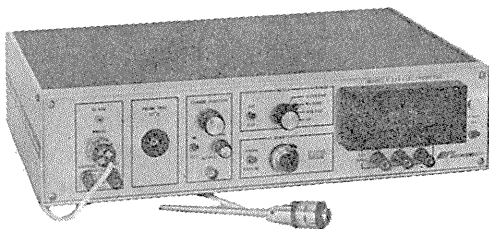
■ プローブ・エレクトロメータ

MODEL F-23B

新製品

マクロ及びマイクロ・イオン電極、pH電極等に最適な高性能エレクトロメータです。測定値はデジタル表示で直読でき、mV表示とpH表示の両方が可能です。

極めて高入力抵抗($10^{15}\Omega$)のプローブ・エレクトロメータであり、低入力リーク電流($10^{-14}A$)低入力容量(1.0pF以下)となっています。



MODEL F-23B ¥585,000

■ デジタル刺激装置

SERIES 800

時間設定をすべてデジタル化した極めて高精度のマルチ・チャンネル刺激装置です。

プラグイン方式を採用しているため、柔軟性があり、操作も極めて簡単です。

本器は800シリーズ・アイソレータと共に使用され、電気生理学、薬理学研究に最適な装置です。



SERIES 800 STIMULATOR

日本総代理店

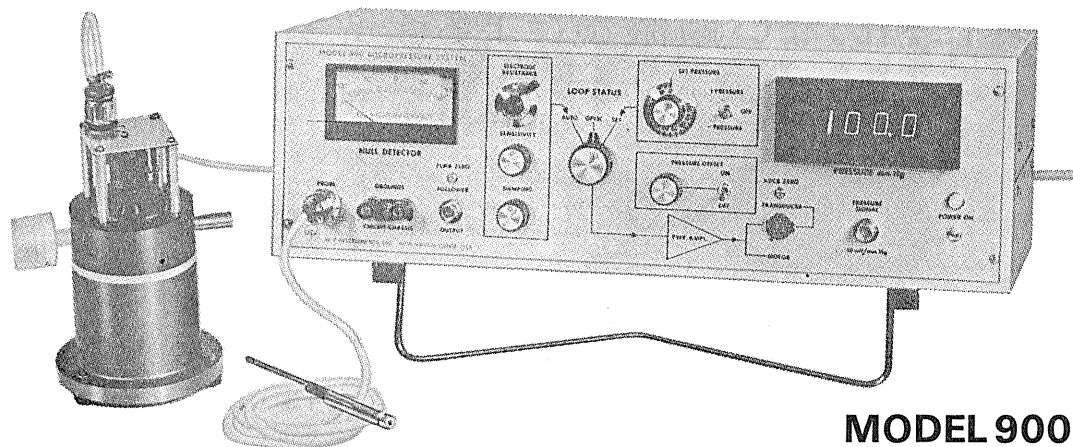


東海医理科
TOKAI IRIKA CO., LTD.

本社：東京都千代田区内神田3-2-12クリハビル
〒101・電話(03)254-0052(代表)
営業所：大阪(06)787-0544/福岡(092)472-3800

生体の微小圧力を正確にキャッチする全く新しいシステム!!

MP マイクロプレッシャー・システム

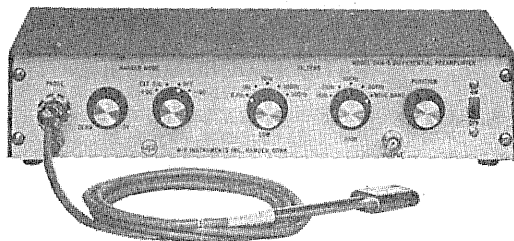


MODEL 900

本装置は、小さい組織・細胞の生体圧力を測定するためのシステムで、 $-70 \sim +100$ mmHgまで測定でき、精度は0.1mmHgと極めて高くなっています。

- 圧力と電位を同時に測定できます。
- センサーは2~3ミクロンの微小ガラス電極を使用。
- 腎尿細管、毛細血管、細胞等の圧測定に最適。

細胞外研究に最適の高性能アンプ 差動型交流増幅器



MODEL DAM-5A

本装置はユニット電位、細胞電位等の細胞外研究に適したバッテリー駆動の差動アンプです。

〈特長〉

- 超小型プローブとユニークなマーカ回路を装備
 - 高入力抵抗、低ノイズ、高利得の高性能アンプ
- 〈仕様〉
- 利得：100~1000倍
 - 入力抵抗：500MΩ以上
 - ノイズ：10μVp.p以下
 - 最大出力：10V
 - 電源：12Vバッテリー(2ヶ)

薬物・色素の微量注入に便利なシステム

MICRO-IONTOPHORESIS PROGRAMMER MODEL 160

本装置は微小電極を通じて、薬物または色素をイオン電気導入法によって細胞内へ注入するための定電流発生装置です。

〈主な仕様〉

- モード：Eject 又は Retain
- 出力：0~100nA, 0~1000nA
- コンプライアンス：100V



日本総代理店



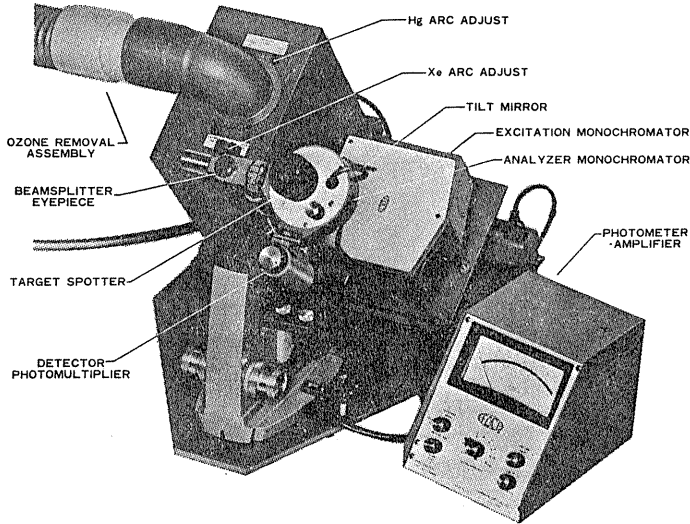
株式会社 **東海医理科**
TOKAI IRIKA CO., LTD.

本社：東京都千代田区内神田3-2-12クリハビル
〒101 電話 (03)254-0052(代表)
営業所：大阪(06)787-0544/福岡(092)472-3800

(FACI) 米国ファランド社製

組織蛍光分光光度計 M・S・A

世界に類のない顕微鏡による蛍光分光分析装置



物理、化学、生物学の分野での顕微鏡による定量的蛍光および吸収の研究で、以前の技術では不可能であった定量化を可能にし、スペクトル分析を主観的な範囲から客観的な範囲へと進めました。

<研究例>

- 抗原抗体の研究
- リウマチ熱
- 寄生虫学
- ウイルス診断学
- 微生物学
- 菌苔の研究
- 内分泌ホルモン
- 未知の生体内活性アミンの組織化学的蛍光分析
- その他

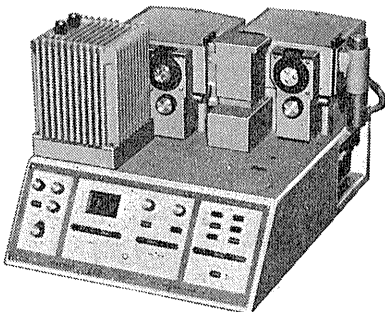
世界で最も信頼と実績を誇る米国Farrand社製

蛍光分光光度計MK-1

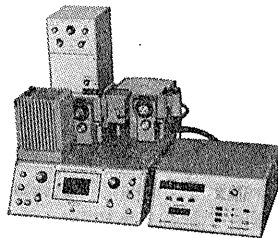
SPECTRO FLUOROMETER MK-1

標準格子にて感度 1×10^{-12} 分解能0.5mVの高性能を有しております。

- 高感度 ● 軸を外した楕円ミラー装置 ● 2個のf/3.5レンズ格子付分光器 ● ユニット型ソリッドステート電子回路 ● 多数の補充部品



SPECTRO FLUOROMETER MK-1



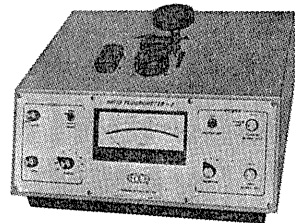
補正装置・オートプロセッサ付 MK-1 (記憶装置付)

米国ファランド社の

蛍光光度計

RATIO FLUOROMETER-2

ファランド社の技術の粋を集めた最新型ダブルビーム式蛍光光度計です。極めて低い濃度のアミノ酸酵素、タンパク質、ビタミン、代謝物、ステロイド及び蛍光を発する無機物やその他の化合物の定量分析を行なうことができます。



- 感度：フルスケール0.1PPb硫酸キニーネノイズ5%以内。
- 光源の変動を補正するレシオタイプですので液クロのディテクタにも最適です。
- 産科関係では、フェニルケトン尿症のmass screeningに使用できます。
- * ローコストのシングルビーム型の Model A-4 Fluorometerもあります。

本社：東京都千代田区内神田3-2-12クリハラビル 101 電話 (03)254-0052(代表)
営業所：大阪(06)787-0544/福岡(092)472-3800

日本総代理店



株式会社 **東海医理科**
TOKAI IRIKA CO., LTD.

BASICで 生体データをオンライン処理

ATAC-450

データ処理装置

特長

- BASIC言語でオンライン処理のプログラム作成可
- プログラム選択はデジタル・カセットでワンタッチ
- ユーザが作成したプログラムをデジタル・カセットに収録可能
- 処理後のデータもデジタル・カセットにファイル可
- CRT上の2本(縦・横)のカーソルを使って時間・振幅の計測可能



主な規格

- 入力チャンネル：4チャンネル
- A/D変換：10ビット 10 μ sec
- 記憶容量：24kw (1語長16ビット)
- 補助記憶装置：デジタル・カセット約50kw
- CRTディスプレイ：文字及び図形表示と入力信号モニタ



NIHON KOHDEN

日本光電工業株式会社

〒161 東京都新宿区西落合1-31-4 ☎03(953)1181

